沼津の教育

令和６年度

沼津市教育委員会

表　紙　の　紋　章

表紙の図柄は澤瀉（おもだか）を表し、水野家の紋所であった。当時の沼津城の鬼瓦の紋章にも使われていた。

水野忠友は1777年（安永６年）三河の大浜から沼津へ移封を命ぜられ、荒廃した三枚橋城のあとに沼津城を築いた。

この城は観潮城ともいわれ、富士を背景に、南は狩野川から千本松原越しに駿河湾が望まれる美しいながめであった。

目　　次

沼津市の概要
沼津市の概要 …… 1
市章のいわれ・沼津市民憲章・市の木・市の花 …… 2
沼津市の教育年表 …… 3

教育行政
教育委員会・教育長及び教育委員 …… 7
歴代教育長・教育委員 …… 8
教育委員会機構図 …… 9
教育委員会事務局職員等の配置人員 …… 10
沼津市教育大綱 …… 11
沼津市教育基本構想 …… 12
総合教育会議 …… 23
学校規模・学校配置の適正化 …… 23
郷土への理解 …… 23

教育財政
教育財政 …… 24

学校教育
学校教育 …… 31
市立小・中学校 …… 36
市立沼津高等学校・中等部 …… 54
市立幼稚園 …… 58
市立認定こども園 …… 59
私立幼稚園・認定こども園 …… 60

社会教育
社会教育委員 …… 63
生涯学習 …… 63
芸術文化 …… 72
文化財 …… 74
歴史民俗資料館 …… 88
明治史料館 …… 90
戸田造船郷土資料博物館 …… 94
芹沢光治良記念館 …… 96
若山牧水記念館 …… 99
庄司美術館 …… 101
健全育成 …… 103
青少年教育センター …… 108
ゆめとびら舟山 …… 116
市民文化センター …… 119
図書館 …… 125

社会体育
社会体育 …… 139
香陵アリーナ（沼津市総合体育館） …… 144
市営野球場・大岡公園内運動場 …… 145
西部市民運動場・中瀬市民運動場・戸田テニスコート …… 146
戸田Ｂ＆Ｇ海洋センター …… 147

資料
市内諸学校一覧 …… 149
学校・施設図 …… 150

沼津市の概要

沼津市は北緯35°06′東経138°52′（市役所所在地）に位置し、南は深く入り込む駿河湾を隔てて遠く大瀬岬を眺め、北に秀麗富士を仰ぎ、伊豆箱根連山に源を発する狩野川が市街中心部を流れており、四季を通じて温暖な気候に恵まれている。

明治元年９月	添地の長屋を利用して素読・手習・算術の3教科を授ける「代戯館」（だいぎかん）が設けられ、同年12月に我が国最初の小学校である「沼津兵学校附属小学校」へ引き継がれた。
明治21年	沼津港線（蛇松線）が完成
明治22年	町制施行（人口11,000余人、1,800世帯、城内・上土・本町・三枚橋）、同年東海道線が開通し、沼津駅が開設される。
明治26年	沼津御用邸が造営される。
大正12年７月１日	沼津町と楊原村が合併し、同時に市制を施行して全国89番目の市となる。
昭和８年	沼津港が完成
昭和９年	丹那トンネルが開通し、この後、次々に重工業生産工場が建設される。
昭和19年４月	４か村（片浜村・金岡村・大岡村・静浦村）と合併
昭和30年４月	４か村（愛鷹村・大平村・内浦村・西浦村）と合併
昭和43年４月	駿東郡原町と合併
昭和55年12月	「青少年健全育成都市」宣言
昭和62年３月	「核兵器廃絶平和都市」宣言
平成12年11月	県内初の「特例市」に移行（平成27年４月１日制度廃止）
平成17年４月	田方郡戸田村と合併

現在、面積186.82㎢、人口186,676人（令和６年４月１日現在）であり、東名高速道路沼津インターチェンジ、国道１号・246号・414号、東海道本線及び御殿場線のほか、隣接市町と連絡する新東名高速道路（長泉沼津インターチェンジ）、東海道新幹線に加え、平成28年３月には東名高速道路愛鷹スマートインターチェンジが、平成29年３月には新東名高速道路駿河湾沼津スマートインターチェンジが供用開始になるなど、首都100㎞圏にある県東部地区交通網の拠点として多面的な発展を遂げており、「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」を目指している。

（過去５年間の人口の推移）

住民登録人口（４月１日現在）

年　次	世　帯　数	人　口		
		男	女	計
令和２年	92,467	96,003	98,204	194,207
令和３年	92,835	95,137	97,507	192,644
令和４年	92,851	93,949	96,468	190,417
令和５年	93,387	93,064	95,549	188,613
令和６年	93,608	92,065	94,611	186,676

※　住民基本台帳法の改正に伴い、平成26年度から、世帯数・人口は「外国人を含めた住民基本台帳人口」を掲載している。

沼津市章

市章のいわれ

ヌマヅの「ヌ」と沼津市の名勝として名高い千本松原の松葉をとってこれを組み合わせ図案化したもので、昭和２年の市議会において市章として決定された。

沼津市民憲章

沼津市民憲章マーク

私たち沼津市民は

1．緑と水と空、このかけがえのない自然を守り育て、清潔な環境をつくります。
1．すすんで心身をきたえ、健康と文化の向上につとめます。
1．仕事に生きがいを見いだし、意欲をもって働きます。
1．人権を尊重し、時間と規則を守ります。
1．善意と思いやりをもって、温かい家庭と社会を育てます。

昭和48年７月制定

市の木「松」

富士山を背景に、寄せる白波に緑が映える千本松原は、東海の名勝として古くから人々に愛されてきた。

老松・古松に多くの歴史を秘めたこの松原は歌人・若山牧水、作家・井上靖の作品にも登場し、千本浜公園内には、その歌碑・文学碑も建てられている。

「松」は、このほか香貫山、愛鷹山など市内の各所に植えられ、沼津ゆかりの木として昭和45年４月、「市の木」に制定された。

市の花「はまゆう」

初夏になると白い繊細な花を開くはまゆうは、沼津市の大瀬岬の砂地に群生し、昭和45年４月「市の花」に制定された。

このひがん花科の植物は、万葉集にもうたわれた名花で、海浜砂地に自生し、花が木綿（ゆう）に似ていることからこの名が付けられた。

沼津市の教育年表

明治元年	徳川氏駿河移封にあたり、旧幕府陸軍部の沼津移住の有志、添地に代戯館を設け少年たちに漢籍洋算を教授
明治２年	沼津兵学校・同附属小学校開校
明治４年	沼津兵学校附属小学校は沼津兵学校の兵部省移管に伴い沼津小学校と改称
明治６年	沼津小学校が公立小学集成舎と改称
	旧本陣清水太郎作方に明強舎を創立
明治10年	集成舎と明強舎が合併し沼津黌（沼津学校）となる
明治21年	沼津尋常小学校附属「沼津文庫」設立
昭和３年	沼津尋常高等小学校を第一尋常小学校、沼津女子尋常小学校を第二尋常小学校、楊原尋常高等小学校を第三尋常小学校と改称し、各校の高等科を廃止。第四尋常高等小学校創立
昭和10年	村名を変更したことに伴い鷹根尋常高等小学校を愛鷹村立愛鷹尋常高等小学校と改称
	「沼津文苑」創刊
昭和13年	第五尋常小学校創立
昭和16年	尋常高等小学校・尋常小学校ともに校名を国民学校と改称
昭和19年	第六国民学校が市道・松下を校区に創立
	片浜・静浦・大岡・金岡の各村が沼津市と合併したことにより各村立国民学校を沼津市立国民学校と改称
昭和21年	第一中学校（市立高・金岡中前身）創立
昭和22年	教育基本法、学校教育法改正（４月１日施行）
	学校教育法の施行により、国民学校を小学校と改称。中学校および旧制中等学校に併設中学校を創立
	村立戸田小・中学校創立
昭和23年	第一中が沼津市立沼津高等学校と改称し、東熊堂へ移転。金岡中が分離独立
	第六中が片浜中と改称
昭和25年	静浦東小創立
	市立高が学校法人沼津高等学校と改称
昭和26年	静浦西小創立
昭和27年	沼津市に教育委員会事務局（学務課・管理課・指導課）を設置
	学校法人沼津高等学校が再び市立となり商業科を設置
	沼津市立図書室（沼津文庫）開設
	沼津市教育委員の選挙が行われ、沼津市教育委員会が発足
	浮島・愛鷹・内浦・西浦・大平の各村及び原町に教育委員会を設置
昭和29年	市立高体育館竣工
	第五小西分校（開北小前身）創立
	沼津聾学校並びに寄宿舎落成
昭和30年	大平・西浦・内浦・愛鷹の各村が沼津市に合併し、各村立小中学校が沼津市立と改称
	浮島村が原町と合併し、同村立小・中学校は原町立と改称
昭和32年	第六小が千本小と改称。開北小が第五小より分離独立
昭和35年	岡野喜太郎氏に名誉市民の称号を贈呈
昭和37年	駿河図書館開館
	市立高が三枚橋へ新築移転
昭和38年	文化会館開館
昭和39年	市立高新体育館竣工。普通校舎増築竣工
昭和40年	市立高に衛生看護科設置
昭和41年	青少年センター開設
	学務課が学校教育課、指導課が社会教育課となる
昭和42年	市立高プール竣工
	教育研究奨励制度発足
昭和43年	原町と沼津市の合併により原・浮島の小中学校は沼津市立と改称
	市立高の衛生看護科に専攻科（修業年限２年）設置
	勤労青少年ホーム開館
昭和44年	戸田造船郷土資料博物館開館
昭和45年	西浦西小が西浦小に統合。香貫小創立

昭和47年	門池小創立
昭和48年	今沢小創立
	少年自然の家開所
	市民体育館開館
昭和49年	青少年課・体育課を設置
	ぬまづ社会科研究会著『ぬまづ昔ばなし』発行
	大平幼稚園・戸田幼稚園開園
	歴史民俗資料陳列館開館
昭和50年	今沢中・門池中創立
昭和51年	西浦・内浦中を統合し、中学校校地を長井崎に決定
昭和52年	市立高グラウンド整備竣工
昭和54年	社会教育課に市民センター建設室を設置
	戸田小新校舎完成
	休場遺跡が国史跡に指定
	沢田小創立
	戸田舟山に「みどりの学校」を開設
昭和55年	芹沢光治良氏に名誉市民の称号を贈呈
	屋内温水プール開館
	青少年健全育成都市宣言
昭和56年	原東小・長井崎中創立
	勤労者体育センター開所
昭和57年	大岡南小創立
	市民文化センター開館
昭和58年	井上靖氏に名誉市民の称号を贈呈
昭和59年	明治史料館開館
	「歴史民俗資料陳列館」を「歴史民俗資料館」に改称
昭和61年	青少年教育センター開設
昭和62年	若山牧水記念館開館
昭和63年	市立高専攻科新校舎竣工
	長浜城跡が国史跡に指定
平成元年	生涯学習推進本部設置
平成２年	長倉三郎氏が文化勲章を受章、名誉市民の称号を贈呈
平成５年	市立高商業科閉科
	市立図書館新築開館
平成７年	興国寺城跡が国史跡に指定
平成10年	社会教育課に文化振興室を設置
	戸田舟山「みどりの学校」を「ゆめとびら舟山」に改称
平成11年	管理課が教育総務課、青少年課が生涯学習課、社会教育課が文化振興課となる
	戸田保育園・幼稚園合築施設「へだっこセンター」完成
平成12年	体育課がスポーツ振興課となる。教育総務課に市立高建設室を設置
	ちえづくり・ひとづくり・沼津の教育21推進事業開始
	庄司美術館（愛称モンミュゼ沼津）開館
平成14年	市立高新校舎（普通教室棟、特別教室棟）竣工
	小学校における国際理解教育「わたしたち小さくても大きな国際人事業」の推進
	情報通信のブロードバンド化に対応し、高速通信網に接続
平成15年	市立高衛生看護科閉科。中等部創立
	スポーツ振興課に国体推進室を設置
	学校図書館を利用した学習活動の展開を推進（司書教諭配置）
	大岡信氏に名誉市民の称号を贈呈
平成16年	魁光章設立
	「人づくり未来塾」開始
	戸田幼保教育特区
平成17年	市立高専攻科閉科
	教育企画室を設置し、教育総務課が学校管理課となる

平成17年	戸田村が沼津市に合併し、村立幼稚園・小中学校・図書館が沼津市立と改称
	「人づくり未来塾推進事業」により、各校が自らの裁量で事業を企画実施し、主体的に執行
	通学区域の弾力化「隣接校選択制」導入
平成18年	国が「言語教育推進事業」を特区として認定。市内小中学校（市立高中等部を除く）に言語科を導入
	松城家住宅が国重要文化財に指定
平成19年	静岡県教育委員会（静東教育事務所）から指導業務が移管
	教育推進会議に対し「これからの沼津市における教育のあり方について」を諮問し、答申を受ける
平成20年	「沼津市教育委員会事務評価委員会」設置
	ロボカップジャパンオープン開催
	ジュニアスキルズ第１回開催
	市立高新体育館竣工
	高尾山古墳発掘調査（H20からH21まで）
平成21年	「夢ある人づくり塾」開始
	「沼津市教育基本構想」策定
	「がんばる学校応援事業」により特色ある学校づくりを支援
	芹沢光治良記念館開館
平成22年	静浦地区３小学校を統合、静浦中は旧静浦西小へ移転
	静岡県が２月23日を「富士山の日」として制定
	「沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具」が国重要有形民俗文化財に指定
	環境教育の一環として全小中学校に太陽光発電システムを設置
平成23年	教職員研修センター開設
	東日本大震災を踏まえ、学校の防災計画の見直し
平成24年	市立高生活館（求道館）竣工
	「高尾山古墳発掘調査報告書」刊行。「高尾山古墳シンポジウム」開催
平成25年	「沼津大志学習」プラン策定
	「沼津市スポーツ推進基本計画」策定
	「沼津市新市民体育館整備基本構想」策定
	大岡市民運動場整備竣工
平成26年	「学力保証プログラム事業」開始
	静浦小中一貫学校開校
平成27年	「沼津市教育基本構想」改訂
	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正をうけ、総合教育会議を設置
	教育大綱の策定に着手
	長浜城跡史跡整備完了。一般公開
平成28年	首長による沼津市教育大綱策定
	旧教育長と旧教育委員長の職務を兼ねた「新教育長」就任
	教育企画室が教育企画課となる
	「沼津市立小・中学校の適正規模・適正配置の概略方針」策定
	「イングリッシュアドベンチャー事業」「みんなで受けよう！英検３級事業」「イングリッシュデビュー事業」等英語力向上に向けた事業開始
	旧沼津御用邸苑地が国名勝に指定
平成29年	少年自然の家閉所
	「沼津市立小中学校の適正規模・適正配置の基本方針」策定
	「『チーム学校』実現事業」により、教育の充実と教員の執務時間の確保を支援
	「沼津市新市民体育館整備基本計画」策定
平成30年	スポーツ振興課にインターハイ推進室を設置
	市立小中学校（市立高中等部を除く。）を小中一貫教育の研究校に指定
	市立図書館が「子供の読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける
平成31年	勤労青少年ホーム閉所
(令和元年)	第四小学校・第五中学校に共同学校事務室を設置
	市立小中学校（市立高中等部を除く。）で小中一貫教育を導入
	「成人式」を「二十歳の集い（はたちのつどい）」へ名称変更
	全小学校の普通教室等にエアコンを設置
令和２年	新型コロナウイルス感染拡大に伴い市立小中学校（園）において90日間の臨時休業

令和２年	臨時休業に伴う学習支援として市内小中学校児童生徒に図書カードを配布
	GIGAスクール構想・オンライン授業等研究プロジェクトチーム結成
	市立中学校３年生を対象に補習学習として「沼津寺子屋」を開催
	首長による沼津市教育大綱策定
	「沼津市新屋内温水プール基本構想」策定
	コミュニティ・スクール導入開始
	地域学校協働本部設置開始
	「沼津市学校教育におけるICT活用方針 ～N-GIGA～」策定
	全中学校の普通教室等にエアコンを設置
令和３年	屋内温水プール閉館
	「ぬまづ電子図書館」開館
	沼津市版GIGAスクール構想において１人１台端末（Chromebook）を貸与及び活用環境整備
	「沼津市教育基本構想」策定
	戸田幼稚園を廃止し、幼保連携型認定こども園「戸田こども園」を開園
	内浦小学校・西浦小学校を廃止し、長井崎小学校を開校
	長井崎小中一貫学校開校
	戸田小中一貫学校開校
	「スポーツ振興課」が教育委員会事務局から「ウィズスポーツ課」として市長部局（産業振興部）へ移管
	学校教育課内に情報教育推進室と学校給食室を設置
	学校給食会計の公会計化
	緊急事態宣言下における夏休みの延長
	１人１台端末（Chromebook）の持ち帰りを開始
令和４年	県教育委員会より指定を受け、幼児教育支援充実事業研究を開始
	英語パフォーマンステストを導入
	国重要文化財松城家住宅を一般公開
	市立高新入学生に１人１台端末（iPad）を導入（BYAD方式）
	成年年齢の引き下げに伴い「新成人議会」を「二十歳の議会（はたちのぎかい）」へ名称変更
	市民体育館・勤労者体育センター・香陵武道場閉館
	香陵アリーナ（沼津市総合体育館）開館
令和５年	文化振興課内に文化政策室と文化施設係を設置
	市制100周年各種記念イベントを実施（沼津ゆかりの作家たち・お祝い給食・沼津のあゆみ特別企画展・将棋棋聖戦沼津対局及び記念行事・市民が祝う沼津第九演奏会　等）
	「沼津市歴史民俗資料館移転整備基本構想」策定
	コミュニティ・スクール及び地域学校協働本部が全中学校区で導入完了
令和６年	学校給食室が学校教育課から学校管理課へ移管し、栄養教諭を指導主事に充て配置
	文化政策室内に市民文化センター整備活用担当を設置

教育行政

教育委員会

〔教育長及び教育委員〕

奥村教育長

重光 教育長職務代理者

土屋委員

川口委員

佐藤委員

職務	氏名	職業	就任年月日
教育長	奥村 篤	——	平成31. 4. 1
教育長職務代理者	重光 純	弁護士	28.10.10
委員	土屋葉子	歯科医師	22.10.22
委員	川口浩史	介護福祉士	27.10.19
委員	佐藤清子	会社役員	令和3.10.26

令和6年4月1日現在

◎歴代教育長・教育委員

令和６年４月１日現在

〈教　育　長〉

氏　名	就任年月日	退任年月日
芝　順　照	昭和28. 4. 1	昭和31. 9.30
工　藤　悟　朗	31.10. 1	43. 9.30
望　月　庄次郎	43.10. 1	49. 9.30
鈴　木　　孝	49.10. 7	55. 9.30
桑　原　良　文	55.10. 9	63. 6.20
杉　田　克　己	63. 7. 9	平成4.10. 3
五月女　　武	平成4.10.10	11. 3.31
長　澤　靖　夫	11. 4. 1	16. 3.31
工　藤　達　朗	16. 4. 1	28. 3.31
服　部　裕美子	28. 4. 1	31. 3.31
奥　村　　篤	31. 4. 1	現　在

〈教　育　委　員〉

氏　名	就任年月日	退任年月日
西　山　倉　吉	昭和27.11. 1	昭和30. 4.29
鈴　木　辰　蔵	27.11. 1	31. 9.30
堀　田　健　男	27.11. 1	31. 9.30
原　田　良　道	27.11. 1	31. 9.30
矢　田　唯　雄	27.11. 1	31. 9.30
芝　順　照	28. 4. 1	31. 4.30
西　島　恭　正	30. 5.27	31. 5.25
堤　俊　一	31. 6. 4	31. 9.30
槇　正　男	31.10. 1 33.10. 4	33. 9.30 37.10. 3
内　田　善次郎	31.10. 1	32. 9.30
海　瀬　孝　衛	31.10. 1	34. 9.30
光　林　粂八郎	31.10. 1	35. 9.30
工　藤　悟　朗	31.10. 1	43. 9.30
一　杉　藤　平	32.10. 1	36. 9.30
清　水　清　二	34.10. 1	40. 5.25
渡　辺　与五郎	35.10. 1	39. 9.30
山　本　常　子	36.10. 1	44. 9.30
磯　部　泰　輔	37.10. 4	45.10. 3
宇　野　三　郎	39.10. 1	51. 9.30
石　井　貞　二	40. 7.24	45. 1.14
望　月　庄次郎	43.10. 1	49. 9.30
伊　東　清　重	昭和44.10. 1	昭和52. 7. 5
秋　山　桂左矩	45. 3.27	46. 9.30
大　塚　三八雄	45.10. 4	53.10. 3
保　坂　　貢	46.10.13	50.10.12
鈴　木　　孝	49.10. 4	55. 9.30
加　藤　三　郎	50.10.13	54.10.12
植　松　ふさ子	51.10. 1	55. 9.30
勧　山　　弘	52.10. 4	56. 6.19
杉　山　光　男	53.10.12	平成2.10.11
浅　野　良　哉	54.10.13	昭和62.10.12
荒　木　陽　子	55.10. 4	平成4.10. 3
桑　原　良　文	55.10. 4	昭和63. 6.20
土　橋　義　廣	56.10. 5 60.10.26	60.10. 4 平成5.10.25
龍　崎　芳　郎	62.10.13	3.10.12
杉　田　克　己	63. 7. 6	4.10. 3
原　　正　守	平成2.10.19	6.10.18
田　澤　寛　子	4.10. 8	8.10. 7
鈴　木　善之助	3.10.14	11.10.13
五月女　　武	4.10. 8	11. 3.31
石　川　三　義	5.10.26	21.10.25
寺　田　　鼎	6.10.19	10.10.18
渡　邉　妙　子	8.10. 8	20.10. 9
積　　惟　貞	10.10.22	14.10.21
長　澤　靖　夫	11. 4. 1	16. 3.31
内　田　文　喬	11.10.19	19.10.18
勝　呂　弥　生	14.10.22	22.10.21
工　藤　達　朗	16. 4. 1	28. 3.31
久　松　　但	19.10.19	27.10.18
細　沼　早希子	20.10.10	28.10. 9
三　好　勝　晴	21.10.26	令和3.10.25
土　屋　葉　子	22.10.22	現　在
川　口　浩　史	27.10.19	現　在
重　光　　純	28.10.10	現　在
佐　藤　清　子	令和3.10.26	現　在

教育委員会機構図

令和６年４月１日現在

（教育委員会事務局）

- （教育委員会）
  - 教育長
  - 教育委員
- 教育企画課
- 学校管理課
  - 経理係　施設係
  - 〔小学校〕23校（※１）
  - 〔中学校〕18校（※２）
  - 学校給食室
- 〔市立高校〕
- 学校教育課
  - 学事係　指導係
  - 情報教育推進室
- 教職員研修センター
- 文化振興課
  - 文化施設係　文化財企画係　文化財調査係
  - 〔歴史民俗資料館　明治史料館　戸田造船郷土資料博物館〕
  - 〔芹沢光治良記念館〕
  - ---〔市民文化センター〕
  - ---〔若山牧水記念館　庄司美術館〕
  - ---〔重要文化財松城家住宅〕
  - 文化政策室
    - 市民文化センター整備活用担当
- 生涯学習課
  - 市民学習係　青少年係
  - 〔青少年教育センター〕
  - 〔ゆめとびら舟山〕
- 〔市立図書館〕
  - 管理・事業係　図書係
  - 〔戸田図書館〕

〔　〕は出先機関及び主要施設

---- は指定管理者制度を導入している主要施設

※１　小学校には静浦小中一貫学校、長井崎小中一貫学校、戸田小中一貫学校を含む

※２　中学校には市立高中等部、静浦小中一貫学校、長井崎小中一貫学校、戸田小中一貫学校を含む

〔大平幼稚園〕の事務は、市民福祉部福祉事務所職員が平成27年度から補助執行している

教育委員会事務局職員等の配置人員

（令和６年５月１日現在）

区分 課・施設等		事務職員	技術職員	業務員等	教諭等	会計年度任用職員	計
教育次長		1					1
教育指導監					（指導主事）1		1
教育企画課		4			（指導主事）3	1	8
学校管理課		10	3	3	（指導主事）1	4	21
学校教育課		4		1	（指導主事）13 （兼４）	153	171(4)
教職員研修センター		1			（指導主事）3	6	10
文化振興課		16（兼１）	1（兼１）		（指導主事）1	11	29(2)
生涯学習課		10				7	17
施設	市立図書館	11	1	1		39	52
	戸田図書館	2（兼１）				2	4 (1)
	歴史民俗資料館	3				3	6
	明治史料館	3				4	7
	戸田造船郷土資料博物館	3（兼２）				2	5 (2)
	芹沢光治良記念館	2				2	4
	青少年教育センター	3			（指導主事）3	9	15
	ゆめとびら舟山	1（兼１）				3	4 (1)
市立高等学校		3		1	46	26	76
市立小学校 23 校				8		85	93
市立中学校 18 校				4		54	58
市立幼稚園 1 園		1			5		6
市立認定こども園 1 園					8	3	11
計		78(5)	5 (1)	18	84(4)	414	599(10)

※学校基本調査をもとにしています。

沼津市教育大綱

目的・趣旨

「誇り高い沼津を創造する　貴(たか)き志を持つ人づくり」

「貴き志を持つ人」とは
- **夢を実現するべく、変化する社会の中で意思を持って学び続ける人**
- **他者を尊重し、社会のために尽くす人**
- **シビックプライドを持ち、主体的に社会を変えていこうと行動する人**

期　間

令和３年度から令和７年度までの５か年

基本方針

１　人間力を磨く教育

□ 確かな知性の育成　　□ 豊かな心の育成　　□ 健やかな体の育成

社会情勢がめまぐるしく変化し、予測が困難な時代を迎える中、自分らしくたくましく生きていくためには、「知」すなわち確かな知性、「徳」すなわち豊かな心、「体」すなわち健やかな体をバランスよく育て、個の資質を高めていくことが重要です。

夢と志を持って、可能性に挑戦するために必要な力を確実に育んでいくため、「知・徳・体」の育成により人間力を磨く教育を推進していきます。

２　地域総がかりで取り組む教育

□ 地域が学びを育て、学びが地域を育てるまちの推進　　□ 生涯を通じた学びの推進
□ 人づくりとまちづくりの一体的な推進

市民の価値観やライフスタイルが多様化する中、持続可能な社会を築いていくためには、地域における人と人との繋がりを深めるとともに、地域に貢献できる人材を育て、豊かで活力ある地域社会を実現することが重要です。

地域の物的資源や人的資源を生かしながら生涯を通じた学びを促進し、人づくりとまちづくりの連携を推進していきます。

※「沼津市教育大綱」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１条の３の規定に基づき、本市の教育が目指す基本的な方向や推進すべき施策を明らかにするものとして、本市の教育理念とその施策に関する基本的な方針を定めたものである。本市における最上位計画である「沼津市総合計画」を踏まえるとともに、国の「第３期教育振興基本計画」を参酌して策定した。

沼津市教育基本構想

1．目的「誇り高い沼津を創造する　貴（たか）き志を持つ人づくり」

これまで本市は、一人一人が心豊かで充実した生活を実現できるよう、誰もが生涯にわたって学び、その成果を生かして、大きな夢や希望を持つ「夢ある人」が育つことを目指してきました。

これからは、一人一人の夢の実現にとどまらず、あらゆる場所で挑戦し続け、「沼津を愛し、誇りを持ち、自分自身が関わって社会を変えていく」というシビックプライドを持った、「貴き志を持つ人」の育成を進めていきます。

2．期　間

「沼津市教育大綱」と同様、令和３年度から令和７年度までの５か年

3．施策の方向

⑴　人間力を磨く教育

現在、人生100年時代を迎えようとしており、また、様々な分野におけるAIやIoT、ビッグデータ、ロボットなどの技術革新、グローバル化の進展など、社会情勢が目まぐるしく変化しています。

このような変化の激しい時代を迎え、子供から高齢者まで誰もが、自分らしく明るく生き生きと暮らすためには、生涯にわたる教育を通じて、知（確かな知性）、徳（豊かな心）、体（健やかな体）を主体的に身に付けることが必要です。

近年、幼児期から質の高い教育を提供することの重要性が高まるとともに、社会人の学びの継続や学び直しなども必要とされており、**「確かな知性の育成」**が求められています。

また、豊かな情操、多様性の尊重、自他の生命の尊重、自己肯定感、他者への思いやり、人間関係を築く力などが必要とされており、**「豊かな心の育成」**が求められています。

さらに、近年、健康寿命といった言葉も注目されている中、子供の体力低下や生活習慣病が問題となっており、知、徳に加え、**「健やかな体の育成」**も求められています。

これらのことから、知、徳、体、すなわち人間力を磨き、それらをバランスよく兼ね備えることが重要であり、系統的、継続的、かつ横断的な視点で、本市における教育を推進していきます。

⑵　地域総がかりで取り組む教育

少子化の進行、家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化などにより、地域における人のつながりや支え合いの希薄化が進んでいます。人口減少などの社会の大きな変化の中において、誰もが生涯にわたり学習し、その成果を地域での活動等にも生かしていくことで、持続可能な社会をつくることができます。

一人一人が孤立することなく、地域でともに学び、相互に認め合うとともに、これまで育まれてきた地域の歴史を学び、郷土への愛着や誇り、帰属意識を育み地域づくりに取り組むという**「地域が学びを育て、学びが地域を育てるまちの推進」**が求められています。

また、人生100年時代を見据え、生涯の各ライフステージにおいて、知識や技術等を獲得し、それを活用することにより、生きがいを持って豊かな人生を送ることができるよう、**「生涯を通じた学びの推進」**が求められています。

さらに、教育とまちづくりを連携させて相乗効果を図り、まちの主役である人を大切にするとともに、誰もが明るく生き生きと暮らせるまちづくりを目指すことが求められており、今後、「人づくりとまちづくりの一体的な推進」に取り組んでいきます。

※　平成18年の教育基本法改正により、地方公共団体の教育行政の基本計画を定めることが努力義務となったことから、本市では、平成21年に「沼津市教育基本構想」を策定し、平成27年には当時の社会状況等を踏まえて改訂した。

その後の社会状況及び教育を巡る状況の変化を受け、国は平成30年６月に「第３期教育振興基本計画」を策定し、静岡県も平成31年に「第３期静岡県教育振興基本計画」を策定している。

このような動向に加えて、本市では、令和３年４月を始期とする「第５次沼津市総合計画」及び「沼津市教育大綱」を策定したことを受け、令和３年度を始期とする新たな「沼津市教育基本構想」を策定した。

４．沼津市教育基本構想実施計画（R3～R7）

【表の見方】

◆節・項は、「沼津市教育基本構想」に対応しています。

◆主な事業等については、主要な事業を記載していますが、それ以外にも、学校・園等の教育活動において、理念の実現を図っています。

◆主な事業等の【参考】は、教育委員会所管以外の事業等を参考として示しています。

◆主な事業等の【再掲】は、事業内容が複数項に該当するため、複数回掲載された事業等を示しています。

第１章　人間力を磨く教育

節	項	目	施策の方向	主な事業等
1 確かな知性の育成	1 知を高める学びの充実	⑴ 確かな学力の育成	ア　遊び、学びの充実 幼稚園・保育所・認定こども園等において計画的に構成された教育環境の下で、幼児の自発的な遊びや体験を通じた学びの十分な確保に努めます。	1 民間保育所等施設整備事業 【参考】 2 幼稚園運営管理事業 3 私立幼稚園教育支援事業
			イ　学習の基盤となる資質・能力の育成 子供たちが変化の激しい予測困難な社会において、主体的に判断し他者と協調して生きていくために必要な、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の育成を図ります。	4 言語教育による表現力・読解力育成事業（言語科） 5 ICT活用教育推進事業 6 研究・美術活動推進事業 7 理科教育推進事業 8 理科教育振興事業 9 教職員研修センター運営事業（調査研究）
		⑵ 読書活動及び図書館活用の推進	ア　読書活動の推進 発達段階に合った本を読む環境を整え、幅広い読書活動や豊かな読書経験を重ねることにより、自分とは違ったものの見方や考え方を広げたり身に付けたりしていくことができるよう、読書環境の向上に取り組みます。	10 親子絵本ふれあい事業 【参考】 11 言語教育による表現力・読解力育成事業（学校司書配置） 12 図書館自主事業
			イ　図書館活用の推進 図書館では、読書習慣を確立し、生涯にわたり学び続けられるよう、幅広いジャンルの図書の整備・更新や、資料の電子化などの環境整備を進めるとともに、各種図書館サービスの充実を図ります。 また、学校図書館を言語活動や探求活動の場と位置付け、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した図書館活用を推進します。	13 言語教育による表現力・読解力育成事業（学校司書配置）【再掲】 14 図書館資料整備事業 15 図書館電子化推進事業 16 図書館サービス拡充事業
	2 グローバルな視点を持つ人の育成	⑴ 国際教育の推進	英語をはじめとする外国語教育の推進に努めるとともに、体験的な学習や問題解決的な学習などを通して、物事に柔軟に対処する力や、論理的に表現する能力、コミュニケーション能力等を身に付けられるよう、学びの広がりや深まりのある授業づくりに努めていきます。	17 言語教育による表現力・読解力育成事業（言語科）【再掲】 18 国際理解教育推進事業 19 国際理解教育体験事業（隔年実施）
		⑵ 英語教育の推進	幼児期においては、日常生活の中で、異なる文化に触れる活動に親しんだり、英語に慣れ親しむきっかけをつくったりする環境を整備します。その上で、小中学校においては、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」といった４技能を総合的に身に付けていきます。高校においては、４技能をバランスよく伸ばしていくことはもとより、社会の諸課題に向き合いながら、沼津を愛しグローバルな視点で地域社会を創生するグローカル人材の育成を目指します。	20 言語教育による表現力・読解力育成事業（言語科）【再掲】 21 沼津市統一パフォーマンステスト事業 22 国際理解教育推進事業 【再掲】 23 国際理解教育体験事業（隔年実施）【再掲】 24 イングリッシュデビュー事業 25 青少年体験学習推進事業（イングリッシュアドベンチャー）

節	項	目	施策の方向	主な事業等
1 確かな知性の育成	3 知を支える教育環境の充実	(1) 子供の学びを支える教育環境の整備	ア 系統的な学びのシステムの確立 小中、中高のそれぞれにおいて、経営理念や運営、学習指導、生徒指導等の方針を共有し、教育のベクトルを揃えることで、系統的な学びの確保を目指します。	26 言語教育による表現力・読解力育成事業（小中一貫教育） 27 児童生徒指導訪問事業 28 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（小中連携） 29 中高一貫教育推進事業（中高の連携）
			イ 個別最適な学びと協働的な学びの実現 子供の力を最大限引き出し、学力の向上を図るため、ICTを活用し、個別最適な学習や効果的な協働学習を展開していきます。 また、ICT環境の整備や教員のICT活用指導力の向上に努めます。	30 ICT活用教育推進事業【再掲】 31 市立高校ICT活用教育推進事業
			ウ 教職員が子供と向き合う環境の整備 教職員が、一人一人の子供と向き合うことに専念できる環境整備を図ります。	32 ICT活用教育推進事業【再掲】 33 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（教員の支援） 34 学校給食公会計化推進事業
			エ 教職員の資質・能力の向上 一人一人の教職員が、個々の課題解決のために、主体的に研修に取り組むことができる体制の充実を図り、計画的な支援に努めます。	35 教科指導研究事業 36 教職員研修センター運営事業
			オ 学校規模・学校配置の適正化の推進 子供たちにとってよりよい教育環境を整備するとともに、教育の質の更なる充実を目指し、学校規模・学校配置の適正化を推進します。	37 学校規模・学校配置適正化推進事業 38 学校施設整備事業
			カ 施設設備の充実 子供たちが安全・安心で充実した学校生活を送ることができるよう、学校施設の整備や維持管理を適切に行い、その充実を図ります。	39 小中学校営繕・改修事業（教室環境の充実） 40 小中学校営繕・改修事業（安全対策） 41 小中学校営繕・改修事業（施設整備） 42 市立高校施設改修事業
		(2) 学習の情報及び機会の充実	広く市民に対して生涯学習に関する情報発信を行い、市民が学ぶことのできる機会の充実を図ります。	43 市民大学開設事業 44 生涯学習推進事業（「さんさんだより」の発行）
		(3) 知を支える社会教育施設の充実	ア 図書館の充実 他の社会教育施設等との連携を推進するほか、電子書籍サービス等の拡充など、市民の生涯学習の支援機能を充実します。 また、各園等、学校、家庭、地域との連携を図り、子供の読書活動を推進します。	45 図書館電子化推進事業【再掲】 46 地域、保育所、学校等との連携の強化 47 図書館自主事業【再掲】
			イ 博物館の充実 子供たちが郷土の偉人の功績や昔の生活を学ぶ地域学習の場として利活用できるよう、学校教育と連携した取組を進めます。 また、学芸員等の調査研究成果を公開するほか、資料や図書を閲覧する場を設けることで、市民の自主的な学習を支援します。	48 歴史民俗資料館管理運営費（特別展・企画展開催事業） 49 明治史料館管理運営費（企画展開催事業） 50 戸田造船郷土資料博物館管理運営事業
2 豊かな心の育成	1 社会と関わる力の育成	(1) 基本的な生活態度や習慣の確立	幼児期においては、自立心とともに、自己の主張と抑制のバランスを取る力を育み、基本的な生活習慣の形成を図ります。また、学齢期においては、各教科、道徳科、総合的な学習の時間や特別活動等、教育活動全体を通して、生活習慣の確立を図ります	51 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（小中一貫教育） 52 沼津市幼児教育研究協議会補助金（幼児期・学齢期の円滑な接続に配慮したカリキュラムの編成）

節	項	目	施策の方向	主な事業等
2 豊かな心の育成	1 社会と関わる力の育成	⑵ コミュニケーション能力の育成	ア　遊びの充実 遊びを通して、友達と過ごす楽しさを味わったり、自分の存在感を感じたりして、様々な感情の交流をする機会を創出します。	53 幼稚園運営管理事業【参考・再掲】
			イ　相手の考えを受け止め、自分の思いを表現する態度の育成 人間関係を構築するためのコミュニケーション能力とその基礎となる言語能力の向上を図ります。	54 言語教育による表現力・読解力育成事業（言語科）【再掲】 55 沼津市幼児教育研究協議会補助金（幼児期・学齢期の円滑な接続に配慮したカリキュラムの編成）【再掲】
		⑶ キャリア教育の推進	将来、子供たちが社会人・職業人として自立していくために必要なキャリアプランニング能力、課題適応能力等を育成するため、各発達段階に応じた勤労観や職業観を形成します。	56 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（職業体験等） 57 中高一貫教育推進事業（キャリア教育） 58 伝統技能体験事業【参考】
		⑷ 持続可能な開発のための教育（ESD）の推進	環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な地球規模の課題を自らの問題として捉え、配慮・行動できるよう、持続可能な開発のための教育を推進します。 また、幅広い世代を対象とした環境教育の機会を設け、顕在化している環境問題への認識を促すため、市・事業者・学校が連携した環境教育を推進します。	59 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（実践的環境教育） 60 地球温暖化対策推進事業【参考】 61 環境を大切にする人づくり推進事業【参考】 62 自然環境保全事業【参考】 63 生活環境保全事業【参考】 64 SDGs教育推進事業 65 言語教育による表現力・読解力育成事業（言語科）【再掲】 66 国際理解教育推進事業【再掲】 67 国際理解教育体験事業（隔年実施）【再掲】 68 郷土の歴史と偉人学習事業 69 博物館所蔵古文書等調査整理事業 70 史跡等活用事業 71 地域史保存活用事業 72 消費者行政経費【参考】 73 地震防災啓発事業【参考】 74 自主防災会活性化事業【参考】 75 防災訓練事業【参考】
		⑸ 青少年による体験活動等の推進	子供たちの感性や知的好奇心の育成及び創造性の向上を図るために、学校や家庭では、経験できない体験型の学習を創出します。	76 青少年教育推進事業 77 青少年体験学習推進事業
	2 社会を生き抜く力の育成	⑴ 防災教育の推進	災害から生命や身体を守るため、自ら考え、判断し、行動する力を身に付けられるよう、防災教育の充実を図るとともに、地域との連携を密に取り、施設・設備などの安全対策を強化します。 各園等と学校においては、施設の立地条件や地域の実情などを踏まえた防災計画を策定し、様々な災害を想定した防災訓練を年間の教育計画に位置付け、防災教育を進めます。	78 学校安全計画の作成及び取組 79 救急救命研修事業 80 地震防災啓発事業【参考・再掲】 81 自主防災会活性化事業【参考・再掲】 82 防災資機材整備事業【参考】 83 防災訓練事業【参考・再掲】

節	項	目	施策の方向	主な事業等
2 豊かな心の育成	2 社会を生き抜く力の育成	(2) 交通安全教育の推進	各園等、学校、家庭、地域、関係機関が連携し、地域総がかりで交通事故から市民を守る取組を進めます。	84 通学路安全推進事業 85 交通安全父母の会連合会補助事業【参考】 86 交通安全推進事業【参考】
		(3) 防犯教育の推進	子供たちにとって安全・安心な環境確保のため、各園等と学校、家庭、地域などが組織的に対応するとともに、子供自らが自分の身を守ることができるよう、発達段階に応じた指導を進めます。	87 学校安全計画の作成及び取組【再掲】 88 防犯まちづくり事業【参考】 89 青少年教育センター運営事業
		(4) 学びを止めない危機管理体制の整備	大規模災害やウイルス感染症等の発生時にもつながりを維持し、学びを止めない体制を整備します。	90 ICT活用教育推進事業【再掲】 91 市立高校施設改修事業【再掲】
		(5) 情報モラル教育・メディアリテラシー教育の推進	情報社会における正しい判断や望ましい態度を育てるとともに、安全に生活するための知識や技能、健康への意識を育てる取組を進めます。情報モラルやメディアリテラシーについて、学校、家庭、地域が共に考え、適切な関わり方を身に付けていく機会の充実を図ります。	92 ICT活用教育推進事業【再掲】 93 市立高校ICT活用教育推進事業【再掲】
		(6) 主権者教育の推進	社会を形成する者としての意識を醸成し、自身が課題を多面的・多角的に捉え、判断する力を育むための主権者教育を推進します。	94 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（職業体験等）【再掲】 95 青少年健全育成推進事業（わたしの主張大会、高校生しゃべり場inぬまづ、新成人議会）
		(7) 消費者教育の推進	あらゆる年齢層の市民を対象として、行政、学校、地域、事業者等と連携・協働し、主体的に判断し責任を持って行動できる消費者を育成します。	96 生涯学習推進事業（出前講座）【参考・再掲】 97 消費者行政経費事業【参考】 98 消費生活相談員による消費者教育出前講座の実施
	3 自他を尊重する心の育成	(1) 自尊感情・自己肯定感を高める取組	子供たちが様々な体験を通じて成就感や達成感を味わい、それを他者から認められたり、ほめられたりするような場を設定することで、自己肯定感を高めていきます。	99 私立幼稚園協会補助金 100 家庭児童相談事業【参考】
		(2) 多様性を尊重する教育の推進	地域に暮らす全ての人が、お互いの人権を尊重し、個性を認め合いながら安心してともに暮らすことができるよう、多様な性の在り方に対する理解や多文化共生、ノーマライゼーション等に向けて取り組むとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現や働き方改革に取り組みます。	101 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（福祉体験等） 102 中高一貫教育推進事業（総合学習、探究活動） 103 多文化共生推進事業【参考】 104 男女共同参画推進事業【参考】
		(3) いじめを許さない学校を目指した取組	子供、教職員、保護者、地域が、いじめに対する共通認識を持ち、いじめは絶対に許されないという規範意識を醸成し、いじめの未然防止を図ります。 また、いじめの積極的かつ正確な認知に努め、早期対応につなげます。	105 いじめ対策生徒指導推進事業
		(4) 青少年のための健全育成の推進	家庭、地域、行政、関係機関が連携・協力し、青少年の健全育成を図ります。 また、青少年が各自の意見や考えを共有する場や、教養や技術を身に付ける場を提供します。	106 青少年対策事業 107 青少年健全育成事業 108 二十歳の集い事業 109 青少年教育推進事業【再掲】 110 青年教育推進事業 111 ゆめとびら舟山運営管理経費 112 各種団体補助金 113 青少年教育センター運営事業【再掲】

節	項	目	施策の方向	主な事業等
2 豊かな心の育成	4 感性豊かな心の育成	(1) 感性を育む教育の推進	ア　自然や幅広い世代、地域との触れ合い 心を揺り動かすような豊かな生活体験や自然体験の充実を図るとともに、異年齢交流の機会や地域とのつながりの場を設けていきます。 また、幼児期の子供たちが、学齢期につながる資質・能力を育むために、異年齢交流の機会や地域とのつながりの場を設けます。	114 沼津市幼児教育研究協議会補助金（世代間・地域との交流の促進）
			イ　豊かな心の育成 道徳教育の充実を進め、豊かな体験を通じた心の育成や感性・情操を豊かにするための機会の創出を図ります。また、芸術文化に触れる機会を設け、豊かな心の育成を図ります。	115 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（交流活動等） 116 庄司美術館管理運営事業 117 若山牧水記念館管理運営事業 118 芹沢光治良記念館管理運営事業 236 中学校部活動改革推進事業
		(2) 読書を通じた心の育成	ア　本に親しむ 読み聞かせなど、家庭における読書習慣の確立を支援するため、市立図書館をはじめ、各地区センター図書室では、幅広いジャンルの図書を整備します。	119 図書館資料整備事業【再掲】 120 図書館電子化推進事業【再掲】 121 親子絵本ふれあい事業【参考・再掲】
			イ　読書習慣の確立 幼稚園・保育所等において、読み聞かせ等、読書に親しむ機会や読書環境の充実を図るとともに、家庭に向けて読書の大切さを啓発します。	122 言語教育による表現力・読解力育成事業（学校司書配置）【再掲】 123 地域、保育所、学校等との連携の強化【再掲】
			ウ　自ら本に手を伸ばす子供の育成 子供が本に親しむ時間を確保するため、年間計画における読書の時間を位置付け、学校図書館の授業等における活用を図ります。 また、発達段階や興味関心に合った本の整備など、学校図書館における環境の整備に努め、児童生徒の読書活動を支援します。	124 言語教育による表現力・読解力育成事業（学校司書配置）【再掲】
		(3) 自ら体験する	ア　五感を通じて学ぶ体験活動 子供たちに新たな気付きをもたらす五感を通じて学ぶ体験活動の充実を図るとともに、主体的に地域の行事やボランティア活動に参加しようとする態度を育みます。	125 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（主体的体験等）
			イ　創造力、探求心の育成 地域の教育資源を積極的に活用し、実際の自然、社会、文化、スポーツなど、五感を働かせて体験しながら学ぶ機会を創出します。また、地域の人と一緒に活動することや、働く人の様子を見聞きすること、音楽や芸術を鑑賞し感想を述べ合うことなど、多くの人と関わり合いながら学ぶ機会の充実を図ります。	126 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（主体的体験等）【再掲】 127 中高一貫教育推進事業（総合的探究活動）
		(4) 市民の芸術文化環境の充実	市民による自主的な芸術文化活動を促進し、市民が直接体験する機会を提供するとともに、練習や発表、鑑賞の機会の充実に努めます。また、沼津の文学風土に触れる機会を提供します。	128 芸術文化振興事業 129 まちなかコンサート開催事業 130 文学のまちづくり推進事業 131 魅力ある文化芸術発信事業
		(5) 人々に潤いを与える文化施設	質の高い音楽や舞台芸術を鑑賞する場としてだけでなく、目的に応じて使い分けが可能なホール機能を維持するとともに、日頃の芸術文化活動の場として利活用できる施設の充実を図ります。	132 市民文化センター管理運営事業
		(6) 地域特有の文化風土を生かした教育の推進	地域特有な文化風土を、後世に継承していくため、文化資源を収蔵展示する施設等においてイベントや企画展等を実施するなど、地域に根差したものとして学んでいく機会を提供します。	133 庄司美術館管理運営事業 134 若山牧水記念館管理運営事業 135 芹沢光治良記念館管理運営事業

節	項	目	施策の方向	主な事業等
3 健やかな体の育成	1 体力の向上	⑴ 体力の育成	幼児期から自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、自ら心身を鍛えられるよう、自発的な遊び・学びの確保に努めるとともに、授業や行事、部活動などの指導、家庭・地域社会との連携を通じて、子供たちの体力を育成します。	136 幼稚園運営管理事業【参考・再掲】 137 部活動推進事業 237 中学校部活動改革推進事業【再掲】
		⑵ スポーツ機会の充実	健康の増進や体力の向上のため、ライフステージに応じたスポーツ機会の提供、高齢者や障害のある人などが参加しやすい環境の整備、スポーツを支える人材の育成・活用の充実を図ります。	138 部活動推進事業【再掲】 139 いきいきスポーツ推進事業【参考】 140 体力づくり教室運営事業【参考】 141 健康づくり推進事業【参考】 238 中学校部活動改革推進事業【再掲】
	2 健康の保持増進	⑴ 健康教育の推進	市民の健康意識の向上を図り、自発的な健康づくりの取組を促進するとともに、健康に関する主体的な学習を積み重ねることにより、生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培います。	142 学校保健会事業費交付金 143 薬学講座 144 学校保健関係事務経常経費 145 健康づくり推進事業【参考・再掲】 146 成人健康教育・相談事業【参考】
		⑵ 健康な心と体を育む食育の推進	食育の推進を通して、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人を育てます。	147 食育推進事業 148 学校給食衛生管理事業 149 地産地消研究事業 150 食育推進事業【参考】 151 食育や地産地消に関する事業【参考】 152 魚食普及・地産地消推進事業【参考】

第２章　地域総がかりで取り組む教育

節	項	目	施策の方向	主な事業等
1 地域が学びを育て、学びが地域を育てるまちの推進	1 郷土を愛する心の育成	⑴ 地域学習の推進	地域の歴史や先人の働き等を学ぶことや、地域の課題を解決する過程を通して、郷土に対する愛着や誇りを育み、将来の地域社会を担う人材の育成につなげていきます。	153 郷土の歴史と偉人学習事業【再掲】 154 沼津の魅力発信推進事業【参考】
		⑵ 郷土を学ぶ教育施設の充実	博物館等において、資料の収集・整理と適切な保管に努め、地域の成り立ちや暮らし、偉人の功績などを伝える貴重な資料を次世代に引き継ぎます。	155 歴史民俗資料館管理運営費（特別展・企画展開催事業）【再掲】 156 明治史料館管理運営費（企画展開催事業）【再掲】 157 戸田造船郷土資料博物館管理運営事業【再掲】
		⑶ 文化財の保存・活用	国民共有の財産である史跡や天然記念物、有形文化財等については、後世に残していくために、適切な整備や管理、保存を進めます。また、史跡めぐりや体験学習、地域での出張展示など、歴史資源を活用して文化財に触れる機会を提供します。文化財の魅力などを市民に向け啓発することにより、文化財を守り、活用していく担い手の育成に取り組みます。	158 博物館所蔵古文書等調査整理事業【再掲】 159 史跡等保全整備事業 160 史跡等活用事業【再掲】
		⑷ 地域史の活用	沼津市史や戸田村史の編さん過程で収集した資料などについて適切に保存管理し、調査研究の成果を市民に提供するなど活用を図ります。また、歴史資料などを継続して収集するとともに、行政文書等について適切な保存に努めます。	161 地域史保存活用事業【再掲】 162 図書館資料整備事業（地域資料の情報提供）【再掲】

節	項	目	施策の方向	主な事業等
1 地域が学びを育て、学びが地域を育てるまちの推進	2 地域における教育の推進	(1) 家庭の教育力の向上	ア　家庭教育の推進と子育てネットワークの構築 妊娠・出産、子育てに関する相談事を受け止める体制の充実や、講演会や座談会の開催等を通じ、子育てに関する悩みの共有と軽減を図り、保護者同士の横のつながりの構築と、家庭の教育力の向上を図ります。	163 社会教育振興事業（自信がもてる子育て講座・家庭教育講座支援事業・家庭教育支援チーム出前講座） 164 家庭児童相談事業【参考・再掲】 165 児童虐待防止対策事業【参考】 166 地域子育て支援事業【参考】 167 母子教育相談・乳幼児健康診査事業【参考】
			イ　保護者による活動の充実 保護者による活動の充実を図るため、保護者団体の活動を支援します。	168 社会教育振興事業（家庭教育講座支援事業） 169 沼津市PTA連絡協議会運営費補助事業
		(2) 地域の教育力の向上	地域の多様な主体が協力し、親子の育ちを応援することや充実した時間を過ごすための環境づくりを推進します。また、地域行事への参加やボランティア活動など、地域社会との関わりを通して、子供たちがこれからの時代に必要な力や、地域への愛着や誇りを育むことができるよう、地域が人を育て、人が地域をつくる循環の実現を図り、地域の発展の担い手となる人材の育成に努めます。	170 地域子育て支援事業【参考・再掲】 171 青少年を健やかに育てる会運営費補助金 172 地域コミュニティ事業【参考】
		(3) 学校と地域との連携・協働の推進	コミュニティ・スクールの導入等により、学校、家庭、地域が当事者意識を持ち、目標やビジョンを共有しながら、能動的に学校運営に参画する、地域総がかりの体制づくりを推進します。	173 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（コミュニティ・スクールの推進） 174 生涯学習推進事業（地域学校協働本部設置） 175 子どもの居場所づくり推進事業【参考】
		(4) 地域スポーツ活動の推進	体力づくり教室や行事等の開催により、スポーツへの参加機会の確保を図るとともに、地域スポーツの大きな役割を果たすスポーツ推進委員や地区体育委員会の活動を支援し、地域スポーツの推進を図ります。	176 スポーツ推進委員の活動支援【参考】 177 学校開放事業（屋外運動場・体育館） 178 スポーツ広場整備事業【参考】 179 いきいきスポーツ推進事業【参考・再掲】
2 生涯を通じた学びの推進	1 学び続ける人への支援	(1) 学びの場と機会の充実	ア　地域に根ざした学習活動の推進 地域住民のニーズを適切にくみ取りつつ、地域の自主性・主体性を生かし、地域に密着した学習活動を推進します。また、地域における学習活動を推進する人材の育成に努めます。	180 生涯学習推進事業（生涯学習地域推進員育成・各講師派遣・さんさん学習フェスティバル） 239 中学校部活動改革推進事業【再掲】
			イ　高齢者の生涯学習の推進 高齢者が、生きがいのある明るく健康的な社会生活を送ることができるための学びの場を提供します。また、地域の中で知識・技術・経験を生かせる場を提供します。	181 社会教育振興事業（高齢者学級） 182 生涯学習推進事業（まちの識者）
			ウ　障害のある人の生涯学習の推進 障害のある人が、いつでも気軽に生涯学習に参加できる環境の整備と、情報の発信に努めます。	183 社会教育振興事業 184 市民大学開設事業 185 生涯学習推進事業
			エ　図書館を活用した生涯学習の推進 何歳になっても市民が学び続けることができるよう、所蔵資料を充実させるとともに、地域の情報の拠点として様々な情報発信に努めます。 また、まちづくり、産業振興、健康・福祉など多様な分野と連携を図り、地域の活性化につなげます。	186 図書館資料整備事業【再掲】 187 図書館電子化推進事業【再掲】 188 地域、保育所、学校等との連携の強化【再掲】

節	項	目	施策の方向	主な事業等
2 生涯を通じた学びの推進	1 学び続ける人への支援	(2) 生涯にわたって親しむスポーツの充実	ア　スポーツ活動の推進 スポーツに親しみ、関心を寄せ、習慣化を図ることができる環境を整えます。また、各種スポーツ大会を支援するとともに、指導者の育成支援に努め、競技スポーツの人口の拡大や競技力の向上を図ります。	189 スポーツ振興事業【参考】 190 アスリート連携事業【参考】 191 沼津サイクルツーリズム推進事業【参考】 192 アスルクラロ沼津ホームタウン推進事業【参考】 193 フェンシングのまち沼津推進事業【参考】
			イ　スポーツ施設の整備 既存施設の適切な維持・管理や計画的な改修とともに、利用者の需要等に応じて施設の整備充実を図ります。	194 屋外運動場夜間照明施設整備事業【参考】 195 社会体育施設運営事業【参考】 196 新屋内温水プール整備事業【参考】 197 総合体育館整備事業【参考】
			ウ　スポーツ環境の整備・充実 関係団体との連携を強化し、ニーズに合った支援に取り組みます。また、関係団体との連携をとりながら、指導者育成の支援、ボランティアが活動できる場や情報の提供などを通じて、スポーツ活動を支える人材の育成や活動の充実を図ります。	198 いきいきスポーツ推進事業【参考・再掲】 199 スポーツ関係団体補助金【参考】
	2 学びの連続性の確保	(1) 幼稚園・保育所・認定こども園等の連携	子供の生活や発達の連続性を踏まえ、教育・保育を一体的に捉えた幼稚園・保育所・認定こども園相互間の連携、さらに行政、関係機関等との連携を図ります。	200 沼津市幼児教育研究協議会補助金（園間の連携）
		(2) 幼児教育と小学校教育の円滑な接続	各園等と小学校が、組織的・継続的な情報交換に努めるとともに、幼児期から学齢期における発達の流れの理解を図ります。	201 幼保小連携協議会
	3 誰一人取り残さない支援体制の構築	(1) 切れ目ない支援の充実	障害のある子供とその家族が、子供の状況に応じた専門的な支援を受け、安心・安定した生活を送ることができるよう、個々のケースに合わせて的確に対応するとともに、関係機関が連携し、各ライフステージに応じた切れ目ない支援の充実を図ります。	202 多様な保育サービス事業【参考】 203 児童発達支援センター運営費【参考】 204 就学支援事業 205 母子教育相談・乳幼児健康診査事業【参考・再掲】
		(2) 多様なニーズへの対応	ア　外国人児童生徒等への支援 外国人児童生徒等の困り感に寄り添い、日本語学習や日本語による教科等の学習への支援を行うとともに、保護者や指導者に対し、適切な支援を行います。	206 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（外国人児童生徒支援）
			イ　特別支援教育の充実 子供や家庭に寄り添い、個に応じた教育的ニーズを踏まえた効果的な指導が行えるよう、関係機関等と連携した体制づくりに取り組みます。 また、障害のある子供とない子供がともに学び、互いを尊重し合う心を育むインクルーシブ教育システムを推進します。	207 特別支援教育推進事業 208 就学者介助費用補助事業
			ウ　不登校の子供への支援 不登校の未然防止に向けて、魅力ある学校づくりを進めるとともに、不登校の早期発見、早期対応に努めます。また、不登校児童生徒に寄り添いつつ、必要に応じて関係各課及び外部機関と連携する中で、児童生徒の社会的自立を図ります。	209 教育相談推進事業 210 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（教育相談）
			エ　性的マイノリティの子供へのきめ細やかな対応 SOGI・性的マイノリティの子供と他の子供それぞれへの配慮の均衡を図りながら、学校生活を送る上での適切な支援を図ります。	211 SDGs教育推進事業 212 男女共同参画推進事業【参考】

節	項	目	施策の方向	主な事業等
2 生涯を通じた学びの推進	3 誰一人取り残さない支援体制の構築	(3) 教育相談の充実	関係者が十分に連携しながら、悩みを抱えた子供や保護者が相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、専門家による助言を行うなど、学校以外でも相談できる体制を整えます。	213 学校教育・家庭教育「地域総がかり」推進事業（教育相談）【再掲】 214 教育相談推進事業【再掲】
		(4) セーフティネットの充実	学校を子供の貧困対策の要として位置付け、貧困家庭の子供たちを早期に生活支援や福祉制度につなげていくことができるよう、学校、行政、各福祉機関等の支援ネットワークの連携強化を図ります。また、深刻化する児童虐待を早期に発見できるよう、学校体制を整えます。	215 居場所づくりコーディネート事業（令和４年度から）【参考】 216 児童虐待防止対策事業【参考】
3 人づくりとまちづくりの一体的な推進	1 自分らしいライフスタイルを実現できるまちづくりとの連携		市民が地域資源等について学べる機会やまちづくりについて子供たちとともに考える機会の創出、お互いの人権を尊重し、個性を認め合う教育を推進します。また、働き方改革の推進や、地域における交流拠点や子育てをサポートする場としての学校施設の活用など、教育を取り巻く環境の充実を図ります。	217 沼津の魅力発信推進事業【参考・再掲】 218 多文化共生推進事業【参考・再掲】 219 男女共同参画推進事業【参考・再掲】 220 公民連携リノベーションまちづくり推進事業【参考】
	2 地域の宝を活かすまちづくりとの連携		学校の授業等において、本市のスポーツや伝統的な地域の祭り、歴史・文化資源等の活用を図り、郷土の魅力への気付きや興味、関心を喚起し、地域への愛着を育むとともに、認知度向上につなげます。	221 沼津の魅力発信推進事業【参考・再掲】 222 沼津の魅力満喫事業【参考】 223 まちなみ景観形成推進事業（景観まちづくり学習）【参考】 224 沼津サイクルツーリズム推進事業【参考・再掲】 225 アスルクラロ沼津ホームタウン推進事業【参考・再掲】 226 フェンシングのまち沼津推進事業【参考・再掲】
	3 安全・安心のまちづくりとの連携		子供から高齢者まで市民一人一人の防災意識を高めるとともに、学校、家庭、地域、関係機関の連携により通学路の点検や登下校の指導を実施するなど、交通事故や犯罪から市民の命を守るための交通安全意識や防犯意識の向上を図ります。	227 防災訓練事業【参考・再掲】 228 交通安全父母の会連合会補助事業【参考・再掲】 229 交通安全推進事業【参考・再掲】 230 防犯まちづくり事業【参考・再掲】
	4 環境と共生する持続可能なまちづくりとの連携		学校教育における様々な機会を捉えた環境教育・学習の推進や、環境保全意識の醸成を図るとともに、市民一人一人が日常生活と環境との関わり方について理解を深め、持続可能な社会の構築を目指して、自主的かつ積極的な環境の保全や美化活動への取組を推進します。	231 なぎさクリーン事業【参考】 232 地球温暖化対策推進事業【参考・再掲】 233 環境を大切にする人づくり推進事業【参考・再掲】 234 自然環境保全事業【参考・再掲】 235 生活環境保全事業【参考・再掲】

総合教育会議

平成27年４月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、すべての地方公共団体に総合教育会議が設置されることとなった。

本市においても、「沼津市総合教育会議」を設置し、市長と教育委員会が十分な意思の疎通を図り、教育に係る課題やあるべき姿を共有し、連携して教育行政に取り組んでいる。

会議における協議・調整事項

⑴　市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定（Ｐ11に掲載）

⑵　教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策

⑶　児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置

令和５年度は、本年度が市制100周年の節目の年であることを踏まえ、次の100年を見据えて、「貴き志を持つ人づくりとまちづくり」をテーマとした会議を、令和６年１月に１回開催した。

学校規模・学校配置の適正化

本市では、平成29年に「沼津市立小・中学校の適正規模・適正配置の基本方針」を策定し、児童生徒にとってよりよい教育環境の整備及び教育の質の更なる充実を図るために、学校規模・学校配置の適正化に取り組んでいる。少子高齢化やグローバル化等の進展により子供たちを取り巻く状況が変化しても、持続的で魅力ある学校教育が実施できるよう、学校の配置や学校間の連携等についての検討も必要である。

また、学校は教育の場であるとともに地域交流の拠点であることから、地域の実情に応じたきめ細やかな分析を行い、保護者や地域住民と共通理解を図りながら、学校統合や小中一貫校化の適否について考えていく。

令和５年度は、基本方針策定後の環境変化を踏まえ、有識者や関係者等で構成する「沼津市学校規模・学校配置の適正化検討委員会」において、これまでの成果や課題を検証し、適正規模化の困難地域における教育の質の維持・充実に向けた方策等を示した追録（資料集）を、令和６年３月に策定した。

また、早急な対応が必要な地区においては、誰でも参加可能な地域住民説明会を開催した後、有識者、保護者、地域自治会、学校の代表者で構成する「学校の未来を考える会」を設置し、適正化に向けた基本的な考え方や学校の現状等を説明して意見交換を行った。

郷土への理解

沼津市は、恵まれた自然環境と地理的条件によって古くから発展し、多くの偉人を輩出している。また、風光明媚、気候温暖な土地柄もあり、訪れたり、定住したりした、沼津とゆかりのある数多くの偉人もおり、その活動の軌跡が残されている。

郷土とその歴史を知り、親しむことは、郷土愛を育むとともに生涯を豊かなものとする。市民が接する機会の提供や情報の発信に取り組んでいる。

教育財政

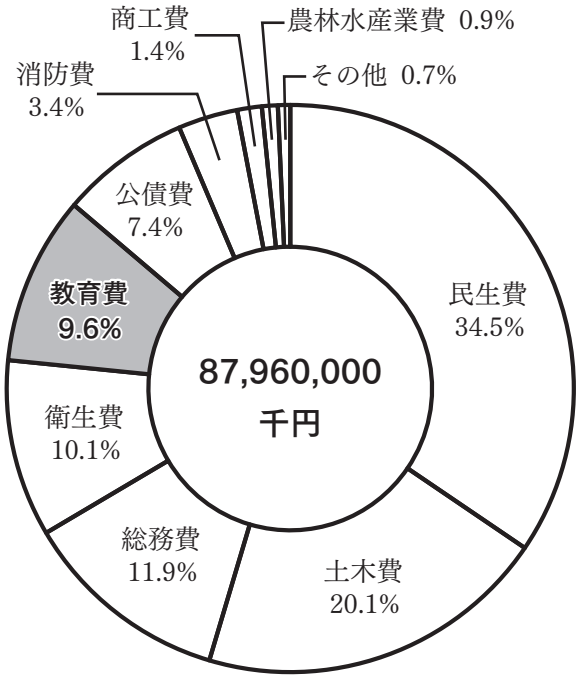
令和６年度教育予算（当初予算）は84億4,178万２千円で、前年度比19.6％、13億8,510万６千円の増となり、一般会計予算に占める割合は、9.6％と前年度の8.8％を0.8ポイント上回った。

教育費を費目別にみると、第四小及び大岡中学校校舎整備事業等の小・中学校費が32億2,032万２千円（前年度比11億892万７千円増）、市立高校の学校管理に係る高等学校費が６億1,002万８千円（前年度比5,345万４千円減）で、合わせて教育費の45.3％を占めている。

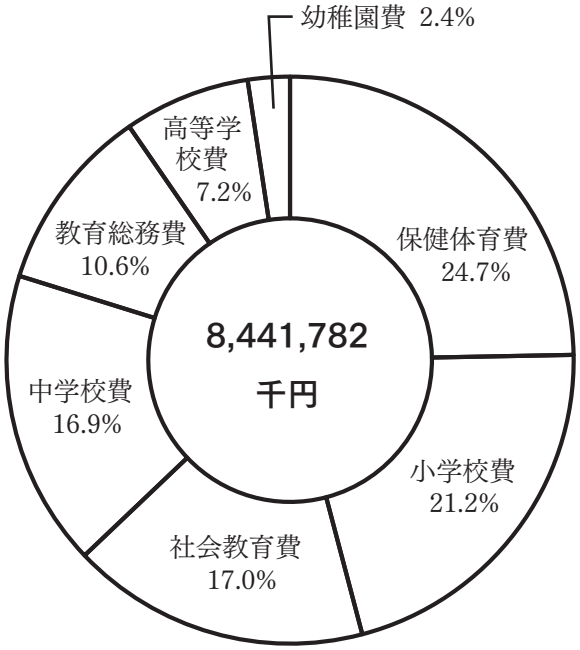
教育費の24.7％を占める保健体育費は20億8,155万６千円（前年度比２億9,952万４千円増）で、学校保健体育費、体育施設費などが主なものである。また、教育費の17.0％を占める社会教育費は、14億3,341万６千円（前年度比482万４千円減）で、図書館運営にかかる図書館費、市民文化センター運営にかかる市民文化センター費、青少年健全育成事業等の青少年対策費、史跡等保全整備事業等の文化財保護費などが主なものである。このほか、教育総務費は８億9,801万８千円（前年度比8,251万３千円増）、幼稚園費は１億9,844万２千円（前年度比4,758万円減）となっている。

令和６年度の予算執行に当たっては、教育大綱や教育基本構想の理念の下、効率的かつ計画的な事業運営と事務効率化による経費削減に努めるとともに、「誇り高い沼津を創造する　貴き志を持つ人づくり」を基本とする施策の展開を図っていく。

１．令和６年度一般会計歳出予算と教育費予算



〔一　般　会　計〕



〔教　　育　　費〕

2. 令和６年度教育費予算内訳

（単位：千円）

項目		金額	左のうち人件費	所管
教育総務費	1．教育委員会費	3,748	3,279	教育企画課
	2．事務局費	601,263	588,716	教育企画課、学校管理課
	3．育英奨学費	5,872	32	学校管理課
	4．学校指導費	286,860	4,386	教育企画課、学校教育課、教職員研修センター
	5．言語障害指導費	275		学校教育課
	小計	898,018	596,413	
小学校費	1．学校管理費	1,198,395	166,120	学校管理課
	2．教育振興費	71,748		学校管理課
	3．特別支援学級費	7,556		学校管理課、学校教育課
	4．学校建設費	512,000		学校管理課
	小計	1,789,699	166,120	
中学校費	1．学校管理費	644,608	100,527	学校管理課、市立高
	2．教育振興費	72,100		学校管理課
	3．特別支援学級費	4,915		学校管理課、学校教育課
	4．学校建設費	709,000		学校管理課
	小計	1,430,623	100,527	
高等学校費	1．学校管理費	610,028	496,065	市立高
	小計	610,028	496,065	
幼稚園費	1．幼稚園費	69,191	61,691	こども未来創造課
	2．教育振興費	129,251		学校教育課、こども未来創造課
	小計	198,442	61,691	

（単位：千円）

項目		金額	左のうち人件費	所管
社会教育費	1．社会教育総務費	253,054	250,752	生涯学習課
	2．社会教育振興費	10,617		文化振興課、生涯学習課
	3．青少年対策費	162,711	131,112	生涯学習課、こども未来創造課
	4．図書館費	419,041	214,122	図書館
	5．文化振興費	46,934		文化振興課
	6．文化財保護費	66,340	110	文化振興課
	7．自然体験施設費	5,870	47	生涯学習課
	8．博物館費	128,520	69,678	文化振興課
	9．市民文化センター費	340,329	117	文化振興課
	小計	1,433,416	665,938	
保健体育費	1．保健体育総務費	318,393	311,925	学校管理課
	2．学校保健体育費	890,502	36,013	学校管理課、学校教育課、こども未来創造課
	3．社会体育費	118,017	80,407	生涯学習課、ウィズスポーツ課
	4．体育施設費	754,644	21,453	ウィズスポーツ課
	小計	2,081,556	449,798	
合計		8,441,782	2,536,552	

○人口１人当たりの教育費

（単位：円・人）

区分＼年度	R３（決算）	R４（決算）	R５（当初予算）	R６（当初予算）
教育費	5,896,524,233	6,051,419,402	7,056,676,000	8,441,782,000
人口（４月１日現在）	192,644	190,417	188,613	186,676
１人当たり教育費	30,608	31,780	37,414	45,222

○児童１人当たりの小学校費

（単位：円・人）

区分＼年度	R３（決算）	R４（決算）	R５（当初予算）	R６（当初予算）
小学校費	856,763,288	1,061,055,177	1,212,272,000	1,789,699,000
児童数（５月１日現在）	7,811	7,577	7,372	7,195
１人当たり小学校費	109,687	140,036	164,443	248,742

○生徒１人当たりの中学校費

（単位：円・人）

区分＼年度	R３（決算）	R４（決算）	R５（当初予算）	R６（当初予算）
中学校費	563,407,050	731,360,432	899,123,000	1,430,623,000
生徒数（５月１日現在）	4,527	4,395	4,276	4,034
１人当たり中学校費	124,455	166,407	210,272	354,641

３．学校施設学校建設事業内容（令和６年度予算）

学校名	事　業　内　容	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	一般
第四小	校舎改築事業（６～７年度継続事業） 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造３階建 延べ床面積2,252.75㎡	459,000	40,796		315,400	102,804
その他	校舎及び屋体長寿命化改修実施設計等（金岡小） 校舎耐力度調査（第三小他４校）	53,000			26,400	26,600
小　計		512,000	40,796	0	341,800	129,404
第三中	校舎長寿命化改修事業	190,000	56,514		110,100	23,386
大岡中	校舎改築事業（６～８年度継続事業） 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造４階建 延べ床面積3,905.71㎡	480,000	81,733		311,500	86,767
その他	校舎地質調査（金岡中他１校） 校舎耐力度調査（金岡中他２校） ほか	39,000			11,900	27,100
小　計		709,000	138,247	0	433,500	137,253
合　計		1,221,000	179,043	0	775,300	266,657

４．学校施設建設事業費

区分＼年度	Ｒ３（決算）	Ｒ４（決算）	Ｒ５（当初予算）	Ｒ６（当初予算）
小　学　校	—	—	50,000千円 校舎実施設計等 １件 (第四小学校)	512,000千円 校舎改築　１件 (第四小学校) 校舎及び屋体実施 設計等　６件 (金岡小学校他)
中　学　校	—	—	149,800千円 校舎実施設計等 ４件 (大岡中学校他)	709,000千円 校舎改築　１件 (大岡中学校) 校舎長寿命化改修 １件 (第三中学校) 校舎地質調査等 ３件 (金岡中学校他)
高　　校	—	—	—	—

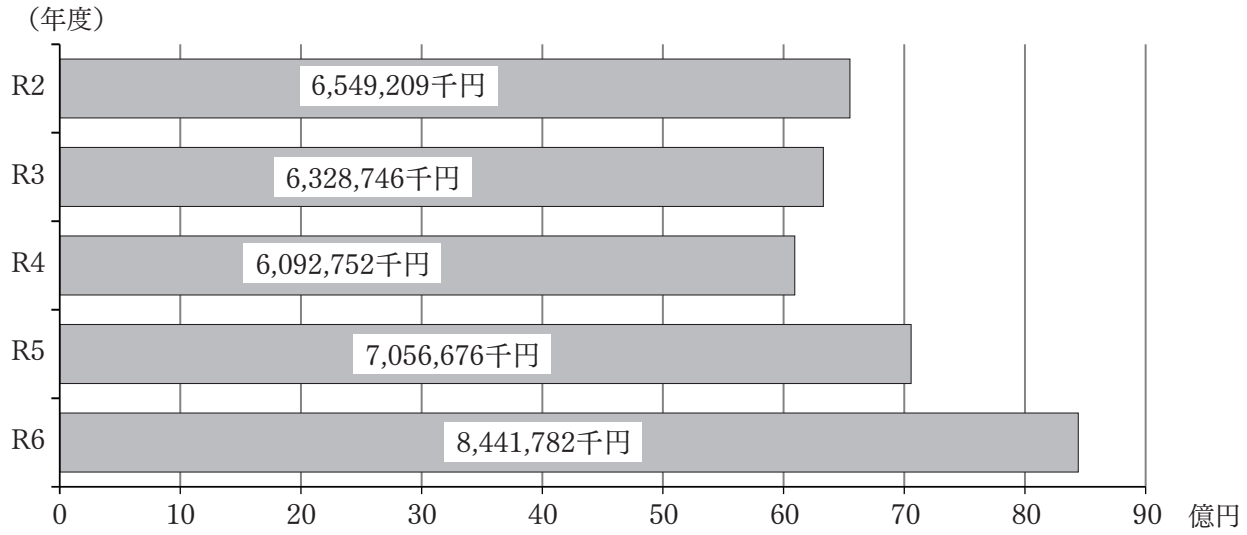
5．年度別教育費の推移

○決算額の推移

（単位：円）

年度	市一般会計決算額（A）	教　育　費（B）	$\frac{(B)}{(A)}$ %	一世帯当たり教育費（4月1日現在の世帯数による）
R 2	95,394,558,470	7,480,121,243	7.8	80,895
R 3	82,110,643,832	5,896,524,233	7.2	63,516
R 4	88,013,955,760	6,051,419,402	6.9	65,173
R 5	80,090,000,000（当初予算）	7,056,676,000（当初予算）	8.8	75,564
R 6	87,960,000,000（当初予算）	8,441,782,000（当初予算）	9.6	90,182

○当初予算額の推移



学 校 教 育

1．沼津市の特色ある教育

⑴　言語教育による表現力・読解力育成事業

沼津市は、平成18年度から市立小中学校（市立高中等部を除く。）で「読解の時間」と「英語の時間」からなる「言語科」を実施している。平成27年度には、10年間の成果と課題をもとに、目標や内容を見直した。既存の知識を習得するだけでは、これからの変化の激しい社会を生き抜くことは難しく、自ら課題を発見し、解決するための道筋を考え、周りの人たちと協働し最善の答えを見付け出していく力が求められている。そのため、子供たちが問いを発見し、自ら見通しを持ち、その解決を図る「学び」を積み重ねていくことが大切である。

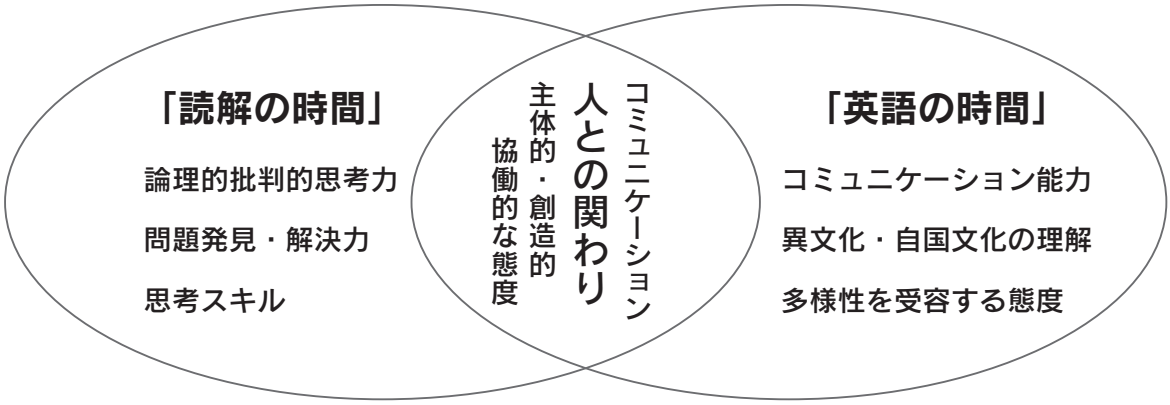
学校の教育活動全体

道徳教育・特別活動・総合的な学習の時間　***実践力***

言語科　***思考力・発信力***

（教科横断的な資質・能力）

言語を用いて積極的に人と関わり、自分の持ち味、可能性を自覚し、自ら高めていこうとする態度や知識を活用する力を高め、変化の激しい社会やグローバル化された社会に対応することができる資質・能力を育成する。



教科・特別の教科 道徳　***基礎力***

（言葉を用いて積極的に人と関わっていこうとする態度の育成）

① 「言語科」授業時間数

小学校１・２年生	小学校３・４年生	小学校５・６年生	中学校１年生	中学校２・３年生
年間35時間 （読解15・英語20）	年間50時間 （読解15・英語35）	年間30時間 （読解20・英語10）	年間35時間 （読解15・英語20）	年間55時間 （読解35・英語20）

② 「読解の時間」の取組内容

文章や資料などのテキストから、子供たちが課題を発見し、人と関わり合いながら解決に向かっていくプロセスを大切にし、思考力、判断力、表現力、発信力を高め、実践的な力へとつないでいく。

③ 「英語の時間」の取組内容

英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験し、コミュニケーション能力の素地を養うことや、初歩的な英語運用能力を養うことを目標に行っていく。そして、人との関わり合いを通じて違いに気付き、多様性を受容することを大切にし、グローバルマインドの涵養や実践的なコミュニケーション力など、英語力を養うことを通して高めていく。

④ 市独自の英語パフォーマンステストの実施

学習指導要領（平成29年告示）の改訂により、筆記テストだけでなく、面接・スピーチ・エッセイ等の「パフォーマンス」評価を授業に取り入れ、筆記テストの結果に留まらない、言語を用いて何ができるかという観点からの多面的・多角的な評価を行っていくことが必要となった。

そこで、生徒が「言語科」で学び伸ばしてきた自らの英語力を確認するとともに、実生活に必要な実践的コミュニケーション能力を高めるため、令和４年度から、全市共通内容の下、生徒とALTが１対１で、１人１台端末（Chromebook）を経由したリスニング・スピーキングのテストを実施している。

本テストの結果は生徒自身の振り返りのため生徒にフィードバックするとともに、全中学校・全英語教員で結果を共有し、授業改善につなげていく。

⑵ 「チーム学校」実現事業

地域性や学校の独自性を生かした特色ある教育活動を通して、小中学校の中期計画を達成するために、各学校が必要とする支援員の配置、地域交流の推進と外部人材の活用を図る事業を学校の要望に応じて支援する。これにより、「チーム学校」を実現し、児童生徒の教育の充実を図るとともに教員の執務時間を確保する。

① 支援員配置事業

ア 児童生徒支援員

通常学級、特別支援学級、通級指導教室、相談室、校外学習（泊を伴うものを除く。）等において、教員の支援及び校長が認める児童生徒との関わりや触れ合いを前提とした業務、教員の事務処理の補助、教育委員会が必要と認める業務を行う。

イ 図書館支援員（学校司書）

児童生徒に対する本の貸出・返却や、レファレンス、読書相談、ブックトーク等に関する業務をはじめ、蔵書の登録・分類・管理や環境整備に関する業務や、校長が認める読書活動の推進に関わる業務を行う。

ウ　外国人児童生徒支援員

帰国・外国人児童生徒及びその保護者に対して、学校生活や授業内容の習得、日本語学習等の支援を行い、日本での学校生活への適応を支援する。

エ　部活動指導員

中学校の部活動において、校長の監督を受け、部活動の顧問と連携協力して、実技指導や学校外での活動の引率等を行う。

オ　複式学級支援員

複式学級が発生した場合、学校配置の適正化の検討を行い、解消されるまでの一時的な措置として、校長の監督を受け、教員と連携して、児童の学力維持・向上のための授業の実施等を行う。

カ　放課後学習支援員

授業だけでは学習内容の習得が十分ではない児童生徒や、より確かな学力を付けたい児童生徒に対して、放課後や長期休業等を活用し、きめ細かな学習支援を行い、学力の定着を図る。

キ　日本語学習支援員

学校の要請に基づき、日本語の理解の低い帰国・外国人児童生徒に対して、分かりやすい日本語を使って、日本語の初期指導や学習の状況に応じた学習支援を行う。

②　校外学習等支援事業

地域性や学校の独自性を生かした校外学習事業と、地域人材を活用する事業を通して、教育内容の質の向上を図る。

ア　校外学習支援事業

イ　地域人材を活用した事業

⑶　コミュニティ・スクール

小中一貫教育をベースにした地域総がかりの教育を推進するため、令和２年度から導入を開始した。令和５年度までに全中学校区に広がり、それぞれに「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」を設置し、学校と地域が連携・協力する仕組み作りをすすめている。

導入校区では、広報誌やホームページを通じた地域への積極的な情報発信、地域の住民や団体等と連携した清掃活動や花壇の整備、地域ボランティアによる放課後の補習学習の実施や授業支援等の成果がある。

※地域学校協働本部については、P66参照

⑷　沼津大志学習（沼津版キャリア教育）

未来を担う子供たちが、激しい社会の変化に対応していく能力や、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を身に付けるため、明確な目的意識を持って教育活動に取り組み、社会人・職業人として自立していくことを目指すキャリア教育の推進が求められている。そのため、沼津市では平成25年度に「沼津大志学習」の手引きを作成し、キャリア教育を推進してきた。

令和４年度には「沼津大志学習」の理念は変えずに、平成29年の学習指導要領の改訂と沼津市教育基本構想の実現とのつながりを意識して手引きの見直しをした。そして、「沼津大志学習2.0」として、目指す方向性をホームページで公開した。令和６年度は市内の学校の実践例や、

子供たちの視野を広げ、社会と関わる力を育成すること等を目的に学校と関わる団体・企業の紹介をしていく。

⑸　隣接校選択制度

小中学校入学時に、居住地のある通学区域の学校以外に、隣接する学校も選択できる隣接校選択制度を平成17年度から導入した。本制度の導入によって、通学区域の学校より近くに学校があっても、そこに通うことができないという通学距離の矛盾を解消できるなど一定の効果を収めたが、地域活動や災害時の対応に支障があるとの意見もあったことから、平成27年度新入生から距離による条件を加えるなど、運用の見直しを行った。

令和２年度に、沼津市立小中学校通学区域審議会において、コミュニティ・スクールの全校区での実施と指定校変更制度による対応を前提として、隣接校選択制度の廃止の答申を受けたことから、令和６年６月をもって隣接校選択制度を廃止するとともに、現行の隣接校選択制度の要件を指定校変更制度の許可基準に「通学上の安全確保」として追加し、統合した。

※　通学区域については、P38、39参照

⑹　中高一貫教育

平成15年４月に沼津市立沼津高等学校に中等部が併設され、本年度21年目を迎え、令和５年３月には15期生が高校を卒業した。「誇り高い沼津を創造する　貴き志を持つ人づくり」という教育目標のもと、「あすへのゆめをみつけあゆみ続ける」を合い言葉に、中高一貫校として６年間を見通した系統的、継続的な教育を行っている。生徒の学力を向上させ、個性を伸ばす教育を展開し、「文・武・芸」の三道鼎立で人間力を磨き、沼津市及び県東部の様々な分野で活躍する志高いリーダーの育成を目指している。

※　沼津市立沼津高等学校・中等部については、P54参照

⑺　小中一貫教育

沼津市では、平成15年度から４年間、県教育委員会及び文部科学省の指定を受け、第五地区（第五小・開北小・第五中）において小中連携の研究を行い、平成26年４月には、新築では県内公立校で初となる施設一体型小中一貫学校「静浦小中一貫学校」を開校し、小中一貫教育の研究を推進している。

これらの取組の成果を踏まえ、平成30年度からの２年間、全ての市立小中学校（市立高中等部を除く。）を研究指定校として、小中合同の会議・研修、中学校区単位での地域連携、小中乗り入れ授業等を各中学校区で行い、令和元年度からは全中学校区で併設型小・中学校として小中一貫教育を実施している。

また、令和３年４月には、「長井崎小中一貫学校」「戸田小中一貫学校」を新たに施設一体型小中一貫学校として開校している。

「義務教育９年間で子供を育てる」ことに重点を置き、沼津市教育基本構想に掲げる「誇り高い沼津を創造する　貴き志を持つ人づくり」の実現のために、義務教育９年間のゴールの姿を市立小中学校の全教職員で共有して教育活動に取り組むことを目指しており、令和４年11月には、静浦小中一貫学校において、９年間にわたる指定研究の本発表を行った。

⑻　ICT活用教育

ICTの活用により、全ての児童生徒の可能性を引き出し、Society5.0時代において様々な社会の変化にも前向きに対応できる人づくりのための「個別最適な学び」「協働的な学び」「学びの継続」の実現に向けた取組を推進している。

①　GIGAスクール構想の推進

ア　沼津市学校教育におけるICT活用方針（N－GIGA）に基づく取組の推進

イ　教職員のICT活用指導力向上に向けた研修の実施

ウ　学校と家庭の学びをつなぐための端末持ち帰り

エ　非常時にも学びを止めないための環境整備や体制構築

オ　全市立小中学校におけるデジタル教科書の使用（文部科学省の実証事業による）

カ　ICT活用による児童生徒のスキル・リテラシー向上の評価

キ　教員のICT活用指導力向上の評価

②　情報教育推進室の取組

ア　教員のICT活用指導力向上に向けた取組の充実（ICT活用研修の開催、ネットワーク協議会の開催、校内研修のサポート、学校支援訪問の実施、ICT活用指導力調査等）

イ　校務の効率化の推進（校務支援ソフトの活用等）

ウ　授業等で活用できるサイトや資料の紹介、好事例や教材等の共有等

エ　ICT環境の整備・充実

オ　セキュリティ・ポリシー（ICT活用ガイドラインを含む）の周知

カ　広報活動

キ　教職員研修センターとの連携ほか

2．市立小・中学校一覧表

〔小　学　校〕　　令和６年５月１日現在

学 校 名	創 立 年 月	所　　在　　地	児童数	学級数	教職員数	電話／FAX
第一小学校	明治元年９月	沼津市八幡町65番地の１	232	11	27	962－0351 962－0321
第二小学校	明治６年９月	沼津市常盤町２丁目32番地	97	6	22	962－0352 962－9533
第三小学校	明治19年10月	沼津市下香貫下障子3157番地の２	262	13	24	931－0353 931－0352
第四小学校	昭和２年11月	沼津市御幸町４番１号	414	17	43	931－0354 931－0367
第五小学校	昭和13年４月	沼津市米山町９番１号	332	13	31	921－0355 921－0356
開北小学校	昭和32年４月	沼津市高沢町17番１号	333	13	31	921－4041 921－4042
千本小学校	昭和19年４月	沼津市本字千本1910番地の19	51	5	18	962－0356 962－5408
片浜小学校	明治６年７月	沼津市大諏訪41番地	297	14	31	962－0357 951－1483
金岡小学校	明治19年４月	沼津市江原町３番１号	660	27	42	921－1371 921－1370
大岡小学校	明治７年11月	沼津市大岡2358番地	407	16	36	921－1885 921－1991
静浦小中一貫学校 (静浦小学校)	平成26年４月 (明治19年４月)	沼津市獅子浜17番地	120	8	29	931－3017 931－3672
愛鷹小学校	明治８年９月	沼津市西椎路673番地の１	552	19	35	966－4244 966－4257
大平小学校	明治23年４月	沼津市大平2200番地	149	7	20	931－5020 931－5454
長井崎小中一貫学校 (長井崎小学校)	令和３年４月	沼津市内浦重須字洞畑453番地	57	6	24	941－3111 941－3112
原 小 学 校	明治６年３月	沼津市原1200番地	482	21	42	966－0034 966－0040
浮島小学校	明治18年８月	沼津市平沼811番地	186	7	18	966－2004 966－2549
香貫小学校	昭和45年４月	沼津市下香貫猪沼986番地	441	17	35	931－1234 931－1233
門池小学校	昭和47年４月	沼津市岡一色88番地の２	859	29	55	922－1481 922－1482
今沢小学校	昭和48年４月	沼津市東原字榎田通76番地の１	322	17	32	966－5522 966－5523
沢田小学校	昭和54年４月	沼津市中沢田字円丸715番地	269	11	25	924－0161 924－0162
原東小学校	昭和56年４月	沼津市大塚814番地の１	187	7	25	967－1213 967－1214
大岡南小学校	昭和57年４月	沼津市大岡字原田1312番地	457	17	38	962－0355 962－7644
戸田小中一貫学校 (戸田小学校)	令和３年４月 (昭和22年４月)	沼津市戸田883番地	29	4	25	0558－94－3028 0558－94－3841
計			7,195	305	708	

（教職員数は、市の事務員・栄養士・用務員ほかを含む。兼務者を含む。）

〔中　学　校〕

令和６年５月１日現在

学校名	創立年月	所在地	生徒数	学級数	教職員数	電話／FAX
第一中学校	昭和22年４月	沼津市丸子町692番地の１	128	7	23	962－1551 962－1541
第二中学校	昭和22年４月	沼津市本字千本1910番地の19	85	3	18	962－1552 962－2118
第三中学校	昭和22年４月	沼津市下香貫木ノ宮888番地	387	15	33	931－1553 931－1552
第四中学校	昭和22年４月	沼津市本郷町24番１号	212	8	25	931－1554 931－1586
第五中学校	昭和22年４月	沼津市五月町15番１号	392	13	30	921－1555 921－4099
片浜中学校	昭和22年４月	沼津市小諏訪180番地	165	6	24	962－1556 962－1730
金岡中学校	昭和22年４月	沼津市神田町４番１号	501	18	40	921－1558 921－1990
大岡中学校	昭和22年４月	沼津市大岡2110番地	396	15	34	921－1557 921－2622
静浦小中一貫学校 (静浦中学校)	平成26年４月 (昭和22年４月)	沼津市獅子浜17番地	79	4	33	931－3017 931－3672
愛鷹中学校	昭和22年４月	沼津市西椎路733番地	275	9	28	966－4229 966－4271
大平中学校	昭和22年４月	沼津市大平1144番地	73	3	19	931－5021 931－5029
長井崎小中一貫学校 (長井崎中学校)	令和３年４月 (昭和56年４月)	沼津市内浦重須字洞畑453番地	45	3	27	941－3111 941－3112
原中学校	昭和22年４月	沼津市原576番地	311	12	33	966－0138 966－1612
浮島中学校	昭和22年４月	沼津市平沼849番地	96	3	18	966－2040 967－1404
今沢中学校	昭和50年４月	沼津市東原字下方通289番地の１	231	12	36	966－9981 966－9982
門池中学校	昭和50年４月	沼津市岡一色657番地の１	392	14	35	923－3900 923－3963
市立高中等部	平成15年４月	沼津市三枚橋字鐘突免673番地	239	6	33	924－8000 921－7313
戸田小中一貫学校 (戸田中学校)	令和３年４月 (昭和22年４月)	沼津市戸田883番地	27	4	29	0558－94－3028 0558－94－3841
計			4,034	155	518	

（教職員数は、市の事務員・栄養士・用務員ほかを含む。兼務者を含む。）

小・中学校児童生徒数及び学級数

令和６年５月１日現在

校種	学校数	児童生徒数			学級数
		男	女	計	
小学校	23校	3,639	3,556	7,195	305
中学校	18校	2,066	1,968	4,034	155
計	41校	5,705	5,524	11,229	460

（学級数は特別支援学級を含む。）

3．通学区域一覧表

中学校校区	小学校校区	通　学　区　域
第一中	第一小	幸町（一部）、浅間町（一部）、本白銀町、白銀町、末広町、添地町、西条町、上土町、本錦町、本丸子町、錦町、丸子町、八幡町、市道町（一部）、真砂町、町方町、本字下中溝、大手町一丁目（一部）、大手町二丁目、大手町三丁目、大手町四丁目、大手町五丁目、東間門（一部）
第二中	第二小	仲町、浅間町（一部）、魚町、通横町、鵬町、新町、本町、下本町、大門町、東宮後町、旭町、下小路町、宮町、春日町、蓼原町、蛇松町、本蛇松町、下河原町一丁目、下河原町二丁目、下河原町三丁目、下河原町、本字下一丁田、本字千本郷林、本字千本（一部）、本字郷林添、千本常盤町、本字松下七反田、千本港町、本字千本港口、千本東町、千本西町、千本中町、本字前田、常盤町一丁目、常盤町二丁目、常盤町三丁目、千本緑町一丁目、千本緑町二丁目、千本緑町三丁目、幸町（一部）
	千本小	本字千本（一部）、本松下、本西松下、松下町、西間門三丁目、西間門（一部）、東間門一丁目、東間門二丁目、東間門三丁目、東間門（一部）、市道町（一部）、真砂町（一部）
第三中	第三小	我入道秋葉町、我入道外新田、我入道稲荷町、下香貫牛臥、下香貫山宮前、我入道江川、我入道南条寺、下香貫塩場、下香貫前原（一部）、下香貫浜田、下香貫善太夫、下香貫上障子（一部）、下香貫下障子（一部）、善太夫西原、我入道津島町、下香貫島郷、下香貫塚田（一部）、下香貫大久保（一部）、下香貫柿原、我入道浜町、我入道八間割、我入道蔓陀ケ原、我入道浜方、我入道林町、我入道東町、我入道一本松町、下香貫汐入（一部）、下香貫樋ノ口（一部）、上香貫蔓陀ケ原、西島町（一部）、上香貫三貫地、上香貫槇島町（一部）
	香貫小	下香貫石原、下香貫藤井原、下香貫矢丸、下香貫木ノ宮、下香貫前角、下香貫猪沼、下香貫前原（一部）、下香貫上障子（一部）、下香貫下障子（一部）、下香貫塚田（一部）、下香貫大久保（一部）、下香貫清水、下香貫馬場、下香貫西村、下香貫上ノ原、下香貫給田、下香貫塩満、下香貫七面、下香貫林ノ下、下香貫汐入（一部）、下香貫樋ノ口（一部）、下香貫宮脇（一部）、下香貫宮原（一部）、下香貫山ノ根、下香貫八重、下香貫八重原、下香貫楊原、下香貫六反、下香貫外原、上香貫二瀬川町（一部）、上香貫九十九洞、上香貫八重、上香貫坂口、上香貫鉛山、上香貫長洞（一部）、上香貫東坂、上香貫仰天峰、上香貫三ノ洞、上香貫手城山、香貫が丘
第四中	第四小	市場町、上香貫長洞（一部）、上香貫切通、住吉町、三園町、玉江町、上香貫東本郷町、上香貫槇島町（一部）、上香貫宮原町、上香貫獅子路、上香貫一ノ洞、上香貫二ノ洞、山ヶ下町、本郷町、上香貫三園町、南本郷町、中原町、上香貫南本郷町、御幸町、吉田町、中瀬町、黒瀬町、上香貫二瀬川町（一部）、下香貫宮脇（一部）、下香貫宮原（一部）、西島町（一部）
第五中	第五小	泉町、庄栄町、山王台（一部）、三枚橋町、杉崎町、新宿町、三枚橋杉崎町、平町、三枚橋荒田、三枚橋竹ノ岬（一部）、三枚橋日ノ出町、日の出町、富士見町、三芳町、米山町、五月町、北高島町（一部）、大岡〔自由ヶ丘（一部）、高田（一部）、竹ノ岬（一部）、大岡団地（一部）、日吉（一部）、泉町（一部）、富士町（一部）〕、大手町一丁目５番
	開北小	高島町、高沢町、高島本町、双葉町、本田町、寿町（一部）、北高島町（一部）、沼北町一丁目、沼北町二丁目、西沢田（一部）

中学校校区	小学校校区	通　学　区　域
片浜中	片浜小	大諏訪、小諏訪、西間門（一部）、西間門一丁目、西間門二丁目、松長
金岡中	金岡小	神田町、寿町（一部）、沢田（一部）、高尾台、筒井町、中沢田（一部）、西熊堂（一部）、東熊堂（一部）、松沢町、岡宮（一部）、柳町、豊町、足高、江原町、沢田町、若葉町、花園町（一部）
	沢田小	沢田（一部）、新沢田町、駿河台、高砂町、中沢田（一部）、西熊堂（一部）、西沢田（一部）、東沢田、東熊堂（一部）
大岡中	大岡小	三枚橋竹ノ岬（一部）、大岡〔石田ヶ丘（一部）、駅前町、自由ヶ丘（一部）、上石田（一部）、木瀬川（一部）、平和郷（一部）、下石田（一部）、仙岳町、太田町、高田（一部）、竹ノ岬（一部）、富士通、中石田、富岳町、富士町（一部）、沼平町、日吉（一部）、大岡団地（一部）、泉町（一部）〕、岡一色（一部）
	大岡南小	大岡〔石田ヶ丘（一部）、木瀬川（一部）、平和郷（一部）、下石田（一部）、日吉（一部）、大岡団地（一部）〕、山王台（一部）
静浦中	静浦小	江浦、獅子浜、多比、口野、志下、馬込
愛鷹中	愛鷹小	青野（一部）、鳥谷、西椎路、東原、東椎路、宮本、柳沢（一部）
大平中	大平小	大平
長井崎中	長井崎小	内浦〔小海、重須、重寺、長浜、三津〕、西浦〔足保、江梨、木負、久連、久料、古宇、河内、立保、平沢〕
原中	原小	原〔新田、西町、東町（一部）、一本松、六軒町〕、植田、西添町、桃里、一本松、根古屋（ニュータウン原）、原町中一丁目、原町中二丁目、原町中三丁目
	原東小	大塚（一部）、原〔東町（一部）〕、青野（一部）、柳沢（一部）
浮島中	浮島小	根古屋（ニュータウン原を除く。）、井出、平沼、石川
門池中	門池小	共栄町、北園町、岡一色（一部）、花園町（一部）、宮前町、緑ヶ丘、岡宮（一部）、大岡〔上石田（一部）、北小林、南小林、柏葉尾〕、小林台
今沢中	今沢小	今沢、北今沢、大塚（一部）
戸田中	戸田小	戸田、井田

※（一部）については、多校区に属するため、住所により異なる。

4．学 校 施 設

〔小　学　校〕　　令和６年５月１日現在（単位：㎡）

校舎等の現況						学校名	校地の現況			
屋内運動場			校舎				運動場	校舎敷地その他	合計	プール形個数
木造	非木造	合計	木造	非木造	合計					
	1,109	1,109		5,859	5,859	第一小学校	11,815	9,324	21,139	25m 1 小 1
	1,382	1,382		6,054	6,054	第二小学校	12,251	6,665	18,916	25m 1 小 1
	981	981		7,728	7,728	第三小学校	8,748	10,174	18,922	25m 1 小 1
	1,062	1,062		6,709	6,709	第四小学校	6,960	10,606	17,566	25m 1 小 1
	938	938		7,596	7,596	第五小学校	8,639	10,264	18,903	25m 1
	875	875		6,200	6,200	開北小学校	9,092	6,064	15,156	25m 1
	823	823		4,362	4,362	千本小学校	4,628	5,587	10,215	25m 1
	1,472	1,472		6,597	6,597	片浜小学校	10,146	13,131	23,277	25m 1 小 1
	1,241	1,241		8,076	8,076	金岡小学校	10,220	12,512	22,732	25m 1 小 1
	1,043	1,043	16	6,175	6,191	大岡小学校	10,220	11,484	21,704	25m 1 小 1
	1,100	1,100		7,983	7,983	愛鷹小学校	11,436	14,733	26,169	25m 1
	720	720	23	4,248	4,271	大平小学校	13,250	6,655	19,905	25m 1 小 1
	1,097	1,097		7,353	7,353	原小学校	10,500	16,444	26,944	25m 1
	1,156	1,156		3,861	3,861	浮島小学校	11,383	4,366	15,749	25m 1
	924	924		6,500	6,500	香貫小学校	15,700	12,820	28,520	25m 1 小 1
	913	913		8,224	8,224	門池小学校	10,900	7,956	18,856	25m 1 小 1
	932	932		6,584	6,584	今沢小学校	21,039	9,885	30,924	25m 1
	1,146	1,146		6,143	6,143	沢田小学校	9,157	8,806	17,963	25m 1 小 1
	1,242	1,242		6,245	6,245	原東小学校	10,272	12,804	23,076	25m 1
	1,112	1,112		6,603	6,603	大岡南小学校	12,586	11,387	23,973	25m 1 小 1
	21,268	21,268	39	129,100	129,139	合計	218,942	201,667	420,609	25m20 小 12
	100.00	100.00	0.03	99.97	100.00	率（%）	52.05	47.95	100.00	

〔中　学　校〕

令和６年５月１日現在（単位：㎡）

校舎等の現況						学校名	校地の現況			
屋内運動場			校舎（部室含む）				運動場	校舎敷地その他	合計	プール形個数
木造	非木造	合計	木造	非木造	合計					
	1,420	1,420		4,073	4,073	第一中学校	10,439	7,046	17,485	25m 1
	1,519	1,519		4,528	4,528	第二中学校	9,622	5,749	15,371	
	1,769	1,769		8,526	8,526	第三中学校	18,739	13,309	32,048	25m 1
	1,555	1,555		6,358	6,358	第四中学校	7,660	11,652	19,312	25m 1
	2,240	2,240		8,312	8,312	第五中学校	14,265	15,755	30,020	25m 1
	1,001	1,001	40	3,804	3,844	片浜中学校	10,831	4,799	15,630	25m 1 ※
	1,768	1,768		7,130	7,130	金岡中学校	18,190	7,863	26,053	25m 1
	1,767	1,767		6,761	6,761	大岡中学校	13,951	7,816	21,767	25m 1
	908	908	9	6,042	6,051	愛鷹中学校	14,974	10,845	25,819	25m 1
	1,210	1,210		4,793	4,793	大平中学校	16,380	9,800	26,180	25m 1
	1,851	1,851		7,355	7,355	原中学校	24,832	7,203	32,035	25m 1
	779	779	11	3,964	3,975	浮島中学校	12,658	4,470	17,128	25m 1
	1,359	1,359		6,174	6,174	今沢中学校	18,308	12,960	31,268	25m 1
	1,190	1,190		7,601	7,601	門池中学校	10,810	15,274	26,084	25m 1
	20,336	20,336	60	85,421	85,481	合計	201,659	134,541	336,200	25m13
	100.00	100.00	0.07	99.93	100.00	率（%）	59.98	40.02	100.00	

※　防衛庁補助による地区体育施設（ウィズスポーツ課所管）

〔小中一貫学校〕

令和６年５月１日現在（単位：㎡）

校舎等の現況						学校名	校地の現況			
屋内運動場			校舎（部室含む）				運動場	校舎敷地その他	合計	プール形個数
木造	非木造	合計	木造	非木造	合計					
	1,294	1,294		9,052	9,052	静浦小中一貫学校	13,885	16,245	30,130	25m 1 小 1
	1,157	1,157		3,291	3,291	長井崎小中一貫学校	12,095	7,390	19,485	25m 1
	986	986		3,685	3,685	戸田小中一貫学校	8,388	7,343 ※	15,731	
	3,437	3,437		16,028	16,028	合計	34,368	30,978	65,346	25m 2 小 1
	100.00	100.00		100.00	100.00	率（%）	52.59	47.41	100.00	

※　戸田教職員住宅敷地を含む

5．学校別就学前児童数

令和６年５月１日現在

学校＼年齢	5　歳	4　歳	3　歳	2　歳	1　歳	0　歳
第一小	16	17	19	18	14	15
第二小	17	18	17	10	16	12
第三小	41	38	40	25	25	34
第四小	64	62	58	50	43	30
第五小	51	53	36	37	35	40
開北小	58	61	39	43	50	34
千本小	9	12	9	6	8	8
片浜小	64	42	56	42	60	48
金岡小	87	65	77	70	68	67
大岡小	56	62	52	45	61	47
静浦小中（小）	18	16	22	14	5	12
愛鷹小	93	93	101	94	96	77
大平小	18	14	9	16	15	7
長井崎小中（小）	3	7	4	9	4	3
原小	67	63	67	57	64	74
浮島小	25	26	24	30	18	17
香貫小	74	57	68	71	41	54
門池小	137	141	165	131	140	126
今沢小	34	27	32	29	19	24
沢田小	52	57	41	55	51	40
原東小	31	23	28	23	16	19
大岡南小	88	80	78	93	68	79
戸田小中（小）	4	3	3	2	6	2
計	1,107	1,037	1,045	970	923	869

6．就 学 援 助

教育の機会均等を確保するため、就学援助については各種の施策を講じているが、要保護及び準要保護者に対しては就学援助関係法令に基づいて、教育委員会が援助費を支給している。また、特別支援学級に通学する児童生徒に対しても奨励費を支給している。

令和５年度　就学援助費決算額　（単位：人・円）

学 校	学用品購入費等		新入学学用品費等		修学旅行費		学校給食費		医　療　費		合　　計	
	人数	金　額	人数	金　額	人数	金　額	人数	金　額	人数	金　額	人数	金　額
小学校	1,002	11,946,811	109	5,698,912	126	3,243,458	822	38,711,356	0	0	2,059	59,600,537
中学校	814	15,463,322	282	8,886,000	207	11,637,786	580	31,547,558	0	0	1,883	67,534,666
計	1,816	27,410,133	391	14,584,912	333	14,881,244	1,402	70,258,914	0	0	3,942	127,135,203

※新入学学用品費等は令和６年度入学者分を含む。

令和５年度　特別支援教育就学奨励費決算額　（単位：人・円）

学 校	学用品購入費等		新入学学用品費等		修学旅行費		学校給食費		通　学　費		合　　計	
	人数	金　額	人数	金　額	人数	金　額	人数	金　額	人数	金　額	人数	金　額
小学校	102	401,739	12	270,735	10	88,690	86	2,078,213	28	584,330	238	3,423,707
中学校	65	360,075	9	271,174	11	315,032	43	1,207,004	6	74,035	134	2,227,320
計	167	761,814	21	541,909	21	403,722	129	3,285,217	34	658,365	372	5,651,027

7．進学と就職

中学校（令和５年度卒業生）　（単位：人）

区分 / 学校名	卒業生総数			進　学　者			就　職・その他		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第　一　中	30	26	56	29	26	55	1	0	1
第　二　中	20	22	42	19	22	41	1	0	1
第　三　中	84	82	166	82	81	163	2	1	3
第　四　中	53	44	97	52	43	95	1	1	2
第　五　中	83	60	143	78	60	138	5	0	5
片　浜　中	29	35	64	27	34	61	2	1	3
金　岡　中	88	85	173	87	83	170	1	2	3
大　岡　中	87	79	166	87	78	165	0	1	1
静浦小中(中)	11	16	27	11	16	27	0	0	0
愛　鷹　中	52	51	103	50	50	100	2	1	3
大　平　中	13	8	21	13	8	21	0	0	0
長井崎小中(中)	10	11	21	10	11	21	0	0	0
原　　中	60	53	113	59	53	112	1	0	1
浮　島　中	15	16	31	13	15	28	2	1	3
今　沢　中	32	36	68	32	33	65	0	3	3
門　池　中	63	57	120	62	57	119	1	0	1
市立高中等部	17	62	79	17	62	79	0	0	0
戸田小中(中)	4	4	8	4	4	8	0	0	0
計	751	747	1,498	732	736	1,468	19	11	30

P36～P43の数値は学校基本調査等をもとにしています。

8．教 育 研 修

教職員研修センター（かいこう舎）

「誇り高い沼津を創造する　貴き志を持つ人づくり」の実現に向けて、沼津市の子供に質の高い教育を提供していく必要がある。教職員の専門職としての研修を充実させ、資質向上を図ることを目的として平成23年４月１日に設置した。

１　概　　要

⑴　施　　設

- 所在地：〒410－0881　沼津市八幡町97　青少年教育センター３階
- 電　話：951－3425　ＦＡＸ：951－7355

⑵　人　　員

所長１人、指導主事２人、事務職員１人
研修アドバイザー４人、研修専門アドバイザー２人

２　業　務　内　容

⑴　「沼津市教育基本構想」に基づいた研修・研修会の運営、プログラムの作成

教職員自らが課題解決のために主体的に研修できるよう、学校や教職員のニーズにきめ細かく対応するプログラムを作成し支援する。

①　集合研修（センター主催）

教職員の経験、年齢に応じて資質向上を目指した育成研修。

採用５年目までの教職員としての基礎的素養を育むための若手教員研修は、校長会と連携している。

- 新任管理職　• 沼津中堅教員　• 新規採用教員　• 若手教員　• 教頭・事務職員
- 任期付職員等　• 拠点校及び特例校指導教員　• 児童生徒支援員

②　個別訪問研修（個別支援）

教職員個々の実態に応じて、話合いを深めながら必要な支援を行う研修。

研修アドバイザーの各学校訪問支援に加え、平成25年度から特別支援教育担当者による助言を行っている。

- 新規採用教員　• 若手教員　• 任期付職員等　• 育休等からの復帰者
- 第Ⅶ期沼津中堅教員　• 新任校長及び教頭　• 拠点校及び特例校指導教員
- 特別支援教育に関わる新規担当者への訪問及び要請訪問

③　自主参加型研修

教職員のニーズに応じて参加できる研修で、自主参加を原則とする。

〈かいこう舎講座〉　• 学校経営・運営講座　• 法令講座　• 教育課程講座
• 論文作成講座　• 道徳授業づくり講座
• 学級経営講座　• 授業づくり講座　• 特別支援教育講座

〈前、後期選択講座〉

④　研修支援

沼津教育振興会等が進めている研修や校内研修のサポート、研修センター職員の派遣、要望に応じた講師紹介、教科等の自主研修会のサポート等を行う。

⑵　調査研究

- 全国学力・学習状況調査の結果分析（検証改善委員会の運営）
- 教科書採択に関する調査研究
- 研修センターが所蔵している資料等の提供

⑶　沼津市教育研究奨励賞の選考

沼津市教育委員会は、奨励制度により教職員の研究意欲を高めるとともに、その研究実践の質的向上を図り、本市の学校教育の健全な発展を目指している。

〈研究奨励制度の要領〉

①　研究は個人を対象とし、単独の自主的研究を主体とする。研究は実践に基づいたものを重視する。

②　対象は、沼津市立の小・中学校及び幼稚園等に勤務する中堅教諭等資質向上研修を受講していない、又は、本年度受講している教職員とする。

③　受賞者を発表するとともに、表彰状と記念品を授与する。

令和５年度は14人の応募があり、優秀賞２人、優良賞２人、奨励賞10人とした。

９．特別支援教育について

特別支援教育とは、平成18年度までの特殊教育の対象ではなかったLD、ADHD、高機能自閉症等で通常学級に在籍する場合も含め、障がいのある児童生徒に対し、その一人一人の教育的なニーズを把握し、当該児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な指導及び支援を行うものであり、全ての学校で実施されるものである。さらに、特別支援教育は、障がいのある児童生徒への教育にとどまらず、全ての児童生徒が個々の違いを認め合いながら、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるものであり、現在及び将来の社会にとって重要な意味を持っている。

現在、沼津市では、通常学級に在籍する特別な教育的支援が必要な児童生徒が年々増加している中、各学校では特別支援教育コーディネーターを中心に特別支援校内委員会を設置し、該当児童生徒の支援計画を作成して、継続的支援を行っていく体制を整備している。また、臨床心理士等を含む専門家チームが巡回相談を通じて、より専門的な立場からそれぞれの学校に助言を行っている。さらに、児童生徒支援員を配置し個に応じた支援の充実を図っている。

10．育成学級・通級指導教室

昭和31年、第四小学校に初めて特殊学級（現在の特別支援学級）を設置以来、本市では育成学級の整備充実に努めてきた。令和６年度に香貫小学校・大岡南小学校に情緒学級が新設され、令和６年５月１日現在では、小学校17校、中学校11校で 289人の児童生徒が在籍し、着々とその成果を上げている。

また、昭和45年４月には第二小学校に言語障害通級指導教室を設置、その後第三小学校に難聴通級指導教室（児童数減少により、現在は一時閉鎖中)、平成20年４月に原東小学校に発達障がいに係る通級指導教室を設置するなど、通常学級に在籍する障がいのある児童のための特別な指導体制を整えてきた。

平成31年４月には、第四中学校に市内初となる中学校発達障害通級指導教室を設置した。以降、ニーズに合わせて、教室設置やサテライト校の開設を行っている。

なお、「育成教育・育成学級」という名称は、国の「特別支援教育・特別支援学級」のことで、この名称は平成９年度から用いている沼津市独自の名称である。

このほか、本市においては育成教育の研究会があり、講演会や事例研究を通して障がいのある子供を正しく理解し、各校での取組や実践を共有する場としての研修会を開くなど、教職員の資質向上を図っている。さらに、こども未来創造課をはじめとして、沼津教育振興会、沼津市手をつなぐ育成会、静岡県ことばと心を育む会等の協力団体とも連絡をとりあって、活発な活動を進めている。

令和６年度　沼津市育成学級等設置校一覧表

【小　学　校】　児童数 189人　　令和６年５月１日現在

学校名	種別	学級数	設立年月日	備考
第一小学校	弱視	0	S46.4	H17～閉級
	知的	1	S37.4	H10～閉級　H13～再設
第三小学校	知的	2	S47.4	
	情緒	0	H14.4	H30～閉級
第四小学校	知的	2	S31.6	H５～閉級　H11～再設
	情緒	1	S50.4	
第五小学校	情緒	1	H15.4	
開北小学校	知的	1	H22.4	
千本小学校	弱視	0	H18.4	H24～閉級
片浜小学校	知的	1	S49.4	H14閉級　H15～再設　H26～閉級 H30～再設
	情緒	1	H４.４	H11～閉級　H18～再設
金岡小学校	知的	4	S34.4	
	情緒	1	H２.４	
大岡小学校	知的	1	S48.4	H12閉級　H13～再設
	情緒	1	S57.4	H27～閉級　H30～再設
静浦小中一貫学校（静浦小学校）	知的	1	H22.4	
	情緒	1	R３.４	
愛鷹小学校	知的	1	H16.4	
大平小学校	知的	1	R４.４	
原小学校	知的	3	S47.4	
	情緒	1	R５.４	
香貫小学校	情緒	1	R６.４	
門池小学校	知的	1	H28.4	
	情緒	2	H28.4	
今沢小学校	知的	3	H10.4	
	情緒	3	H10.4	
	病弱	0	H10.4	H14～閉級
戸田小学校	知的	1	H17.4	H23～閉級　H30～再設　R４閉級 R５～再設
	情緒	0	R４.４	R６～閉級
大岡南小学校	知的	1	H25.4	
	情緒	1	R６.４	

【中　学　校】　生徒数 100人

学校名	種別	学級数	設立年月日	備考
第一中学校	知的	1	S41.4	H13～閉級　H17～再設
	情緒	1	R３.４	
第三中学校	知的	1	S48.4	H９～閉級　H14～再設　H19～閉級 R５～再設
	情緒	1	R４.４	
第四中学校	知的	1	S33.4	
	情緒	0	S54.4	H11～閉級　H22～再設　R２～閉級
第五中学校	情緒	1	H31.4	
片浜中学校	知的	0	R３.４	R６～閉級
金岡中学校	知的	2	S39.4	
	情緒	1	H４.４	
大岡中学校	知的	3	H19.4	
原中学校	知的	2	R３.４	
今沢中学校	知的	4	H11.4	
	情緒	1	H11.4	
静浦小中一貫学校（静浦中学校）	知的	1	H23.4	
	情緒	0	H29.4	R４～閉級

学校名	種別	学級数	設立年月日	備考
戸田中学校	知的	1	H20．4	H23～閉級　R４～再設
	情緒	1	R４．4	R５～閉級　R６～再設
門池中学校	知的	1	R２．4	
	情緒	1	R３．4	

【通級による指導校】　児童生徒数 221人

学校名	種別	学級数	設立年月日	備考
第二小学校	言語	2	S45．4	
愛鷹小学校	言語	1	R６．4	
原東小学校	発達	1	H20．4	
第四小学校	発達	3	H23．4	R６～戸田小学校にサテライト教室開設
大岡小学校	発達	2	H29．4	R５～門池小学校にサテライト教室開設
原小学校	発達	1	R５．4	
大岡南小学校	発達	1	R６．4	
第四中学校	発達	2	H31．4	R５～大岡中学校にサテライト教室開設
原中学校	発達	1	R５．4	

11. 教科等指導リーダー・研究員制度

教科等の指導力向上を目的として、市立小中学校教職員の中から教科等別に教科等指導リーダー及び教科等研究員を委嘱している。教科等指導リーダー及び教科等研究員は教科等ごとに研究チームを構成し、チーム内で研究授業を行い、その成果を検証している。令和元年度には、本市独自の教科である言語科（言語読解）の研究チームを新たに立ち上げた。各研究チームの研究成果をまとめた報告書を校務支援ネットワークにアップロードし、全教職員が閲覧できるようにしている。

12. 各 種 事 業

児童生徒が日常で習得した成果を発表する場として下記の事業を開催している。

⑴　中学校英語弁論大会

市内各中学校から選出された生徒が、自作の英文で英語の弁論を行うもので、上位入賞者は東部大会へ出場する。

⑵　小・中学校美術展

出品種目は絵画・工作・版画・工芸彫塑・デザイン・書写など、平常学習時における優秀作品について校内審査のうえ展示する。

⑶　小・中学生科学研究奨励賞

優れた科学研究を賞揚し、さらに、研究心の向上発展を期するため、児童生徒研究作品展に参加した理科研究と、各種団体の主催する科学研究発表会に参加した研究の中から８点程度を選考し、教育長が表彰する。

13. 学 校 保 健

学校保健会が、学校保健の進展を図り、その施策に寄与する目的をもって各部会を組織し、保健思想の普及啓発、学校における保健施設または経営に対する努力、学校保健に関する調査研究、学校保健関係者の指導及び研修、学校保健資材のあっせん等の活動を展開し実績をあげている。

学校保健会事業（令和５年度）

⑴　学校医部会

①　定期健康診断の実施

②　各種検診の実施

ア　心電図（心臓）検診

イ　結核対策委員会

ウ　生活習慣病予防検診等検診事業の推進

エ　市内小中学生の尿検査・腎臓検診の推進　　腎検診判定委員会の開催

オ　脊柱側わん症検診の実施

③　就学時健康診断の実施

④　講演会の開催及び参加

⑤　各種検診事業についての研修会

⑵　学校歯科医部会

①　定期健康診断の実施

②　就学時健康診断の実施

③　カラーテスターによる歯みがき指導

学校歯科医、学校長、養護教諭のもとに歯の衛生予防検診を行う。その一環として学校給食後の歯みがき指導を行う。

④「歯と口の健康週間」関連行事の実施

ア　歯科衛生に関する図画・ポスターの募集及び優秀作品の表彰・展示

目的：「むし歯予防」をテーマに、図画・ポスター及び標語の制作を通して衛生思想の向上を図る。

対象：市内小・中学校児童生徒

表彰：図画・ポスターは、小学校低学年、同高学年、中学校、特別支援学級の各部門に分けて、計４点を選び表彰する。標語は、中学校から１点選び表彰する。

展示：全作品

イ　歯科保健優良校の表彰

日頃の歯の保健衛生活動の成果をまとめて、その中から優良校を選び表彰する。

⑤　各種研修会への参加

⑶　学校薬剤師部会

①　市立小中学校のプール水の水質検査

②　中学校全学年及び小学校高学年（５・６年生）を対象とした薬学知識の普及及びその研修会

（薬物乱用防止講座・薬学講座）

③　学校薬剤師・養護教諭を対象とした研修会

④　学校環境衛生定期検査

⑤　全国一斉環境調査

⑥　学校給食調理場の定期検査

⑦　各種研修会への参加

⑷　校長部会

①　定期健康診断についての学校毎の指導

ア　学校毎の健康診断の計画・準備と実施、事後指導

イ　学校保健安全計画並びに保健室経営、保健だより等の指導

②　学校保健委員会の組織と運営

③　就学時健康診断の実施

④　各種研修会への参加

⑸　保健主事部会

①　定期健康診断の実施についての連絡調整

②　学校保健委員会の企画と運営

③　食物アレルギーについての研修

④　静岡県学校保健研究大会への参加

⑤　性教育の推進

⑥　就学時健康診断の実施についての連絡調整

⑹　学校保健部会

①　定期健康診断の実施

②　尿検査、心臓検診、生活習慣病検診の実施並びに協力

③　学校保健委員会の企画と運営

④　沼津市学校保健会養護教諭研修会の実施

⑤　給食部会との合同研修会開催

⑥　静岡県学校保健研究大会への参加

⑦　就学時健康診断の実施についての連絡調整

⑧　性教育の推進

⑨　学校保健統計資料「すこやか」の編集

⑺　給食部会

①　学校保健部との合同研修会開催

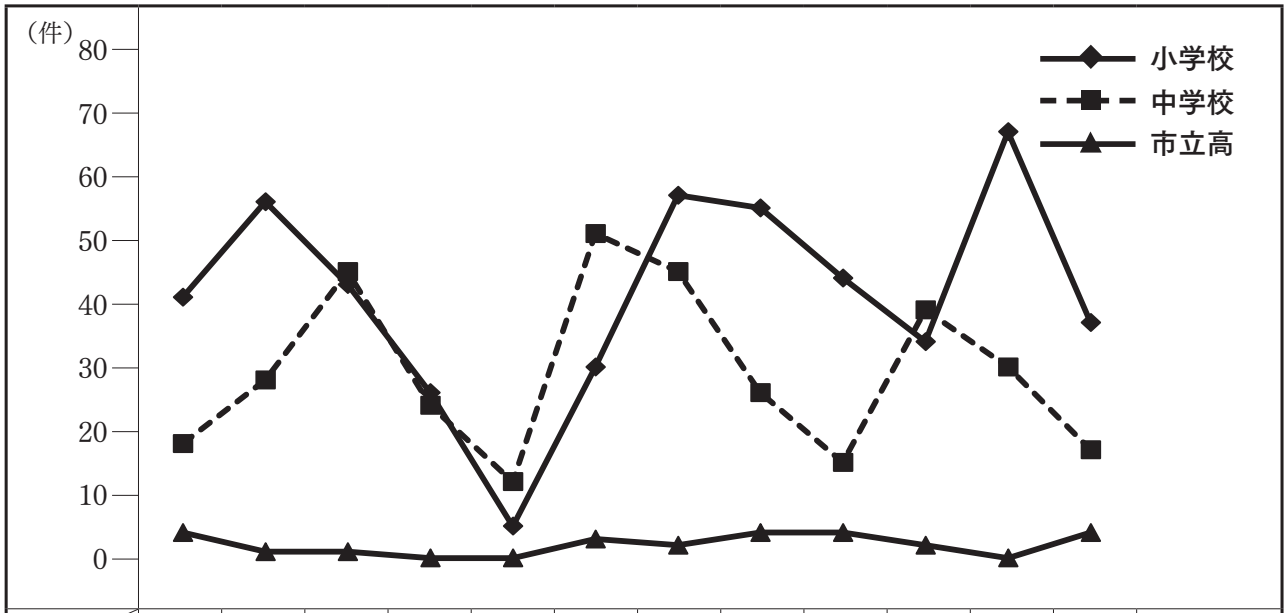
②　研修会、研究会への参加及び研修視察

・静岡県学校給食研究大会　・静岡県学校保健研究大会

③　沼津教育振興会給食部との合同事業

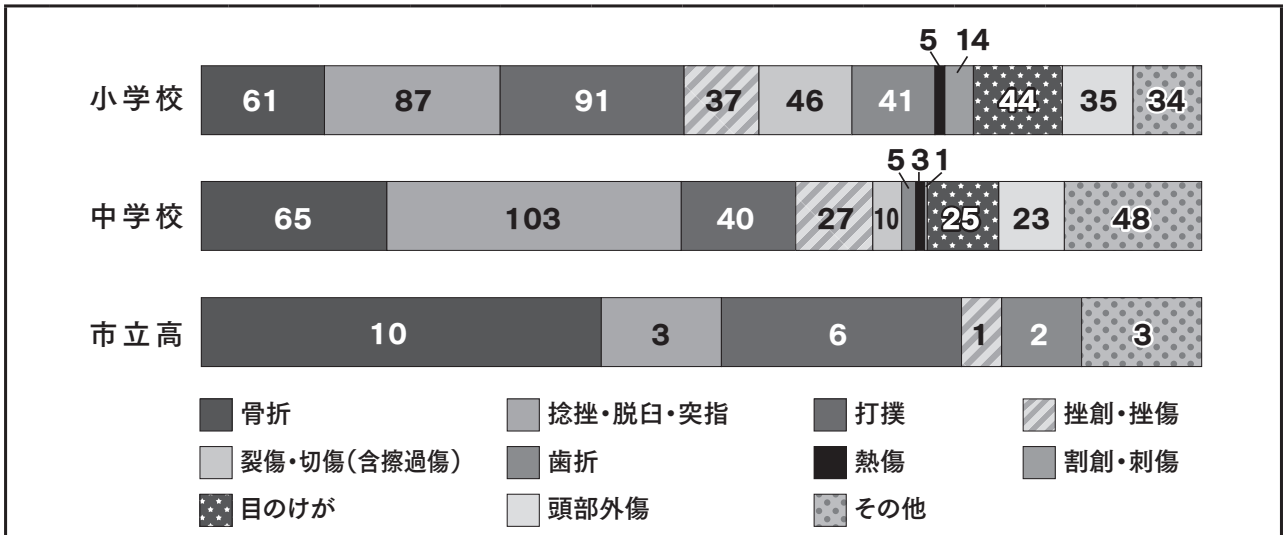
14. 学校管理下の災害 （令和５年度）

(1) 月別災害発生状況



件数＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合　計
小 学 校	41	56	43	26	5	30	57	55	44	34	67	37	495
中 学 校	18	28	45	24	12	51	45	26	15	39	30	17	350
市 立 高	4	1	1	0	0	3	2	4	4	2	0	4	25

(2) 災害発生件数



	様態	骨折	捻挫・脱臼・突指	打撲	挫創・挫傷	裂傷・切傷（含擦過傷）	歯折	熱傷	割創・刺傷	目のけが	頭部外傷	その他	合計
件数	小学校	61	87	91	37	46	41	5	14	44	35	34	495
	中学校	65	103	40	27	10	5	3	1	25	23	48	350
	市立高	10	3	6	1	0	2	0	0	0	0	3	25

⑶　管理下別発生件数

項目		小学校	中学校	市立高
学習時	体育	111	133	4
	図工・美術	14	3	0
	理科	5	7	0
	技術・家庭	5	2	0
	その他	25	0	0
特別活動（学校行事を除く）	クラブ	3	0	0
	学級活動	14	5	0
	清掃	12	3	0
	その他	7	9	0
学校行事	遠足	1	0	0
	運動会	1	3	1
	その他	1	1	1
休憩時	休憩時間	118	20	0
	昼休み	88	25	0
	始業前	12	1	1
	終業後	4	3	0
	その他	10	0	0
登下校	登校時	31	9	0
	下校時	33	7	0
その他	部活動		119	18

⑷　日本スポーツ振興センター災害共済給付金支給内訳

（単位：円）

	負傷・疾病	障害	死亡	計
小学校	2,793,383	0	0	2,793,383
中学校	3,367,561	0	0	3,367,561
市立高	791,667	0	0	791,667
市立幼稚園	0	0	0	0
合計	6,952,611	0	0	6,952,611

15. 学 校 給 食

本市学校給食は、昭和22年に開始され、現在、小学校は23校全校と、中学校18校のうち17校が完全給食で、残り１校は牛乳のみ給食している。

調理場は単独調理場（14か所17校）、共同調理場（10か所24校（大平幼稚園含む））で実施している。第五中学校共同調理場（平成12年５月開設）、第三中学校共同調理場（平成17年１月開設）、第四小学校共同調理場（平成19年１月開設）、静浦小中一貫学校単独調理場（平成26年４月開設）及び門池小学校共同調理場（令和２年４月開設）は、ドライシステムにより、衛生管理の充実が図られている。

また、第三中学校共同調理場、第五中学校共同調理場、大平小学校共同調理場、第四小学校共同調理場、原小学校共同調理場、金岡小学校共同調理場、第一小学校共同調理場、門池小学校共同調理場及び愛鷹小学校共同調理場では調理業務を民間委託し、学校栄養士の指示の下に、日々の作業が行われている。

令和６年度は、学校給食室を学校管理課に移管するとともに、指導主事（栄養教諭）を１人配置して体制の強化を図っている。また、栄養教諭11人が市内の10校に配置されている。

(1) 実施状況

令和６年５月１日現在

小学校（23校）				中学校（18校）			
学校名	対象人数	専従者		学校名	対象人数	専従者	
		栄養士	調理師・調理員			栄養士	調理師・調理員
第一小	232	1	民間委託	第一中	128	第一小で調理	
第二小	97	1	2	第二中	85	第三中で調理	
第三小	262	第四小で調理		第三中	387	1	民間委託
第四小	414	1	民間委託	第四中	212	第三中で調理	
第五小	332	1	4	第五中	392	1	民間委託
開北小	333	1	4	片浜中	165	第一小で調理	
千本小	51	1	2	金岡中	501	金岡小で調理	
片浜小	297	1	4	大岡中	396	第五中で調理	
金岡小	660	1	民間委託	静浦小中一貫(中)	79	1	4
大岡小	407	1	5	愛鷹中	275	1	4
静浦小中一貫(小)	120	小中一校で共同		大平中	73	大平小で調理	
愛鷹小	552	1	民間委託	長井崎小中一貫(中)	45	1	3
大平小	149	1	民間委託	原中	311	原小で調理	
長井崎小中一貫(小)	57	小中一校で共同		浮島中	96	愛鷹小で調理	
原小	482	2	民間委託	門池中	392	門池小で調理	
浮島小	186	愛鷹小で調理		今沢中	231	1	6
香貫小	441	1	5	中等部	239	牛乳給食	
門池小	859	1	民間委託	戸田小中一貫(中)	27	1	3
今沢小	322	今沢中で調理					
沢田小	269	1	4				
原東小	187	1	4				
大岡南小	457	1	6				
戸田小中一貫(小)	29	小中一校で共同					
合計	7,195	18	40	合計	4,034	7	20

※対象人数は５月１日調べの児童生徒数
※専従者は産休・育休・病休中の者を除く

⑵　学校給食費

学校給食は、学校給食法に基づき、施設整備や人件費は市が負担し、その他の食材等の調達経費等は保護者からいただく学校給食費を財源としている。燃料費と洗剤については昭和51年度から市費で負担し、保護者の負担軽減を図っている。

学校給食の栄養価等は学校給食実施基準に定められ、給食単価は基準を満たす給食を提供するための金額としている。また、平成28年度に学校給食委員会を設置し、学校給食費に関する意見を徴し給食費の適正化に努めている。

令和３年度には、これまで教職員が行ってきた学校給食費の徴収や滞納整理を市が担うことで、教職員の負担を軽減し、授業内容の充実や児童生徒に向き合う時間を確保することでよりよい教育環境を構築するため、学校給食室を設置し、学校給食会計を公会計化した。

令和４年度は食材費などが高騰する中で、10月以降の給食費を約10％増額したが、地方創生臨時交付金を活用し、無償化を実現した。

令和５年度及び令和６年度は引き続き食材費が高騰する状況にあることから、10％相当の増額分については市が負担し、保護者等に請求する金額は前年同額に据え置くことで、子育て世帯の負担軽減を図る。

１食にかかる学校給食費		（うち保護者負担額）
小学校	304円	（276円81銭）
中学校（中等部を除く）	363円	（330円60銭）
中等部（牛乳給食）	65円	（ 54円89銭）

⑶　研究状況

栄養士部会では、次年度献立を年間分作成し、献立に基づいた指導資料・年間給食指導計画等を提供している。

また、「食に関する指導」について、給食主任・栄養教諭・学校栄養職員を中心に計画的に研修を進めたり、給食だよりや献立予定表の配布等を通して家庭との連携を図ったりしながら食育の推進に努めている。

16. 中学校部活動改革推進事業

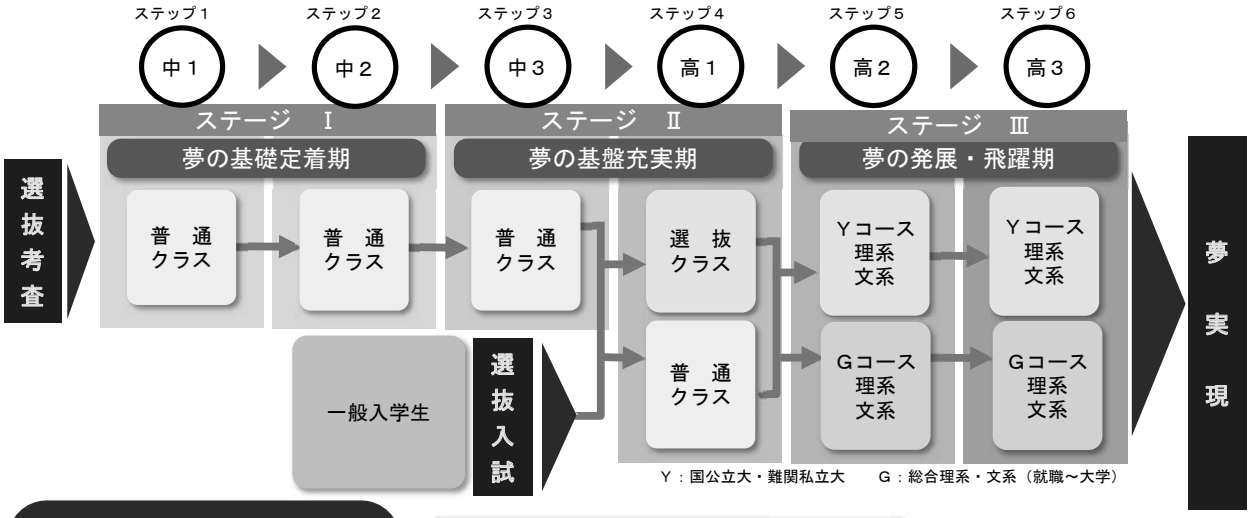
令和４年12月にスポーツ庁及び文化庁が「学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を公表し、中学校部活動を地域移行する方向性が示されたことを受け、本市においても、具体的な対応が求められることとなった。

令和５年度に関係者等で構成した沼津市部活動改革検討協議会を設置し、５回の協議とパブリック・コメントを経て、取組の方向性や移行目標年度等を示した「沼津市部活動地域移行取組方針」を令和６年５月に策定した。また、部活動コーディネーターを配置し、学校やスポーツ団体等との調整を図り実証事業を展開している。

沼津市立沼津高等学校・中等部

1．グランドデザイン

校　　訓	求　道
使　　命	「文・武・芸」の三道鼎立で人間力を磨く中高一貫校
教 育 目 標	誇り高い沼津を創造する　貴き志を持つ人づくり
生徒育成方針	・困難に打ち克つ逞しさを持ち、自己の能力を向上できる生徒 ・多様な個性を認め、協働して課題解決できる生徒 ・沼津市を愛し、グローバルな視点を持って、主体的に地域社会の創造に貢献できる生徒
教育課程編成・実施方針	・自分で課題を立て、情報を集め、分析して表現できる能力を育む ・多様化する社会においてグループで協働する能力を育む ・郷土を愛し誇りを持ち、まちづくりに、主体的に行動できる能力を育む
生徒募集方針	・本校の教育活動に関心を持ち、進路実現に向けて積極的に取り組む生徒 ・学習、部活動、行事等に積極的に取り組み向上心がある生徒 ・グローバルな視点を持ち、地域の発展に貢献しようとする意欲に満ちた生徒



沼津市教育基本構想

１－１－１　知を高める学びの充実

１－１－３　知を支える教育環境の充実

６年間を見通した系統的・継続的指導

Plan

学校経営計画

① 教育活動全体を通じて、バランスの取れた心身の発達を促すため、特色ある個性的な施策を企画し実行する。
② 中高一貫教育を効果的に展開するため、実効性ある６ステップ２－２－２ステージ制を構築する。
③ 「命の教育」を徹底しながら学校生活の安全安心を確保するとともに、自律的・主体的な生活態度を養い、自己管理能力を高める。
④ 特色あるキャリア教育を組織的・系統的に再構築する。
⑤ 教職員研修の充実を進め、教育的実践力・指導力を高め、さらには学校改善に改革的意識を持って学校経営に参画する。

Do

中等部の特色

- 質量ともに豊かな授業で学力向上
  一貫教育の特徴である継続性の高い授業
  中高合同による学校行事(高校授業体験等)
- 日常的な心の教育と規範意識の育成
- 挨拶やボランティア活動の奨励
- ルールの遵守とマナー向上
- 高校生のサポートによる部活動の技術向上
- 海外研修、国際交流による国際理解教育の充実
- 充実した施設設備と先進的な教育機器の活用

高校の特色

- 個性を伸張する教育課程
- 小集団授業やＴＴを活用したきめ細かな指導
- 中高合同部活によるチーム力向上と指導力の育成
- 海外研修、国際交流による国際理解教育の充実
- 社会人との交流によるキャリア教育の充実
- 個性を生かす丁寧な進路指導
- 充実した施設設備と、先進的な教育機器の活用
- 公共心の育成　地域貢献活動の奨励

Check

① 学校評価アンケート
【保護者、生徒２回、教職員】
② 学校運営協議会
③ いじめ・体罰調査
④ 学校行事等事後評価
⑤ 年間教育活動計画の反省・職員会議

Action

2．施設の概要

⑴ 所在地

沼津市三枚橋字鐘突免673番地
電話 921－0805（高等学校）
924－8000（中等部）

⑵ 校地

総面積　40,205㎡
運動場面積　23,362㎡

⑶ 校長

田中　剛（高等学校）
（※中等部校長兼務）

⑷ 校舎および建物

内訳	構造	面積（延）
普通教室棟	鉄筋コンクリート造	5,997㎡
特別教室棟	鉄筋コンクリート造	6,366㎡
体育館（武道場）、弓道場	鉄骨鉄筋コンクリート造他	5,178㎡
求道館	鉄筋コンクリート造	1,018㎡
進路指導棟（旧）、部室	鉄筋コンクリート造他	914㎡

3．教職員数

⑴ 高等学校

令和６年５月１日現在

	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	臨時教諭	臨時養護教諭	非常勤講師	ALT	事務長	事務長補佐	主任	副主任 学校事務員	事務補助員	カウンセラー	用務員	労務補助員	合計
男	1	1		21		1		11	1	1		1		1		3	1	43
女			1	20	1			3			1		1	4	2			33
計	1	1	1	41	1	1	0	14	1	1	1	1	1	5	2	3	1	76

⑵ 中等部

令和６年５月１日現在

	校長(兼)	教頭	教諭	養護教諭	非常勤講師	非常勤講師（ALT）	事務主任	計
男	1		11		1		1	14
女		1	3	1	4	1		10
計	1	1	14	1	5	1	1	24

4．生徒数

⑴ 高等学校

令和６年５月１日現在

学年 / 課程	1年				2年				3年				合計			
	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計
普通科	5	73	137	210	5	73	125	198	5	81	112	193	15	227	374	601

⑵ 中等部

令和６年５月１日現在

学年	1年				2年				3年				合計			
	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計
生徒数	2	23	57	80	2	21	59	80	2	24	55	79	6	68	171	239

5．学校の沿革

⑴　沿革概要

昭和21．3．10　沼津市立沼津第一中学校認可（校長事務取扱・沼津市長　勝亦干城）
21．4．20　開校式（沼津市東熊堂字横道496－３）校長　石内直太郎
23．4．1　沼津市立沼津高等学校となる
23．6．1　沼津市東熊堂869へ校舎移転
24．3．20　第１回併設中学校卒業式
25．4．1　学校法人沼津高等学校設立
26．3．15　第１回卒業式
卒業記念「求道」の碑建立
27．4．1　学校法人を廃し、再び沼津市立沼津高等学校となる　商業科設置
29．7．3　体育館竣工
32．8．8　石内直太郎校長逝去
37．4．2　新校舎定礎式
（沼津市三枚橋字鐘突免673）
37．12．3　新築移転式
39．5．25　新体育館竣工
39．9．10　普通校舎増築竣工
39．9．21　弓道場竣工
40．4．1　衛生看護科設置
40．10．23　武道場竣工
41．6．8　特別校舎増築竣工
41．11．21　霧ヶ峰高原学園竣工
42．4．1　社団法人　沼津市立沼津高等学校後援会設立
42．8．13　プール竣工
43．4．1　専攻科（衛生看護科）設置
43．12．15　女子更衣室竣工、特別教室（４階部分）増築竣工
44．11．15　特別教室（書道教室、その他）増築竣工
45．8．1　別館（第二体育館、同窓会館）竣工
49．3．1　プール観覧席竣工
49．8．8　故石内直太郎校長胸像建立
50．6．30　グラウンド防球ネット竣工
51．5．29　創立30周年記念式典
52．3．10　グラウンド整備竣工
昭和57．12．17　進路指導棟竣工
61．11．14　創立40周年記念式典
63．3．31　専攻科新校舎竣工
63．9．1　専攻科新校舎開校式
平成元．4．1　専攻科１学年定員30名
2．4．1　１学年普通科６学級（１学級増）
3．4．1　商業科募集停止（２学級分）
１学年普通科７学級（１学級増）
4．4．1　商業科募集停止（２学級分）
5．3．31　商業科閉科
5．7．1　霧ヶ峰高原学園にキャンプ場開設
8．10．15　創立50周年記念式典
9．4．1　１学年普通科６学級（１学級減）
13．4．1　衛生看護科募集停止（１学級分）
14．4．1　衛生看護科募集停止（２学級分）
14．12．14　新校舎（普通教室棟、特別教室棟）竣工
15．3．31　衛生看護科閉科
霧ヶ峰高原学園廃止
15．4．1　１学年普通科５学級（１学級減）
中等部開校（２学級）
校長　廣瀬裕人
16．2．29　初動負荷トレーニングマシン導入
16．4．1　専攻科募集停止
17．3．31　専攻科閉科
18．3．18　中等部第１回卒業式挙行
18．4．20　創立60周年記念植樹
（ニュートンのリンゴの木）
18．11．19　創立60周年記念講演会
20．8．15　新体育館竣工
21．3．17　新部室竣工
22．3．31　新駐車場・駐輪場竣工
24．3．30　求道館竣工
27．3．30　弓道場防矢ネット竣工
28．4．20　創立70周年記念講演会
記念植樹（しだれ桜）
28．5．20　プール附属棟竣工

⑵　歴代校長

沼津市立沼津高等学校（平成26年度より中等部校長兼務）					
代	氏　　名	就　　任	代	氏　　名	就　　任
初	石　内　直太郎	昭和21．4．9	12	清　水　洋　二	7．4．1
2	渡　辺　竹　雄	32．9．25	13	梶　　節　夫	11．4．1
3	大　木　　謙	39．4．1	14	渡　邊　　稔	13．4．1
4	芳　賀　隆　三	42．4．1	15	田　中　保　幸	15．4．1
5	土　居　良太郎	48．4．1	16	加　地　宗　雄	21．4．1
6	渡　辺　浅　夫	53．4．1	17	川　口　孝　博	25．4．1
7	戸　谷　要　一	56．4．1	18	樋　口　和　男	29．4．1
8	山　本　信一郎	58．4．1	19	清　水　正　信	31．4．1
9	笠　原　健次郎	60．4．1	20	小　林　浩　明	令和３．4．1
10	杉　原　濱　男	62．4．1	21	田　中　　剛	5．4．1
11	栗　栖　良　紀	平成２．4．1			

沼津市立沼津高等学校中等部					
代	氏　　名	就　　任	代	氏　　名	就　　任
初	廣　瀬　裕　人	平成15．4．1	6	樋口和男（兼）	29．4．1
2	渡　邉　　勉	17．4．1	7	清水正信（兼）	31．4．1
3	竹　内　重　延	20．4．1	8	小林浩明（兼）	令和３．4．1
4	石　井　昌　實	23．4．1	9	田中　剛（兼）	5．4．1
5	川口孝博（兼）	26．4．1			

6．部活動名と所属生徒数

令和６年５月１日現在

部活動名		高等学校		中等部		部活動名		高等学校		中等部	
		男	女	男	女			男	女	男	女
体育部	弓　　道	12	24	4	24	文化部	英　　語	2	11	8	13
	剣　　道	4	4				演　　劇	6	11		
	サッカー	30	3				茶　華　道	0	20		
	柔　　道	5	4	6	0		家　　庭	0	36		
	水　　泳	8	9				吹　奏　楽	9	48	11	23
	体　　操	0	9				書　　道	0	20		
	山　　岳	3	0				バトン	0	18	0	23
	卓　　球	10	5				美　　術	0	12	2	13
	テニス	17	11	10	13		パソコン	31	25		
	バスケット	19	26		18						
	バレーボール		14		15						
	野　　球	39	4								
	陸　　上	17	21	7	9						
	女子サッカー同好会		23				計	48	201	21	72
	計	164	157	27	79		合　　計	212	358	48	151

市 立 幼 稚 園

市立大平幼稚園（所在地：沼津市大平2205－1　電話：932－2080　FAX：932－2780）

⑴　経営方針

沼津市教育基本構想をふまえて、「心豊かな子供を育む、明るく温かな大平幼稚園」づくりに向け、園児の生活の場となる地域の人との関わりを大切にし、次のような経営方針のもと願う園児像を描きながら教育目標の具現化を図る。

－（　）内の番号は、沼津市教育基本構想の関連箇所－

① 園児の実態と地域の環境をふまえて教育課題を設定し、望ましい園児像を常に描きながら日々の指導を積み上げていく。

② 教師としての使命感のもと、「心豊かな子供を育む、明るく温かな大平幼稚園」づくりの担い手である自覚を持ち、互いに支え合い磨き合う教職員集団として、意欲的・創造的な実践に努める。（1－1－3－（1））

③ 読書に親しむ機会、教師や小中学生等による絵本や紙芝居の読み聞かせ等の充実を図ると共に、“美しく話そう”を意識した指導により、美しい言葉で表現する力を育む。（1－1－1－（2），1－2－4－（2））

④ ５つの心を育むために、園児の心を揺り動かすような交流・体験活動の機会を多様に設定し、常に計画・実行・評価・改善を繰り返すことで、活動の充実を図る。（1－1－1－（1），1－2－1－（2））

⑤ 自然に恵まれた地域の中で、保育所・小学校・中学校・高齢者との交流・ふれあい活動を通して心豊かな子供を育むことができるよう、環境づくりに努める。（1－2－1－（2），1－2－3－（2））

⑥ 園児降園後及び休園日の園庭開放や未就園児対象の「遊びにおいでよ」を設けるなど、地域の子育てセンター的な役割を担う。（2－1－2－（1），2－1－2－（2））

⑦ 心身の健康を増進するために、給食指導や食を伴う行事を通して、家庭との連携を図りながら食育を進める。（1－3－2－（2））

⑧ 心身の発達につまずきがある子供の早期発見に努め、保護者や関係機関と連携しながら個のニーズに応じた支援を行う。（2－2－3－（2），2－2－3－（3））

⑨ 保護者・地域との連携を強化しながら「命を守る」教育を推進し、安心・安全な園づくりに努める。（1－2－2－（1），1－2－2－（2），1－2－2－（3））

⑩ 園だより「いちごのみ」、学年だより「りすだより」「ぱんだだより」「きりんだより」及び共通だよりを通じて保護者、地域とのコミュニケーションを図り、教育活動への理解と幼稚園教育の啓発に努める。

⑵　教育目標

教育目標　心豊かで思いやりのある子

《願い》　５つの心（感じる心：思いやり、素直、感動、感謝、尊敬）を言葉で、表情で、態度で表現できる子（人と関り合おうとする思い）を育てたい。

感じる心を育むことは学びに向かう力の土台となり、表現する姿勢や意欲・能力は人とつながるための重要なツールとなる。自ら考え多くの人々とつながって新たな価値を創造していく人、自分らしさを発揮し豊かな人生を築いていく人へと成長することを願い、幼児期の育ちを支援していく。

《具体的な目標》　**① 健康で明るい子　② 元気に仲良く遊べる子**
③ 自分の気持ちを素直に表現できる子
④ 自然を大切にする子

⑶　職員・学級編制

令和６年５月１日現在

園長	女	1	学年	年少	年中	年長	計
教諭	男	1	学級名	りす	ぱんだ	きりん	
	女	3	男	1	1	2	4
事務	女	1	女	1	3	5	9
計		6	計	2	4	7	13

（年少・年中の複式学級を編成）

市立認定こども園

戸田こども園（所在地：沼津市戸田1031－１　電話：0558－94－2303　FAX：0558－94－3099）

⑴　経営方針

本園は、０歳から小学校就学前までの連続性のある教育及び保育を一体的に行い、生きる力の基礎を育成する。また、恵まれた環境下、園・家庭・地域の三者連携により、地域ならではの多様な体験をする中で、認められる安心感のもと自己肯定感を高め、互いに一人一人の個性を認め合える園づくりを目指す。　　－（　）内の番号は、沼津市教育基本構想の関連箇所－

① 園児の実態と地域の環境を踏まえて計画的に構成された教育・保育環境の下で、自発的な遊びや体験を重視した活動を積み重ねるようにする。（1－１－１－（１））

② 保育教諭等は人的環境の最たる存在として教育・保育をより豊かにするための主体的な研修に取り組む体制の充実を図る。（1－１－３－（１））

③ 自ら健康で安全な生活を送るための基本的な生活習慣の形成を図る。（1－２－１－（１））

④ 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。（1－２－１－（２））

⑤ 遊びにじっくりと取り組むことで、充実感や満足感を味わい、他者から認められる経験を積むことで自己肯定感を高められる環境を築く。（1－２－３－（１））

⑥ 地域の教育力や自然環境を活かし、実体験を通して豊かな感性を育む。また、異年齢児保育や小中学校との連携を密にするなど、人とのつながりの場を設け情意的な力を育てていく。（1－２－４－（１））

⑦ 読み聞かせや図書ルームの活用、さらには、市立図書館との連携により絵本に親しむ環境や家庭に向けて読書の大切さを啓発する。（1－２－４－（２））

⑧ 自ら体験することで感じる力、気づく力を育て、できるようになるなど知識及び技能の基礎を培う場の充実を図る。（1－２－４－（３））

⑨ 自ら進んで運動に親しめるよう、自発的な遊びの確保に努める。（1－３－１－（１））

⑩ 意欲をもって食に係る体験を積み重ね、食べることを楽しみ、体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう環境を工夫する。（1－３－２－（２））

⑪ 地域にある自然・人・施設との関りを深め、郷土に対する愛着や誇りを育む。（2－１－１－（１））

⑫ 発達や学びの連続性を小学校教育に無理なく接続できるよう、交流会や情報交換会などの機会を計画的に実施する。（2－２－２－（２））

⑵　教育目標　《ひとりひとりが輝く へだっこ》

重点目標　① たくさんの体験をして自ら気づく子　② あそびを工夫して楽しむ子　③ 自信をもって挑戦する子

⑶　職員・学級編制

令和６年５月１日現在

園長	女	1
副園長	女	1
保育教諭等	男	2
	女	3
主任栄養士	女	1
調理員	女	2
運転手	男	1
		11

学年	クラス名	男	女	合計
0歳児	ぼっち	1	0	1
1歳児		2	2	4
2歳児		1	1	2
年　少	らぶか	0	3	3
年　中	ゆめかさご	3	0	3
年　長	たかあしがに	1	4	5
合　計		8	10	18

私立幼稚園・認定こども園

令和２年度の春先から幼稚園教育にも大きく影響のあったコロナが、ここにきて更なる少子化に拍車をかける状況として表れています。４歳児の人数が極端に減少し、未知のウイルスを心配していた時期と一致していることで国民の心情がよくわかります。しかしながら、人数など関係なくどの年代においても子どもは大切な宝であり、健全に育つために周囲の大人が責任を持って育てることが重要です。

令和４年度から文科省から幼稚園・保育園から小学校に向けて円滑に接続されることを目的とした『架け橋プログラム』が推進され、各地で研修・実践されています。

『架け橋期』とは「経験を活かしながら新たな課題を発見し、新しい方法を考え試しながら実現していく５歳」と「自分の好きなことや得意なことを生かしながら、学びや生活につながる力を育む６歳」の２年間のことを言い、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な時期とされています。この時期の教育を充実するためには、幼保小はもとより、家庭、地域、関係団体、地方自治体など、子どもに関わる全ての関係者が立場を越えて連携・協働することが必要です。昨年も沼津市内の全幼保小の担当者が集まり、幼児教育と小学校教育のつながりの大切さを学ぶ研修を行いましたが、本年度も更なる充実した研修を実施して、市内の全ての子供が格差なく質の高い学びへと接続できるよう幼児期及び架け橋期の教育の質を保障していくことに取り組んでいきたいと思っています。

幸い沼津市では公私立問わず、全幼稚園・保育園がともに幼児教育を研究する会もあることから、市内全体の幼児教育を充実させる環境が整っていることに感謝し、これを基盤に「目的のしっかりした子育てのできる市」になれれば良いと思います。

沼津市私立幼稚園協会　会長　後　藤　信　俊

（令和６年５月１日現在）

● 幼　稚　園（３～６歳）

ルンビニ幼稚園

〒410-0855
沼津市千本緑町2-7
☎962-1710　FAX962-0501
学 級 数　3
園 児 数　11人
教 員 数　9人

四恩幼稚園

〒410-0038
沼津市三芳町3-14
☎963-7538　FAX963-7545
学 級 数　3
園 児 数　40人
教 員 数　13人

沼津学園第二幼稚園

〒410-0022
沼津市大岡3227-1
☎923-8850　FAX921-9854
学 級 数　6
園 児 数　150人
教 員 数　20人

加藤学園幼稚園

〒410-0022
沼津市大岡自由ケ丘1979
☎921-4805　FAX926-0044
学 級 数　12
園 児 数　221人
教 員 数　44人

沼津あすなろ幼稚園

〒410-0007
沼津市西沢田244-2
☎922-8507　FAX924-0310
学 級 数　4
園 児 数　68人
教 員 数　11人

双葉幼稚園

〒410-0822
沼津市下香貫字柿原2843-1
☎933-1835　FAX933-1836
学 級 数　6
園 児 数　32人
教 員 数　10人

光長寺幼稚園

〒410-0011
沼津市岡宮字寺内1052-5
☎921-4213　FAX921-4236
学 級 数　7
園 児 数　141人
教 員 数　26人

沼津梅花幼稚園

〒410-0817
沼津市本郷町23-9
☎931-6146　FAX933-3168
学 級 数　6
園 児 数　107人
教 員 数　16人

● 幼稚園型認定こども園（3～6歳）

認定こども園 原町幼稚園

〒410-0312
沼津市原199-1
☎966-7338　FAX966-7370
学 級 数　7
園 児 数　73人
教 員 数　22人

認定こども園 沼津聖マリア幼稚園

〒410-0817
沼津市本郷町18-31
☎932-9911　FAX932-9917
学 級 数　4
園 児 数　83人
教 員 数　18人

認定こども園 象山幼稚園

〒410-0106
沼津市志下北通72-1
☎931-3426　FAX931-8962
学 級 数　8
園 児 数　133人
教 員 数　22人

認定こども園 耕雲寺幼稚園

〒410-0022
沼津市大岡1092
☎951-3075　FAX951-3086
学 級 数　7
園 児 数　107人
教 員 数　25人

認定こども園 第二耕雲寺幼稚園

〒410-0022
沼津市大岡2242-14
☎923-3911　FAX923-3913
学 級 数　4
園 児 数　77人
教 員 数　17人

認定こども園 あしたか幼稚園

〒410-0303
沼津市西椎路610-2
☎966-2500　FAX966-9565
学 級 数　8
園 児 数　144人
教 員 数　20人

● 幼保連携型認定こども園（0～6歳）

認定こども園 しょうえい幼稚園

〒410-0306
沼津市大塚812-2
☎967-4521　FAX967-4572
学 級 数　10
園 児 数　118人
教 員 数　46人

認定こども園 片浜桜

〒410-0875
沼津市今沢65
☎966-6349　FAX967-9966
学 級 数　7
園 児 数　120人
教 員 数　32人

認定こども園 中央幼稚園

〒410-0862
沼津市幸町23-3
☎951-6694　FAX952-0868
学 級 数　6
園 児 数　87人
教 員 数　21人

認定こども園 かきつばたこども園

〒410-0308
沼津市柳沢222
☎967-4188　FAX967-4189
学 級 数　9
園 児 数　115人
教 員 数　36人

認定こども園 こずわ幼稚園

〒410-0872
沼津市小諏訪242-4
☎963-0721　FAX963-4096
学 級 数　6
園 児 数　101人
教 員 数　30人

認定こども園 春の木幼稚園

〒410-0302
沼津市東椎路1547-1
☎923-5445　FAX924-7730
学 級 数　7
園 児 数　82人
教 員 数　25人

認定こども園 沼津学園第一幼稚園

〒410-0053
沼津市寿町16-40
☎921-8140　FAX921-9863
学 級 数　11
園 児 数　208人
教 員 数　34人

※ここでの「教員数」には、保育士・教育補助員等を含めており、末巻資料P.149の教員数と異なっている園があります。また、幼保連携型認定こども園の「学級数」には保育分も含めている場合があります。

社会教育

社会教育委員

社会教育委員は「社会教育法」第15条に基づき、教育委員会が委嘱している。

委員は、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会から諮問された事項に対しての調査・研究及び意見具申・答申を行う。

委員の数	10人以内
任期	２年
委員の構成	学識経験者、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者及び公募による者
根拠	沼津市社会教育委員条例

生涯学習

科学技術の進歩や情報化、国際化、高齢化など、社会の急激な変化を背景に、一人一人が知識や技術を伸ばし、趣味、レクリエーションなどを楽しみ、生きがいのある充実した人生を送るため、自発的意志に基づく生涯にわたっての学習が重視されている。

このため、市民の学習に対する支援を進めるとともに、生涯学習の観点から社会教育の推進を図っている。

1．生涯学習推進事業

生涯学習活動への積極的参加を奨励するとともに、社会のあらゆる分野における市民の自主的な学習活動を推進するため、生涯学習についての相談などの市民の学習活動への支援や啓発事業を展開している。

⑴　生涯学習情報コーナー

市立図書館に、様々な生涯学習情報を閲覧できるよう設置している。

⑵　「生涯学習情報誌」の発行

生涯学習情報誌として、「沼津まなぶくん」を年１回、1,200部、「さんさんだより」を偶数月１回、400部を編集・発行している。

⑶　「さんさん学習フェスティバル」の開催

平成３年度から、生涯学習の啓発と普及を図るために、学習活動の成果を発表する場として開催している。

（令和５年度実績）

〈会　場〉　沼津市民文化センター

部　門　名	開　催　日	参　加　状　況	来　場　者　数
展示	11月25日㈯～26日㈰	11団体・８個人	746人
手作り遊び	11月25日㈯～26日㈰	５団体	226人
舞台演技	11月26日㈰	20団体・５個人	422人
プレゼンテーション	11月25日㈯～26日㈰	３個人	17人

（令和６年度予定）

〈開催日〉　11月23日㈯～11月24日㈰

〈会　場〉　沼津市民文化センター

⑷　「生涯学習地域推進員」の活動

市全体で生涯学習を推進するためには、地域と連携し、地域の特色に応じたきめの細かい生涯学習活動を展開していく必要がある。このため、地域からの推薦をもとに「生涯学習地域推進員」を委嘱し、様々な学習の企画、実施、啓発、情報の提供や市が行う生涯学習関係事業の周知及び参加の呼びかけなどに取り組むとともに、生涯学習地域講座を開催している。

生涯学習地域推進員

人　　数	地区コミュニティ単位に原則１人を配置する。（令和６年度19人）
任　　期	２年
研　修　会	全体研修での学習会や地域での講座の企画・運営を実施している。（令和５年度は３回実施）
生涯学習地域講座	５グループに分かれ、５地区（第一、第三、金岡、片浜、戸田）で開催した。（令和５年度）

⑸　地域学習講師派遣

地域における自主的な学習会や講演会に講師を選定し、派遣している。

（令和５年度実績）

〈派遣件数〉　11件

⑹　「まちの識者（地域学習指導者）」の登録と紹介

地域における多様な生涯学習活動を支援するため、特技や知識を持っている方々を「まちの識者（地域学習指導者）」として人材登録し、市民からの学習指導者紹介の要請に応じている。

（令和５年度実績）

〈登録者数〉　延べ101人

〈紹介件数〉　36件

〈利用者数〉　1,047人

⑺　学校教室開放

生涯学習の地域拠点として、市立小中学校の一部で教室等の施設を開放している。

（令和５年度実績）

〈開放校数〉　13校

〈利用者数〉　延べ7,844人

⑻　「出前講座」の開設

市民の学習機会の拡大と市政への理解増進を目的に、市職員を講師として派遣する出前講座を平成７年５月から実施している。令和６年度は、市の事務事業に関する73の講座メニュー（令和５年度74講座）の中からリクエストを受けるものであるが、それ以外の希望にも対応できるよう特別講座を用意するなど、利用の促進に努めている。

（令和５年度実績）

〈利用回数〉　83回（うち特別メニュー講座５回）

〈受講者延べ人数〉　5,566人

〈講座内容〉　バスに乗ろう！　10回

消費生活講座～若者編～　６回

ぬまづの宝100選について　６回

みんなで考える“ごみと私たち”　６回　ほか55回

⑼　イングリッシュデビュー事業

英語の習得には乳幼児期から英語に慣れ親しむことが重要であることから、英語に触れるきっかけづくりとして、0歳から小学校4年生までの子とその保護者を対象とした「ENGLISH DEBUT（イングリッシュデビュー）」を実施している。

（令和5年度実績）

ENGLISH DEBUT（イングリッシュデビュー）

〈受講者数〉　延べ431人（延べ197組）

〈学習回数〉　17回

イングリッシュコミュニケーション（令和6年度からイングリッシュデビューに統合）

〈開 催 日〉　令和6年2月10日㈯

〈会　　場〉　プラサヴェルデ

〈受講者数〉　延べ132人

（令和6年度予定）

ENGLISH DEBUT（イングリッシュデビュー）

〈対　　象〉　0歳から小学4年生の子とその保護者（定員25組／各教室）

〈時　　期〉　5月～12月

〈会　　場〉　サンウェルぬまづ

〈内　　容〉　音楽や体操を取り入れ、楽しみながら英語に触れる

⑽　地域学校協働本部

幅広い地域住民の参画を得て、地域総がかりで子供たちの学びや成長を支える協働活動を推進するために、市内全17中学校区に地域学校協働本部を設置し、家庭や地域の教育力の向上を目指しながら、地域を支える人材の発掘育成を進め、地域における生涯学習の振興を図る。

なお、地域学校協働本部はコミュニティ・スクールを導入した中学校区に設置しており、組織的・継続的に地域と学校が連携・協働できる体制としている。

※コミュニティ・スクールについては、P33参照

2．成 人 教 育

⑴　市民大学

「豊かな未来をひらく」をメインテーマとし、様々な分野から一流の講師を招き学習会を開催することにより、広い視野と新たな視点を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。

（令和５年度実績）

〈受講者数〉　延べ1,732人

〈学習回数〉　９回

（令和６年度予定）

〈対　　象〉　中学生以上

〈開催期間〉　７月～11月　全９回

〈会　　場〉　沼津市民文化センター

№.	開催日	テ　ー　マ	講　師（敬称略）
1	７月６日㈯	気候変動に伴う自然災害の変化と社会の対応	関西大学 特別任命教授・社会安全研究センター長　河田惠昭
2	７月21日㈰	戦場からのメッセージをあなたに ～ファインダー越しに見た命の現場～	戦場カメラマン 渡部陽一
3	８月11日㈰	落語コミュニケーション論	落語家　立川流真打 立川談慶
4	９月６日㈮	墓と古墳の考古学 ～古代東アジア人の死後の世界～	日本大学文理学部　教授 山本孝文
5	９月21日㈯	「ウェルビーイング」 ～これからの時代の幸せな生き方について～	EVOL株式会社代表取締役CEO 前野マドカ
6	10月11日㈮	人生を豊かに生きる音楽療法 ～病める時も健やかなる時も～	静岡英和学院大学　教授 山田美代子
7	10月26日㈯	楽しい子育て ～こどもとの接し方を学ぼう！～	現役保育士・顧問保育士・インフルエンサー　てぃ先生
8	11月16日㈯	食品と薬 ～正しい摂り方・飲み合わせ～	静岡県立大学薬学部　教授 吉成浩一
9	11月30日㈯	万物は渋滞する ～シゴトの渋滞解消の法則～	東京大学 大学院工学系研究科　教授 西成活裕

⑵　家庭教育

①　家庭教育講座

親や保護者の望ましいあり方、自身の視野を広げる、人間関係づくり、自らの生き方などを考える機会の提供を目的に、自信がもてる子育て講座を開講している。

また、家庭教育に関する著名な講師を招聘して保護者の家庭教育への意識を喚起し、家庭教育支援事業の促進を図ることを目的に家庭教育特別講座を実施している。

ア　自信がもてる子育て講座

（令和５年度実績）

〈受講者数〉　延べ224人

〈学習回数〉　９回

（令和６年度予定）

〈対　　象〉　未就学児から中学生の親（保護者）、子育てに関心のある方

〈開講時期〉　春期：５月～６月

夏期：８月～９月

秋期：10月～11月

	№.	開催日	テ　ー　マ	講　師（敬称略）
春期	1	５月31日㈮	「アウトプット勉強法」と「楽勉」で どんな子も勉強が好きになる	教育評論家 親　野　智可等
	2	６月７日㈮	子どもの心と体の成長や発達を育む 五感を通した「タッチ」のちから	タッチケアハウスMotherese 筒　井　佳代子
	3	６月14日㈮	子どもの健やかな成長を支える 「自尊感情」の育み方	鳴門教育大学大学院　教授 久　我　直　人
夏期	1	８月30日㈮	「児童期から思春期の子どもの発達と関わり方」～今、大切にしたい心の成長～	公認心理師 羽　畑　あい子
	2	９月６日㈮	子育てに役立つ保護者のための ストレスマネジメント	静岡県立大学薬学部　准教授 窪　田　辰　政
	3	９月13日㈮	「食は命のみなもと」 ～未来へつづく元気な体を育む食生活～	食育スタジオDreamy 代表理事　山　下　祐　美
秋期	1	10月31日㈭	「ずるい子育て」で親が楽になり 子どもが伸びる	教育評論家 親　野　智可等
	2	11月７日㈭	～この子らしさ（才能）をぐんぐん伸ばそう～ 個性に合わせた褒め方・しかり方のコツ	心理カウンセラー 緑　川　法　子
	3	11月14日㈭	本って 楽しいね	静岡県子ども読書 アドバイザー　亀　田　圭　子

イ　家庭教育特別講座

（令和５年度実績）

〈受講者数〉　74人

〈学習回数〉　１回

（令和６年度予定）

〈講　　師〉　親野　智可等

〈対　　象〉　未就学児から中学生の親（保護者）、子育てに関心のある方

〈開講時期〉　令和７年２月

②　家庭教育講座支援事業

すべての教育の原点である家庭教育力の向上を目的として開催される、家庭教育に関する学習会へ講師を派遣している。

（令和５年度実績）

〈派遣件数〉　６件

③　家庭教育支援チーム出前講座

県が養成している家庭教育支援員と連携し、市内各園・各校の保護者団体等からの要請に応じて家庭教育に関する出前講座を行っている。また、自由に保護者が話し合う場での進行役を家庭教育支援員が務め、保護者の悩みや不安の軽減を図っている。

（令和５年度実績）

〈利用件数〉　８件

⑶　高齢者学級

生涯学習の一環として、昭和48年度から「万年青大学」と「寿大学」を開設したものであり、高齢者が、生きがいのある明るく健康な市民生活を送ると同時に、学んだことや知恵、技術を次世代に伝えていくことをねらいとしている。

万年青大学５学級（月、火星、水星、木星、金星）と寿大学16学級（金岡、今沢、片浜西部、片浜東部、第三中、原、浮島、香南、我入道、日枝、大平、内浦、橘西浦、大岡、愛鷹、門池）の計21学級を開設している。

〈対　　象〉　65歳以上の市民（寿大学は当該地域の住民）

〈開 設 期 間〉　４月～３月

〈会　　場〉　万年青大学：市民文化センター

寿　大　学：各地区センターほか

〈学習時間数〉　開設後は、８月を除き毎月１回の講義を行う

〈内　　容〉　歴史・健康・防災・交通安全・文学・音楽等の様々な分野を幅広く学習する。

◎高齢者学級学習計画の例

月	学　習　活　動	月	学　習　活　動	月	学　習　活　動	月	学　習　活　動
4	開講式・オリエンテーション	7	楽しく歌おう	10	高齢者の交通安全	1	歌声サロン
5	幸せを呼ぶ片づけ	8	休講	11	公開講座	2	笑いヨガ
6	家庭における火災予防	9	さっさかエクササイズ	12	元気で居続けるための秘訣	3	閉講式・反省会

令和６年度　高齢者学級（万年青大学・寿大学）開設状況一覧表　　令和６年４月１日現在

No.	大学・学級名	人数	会場	開設年
1	金岡寿大学	124	金岡地区センター	昭和57年
2	今沢寿大学	46	今沢地区センター	昭和61年
3	片浜西部寿大学	20	松長集会所	昭和60年
4	片浜東部寿大学	25	西間門公会堂	昭和60年
5	第三中寿大学	16	島郷自治会館	平成５年
6	原寿大学	43	原地区センター	昭和50年
7	浮島寿大学	13	浮島地区センター	昭和51年
8	香南寿大学	31	第三地区センター	昭和55年
9	我入道寿大学	39	我入道自治会館	昭和55年
10	日枝寿大学	36	日吉自治会館	昭和53年
11	大平寿大学	33	大平地区センター	昭和56年
12	内浦寿大学	21	内浦地区センター	昭和54年
13	橘西浦寿大学	25	西浦地区センター	昭和54年
14	大岡寿大学	51	大岡地区センター	昭和58年
15	愛鷹寿大学	52	愛鷹地区センター	昭和48年
16	門池寿大学	70	門池地区センター	平成27年
	寿大学計	645		
17	万年青大学月組	40	市民文化センター	昭和48年
18	万年青大学火星組	54		
19	万年青大学水星組	47		
20	万年青大学木星組	18		
21	万年青大学金星組	34		
	万年青大学計	193		
	合計	838		

⑷　社会教育指導員

社会教育の一層の推進を図るため、「沼津市社会教育指導員設置規則」に基づき、生涯学習課に６人の指導員が置かれている。指導員は教育に関して豊かな識見と指導技術を有し、家庭教育、高齢者学習に関する指導、助言にあたっている。

担当別内訳は次のとおりである。

家庭教育担当　１人　　高齢者学習担当　５人

⑸　社会教育関係団体の活動支援

社会教育活動を行っている団体に対し、活動支援のため補助金を交付している。

① 沼津市PTA連絡協議会

沼津市PTA連絡協議会は、市内37（小学校20、中学校14、小中一貫学校３）の単位PTAの相互連携を図り、児童生徒の健全な育成を図るため、PTA活動を促進するとともに児童生徒の校外生活指導や地域の教育環境の充実に努めている。

② 沼津ユネスコ協会

沼津ユネスコ協会は、ユネスコ憲章に則り、教育・科学・文化を通して国際理解と国際協力を進め、世界の平和に貢献することを目的として昭和45年に設立された民間団体である。平成６年度からワーキンググループとして、４つの運営部会を設け、それぞれが協力し合いながら公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が提唱している世界寺子屋運動・世界遺産に関する運動などに取り組んでいる。

令和５年度に実施した主な事業

○絵で伝えよう！わたしの町のたからもの　小中学生絵画展

小中学生を対象とした地域の文化、自然を描いた絵画展を開催し、11校122点の作品を展示した。(11月24日～11月28日)

○平和講演会（11月25日）

テーマ：「出会いに生かされて－引き揚げの手記と被爆者との出会いから－」

講　師：斉藤とも子（女優）

戦争や紛争などで世界の平和が脅かされている今、太平洋戦争での事例などから、平和を守ること、生きることの大切さについて考える講演会を開催した。

令和６年度事業計画

○日本ユネスコ運動全国大会及び県ユネスコ連絡協議会総会に参加し、他のユネスコ協会等との情報交換・交流を図る。

○中部東ブロック・ユネスコ活動研究会を主管協会として開催し、他のユネスコ協会等との情報交換・交流を図る。(令和６年９月28日)

○会員相互の教養を高めるため、文化施設・史跡等を訪ねるユネスコの旅を実施する。

○小中学生を対象とした地域での文化・自然を描いた「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」小中学生絵画展を開催する。

各運営部会の事業計画			
教育・文化	国際交流	コーアクション	広報・啓発
○教育・文化事業の推進	○国際支援活動への協力	○書き損じハガキの回収	○ユネスコのPR活動

芸　術　文　化

1．沼津市芸術祭

市民による自主的な芸術・文化の振興を図る場として、昭和49年度から「沼津市芸術祭」を開催している。

令和６年度は沼津市芸術祭開催委員会が組織する20行事が中心となって運営し、10月２日から11月17日までの間に実施する。

令和６年度　第51回沼津市芸術祭日程表

令和６年４月１日現在

A　市民文化センター　　B　市立図書館　　C　プラサヴェルデ

行事名		開催日	会場
開会式		10月２日(水)	C　市民ギャラリー
書道展		10月２日(水)～10月６日(日)	C　市民ギャラリー
合唱祭		10月６日(日)	A　大ホール
芸術祭茶会		10月６日(日)	御用邸記念公園 東附属邸 翠松亭
写真展		10月11日(金)～10月15日(火)	A　展示室
秋の舞踏会		10月13日(日)	A　小ホール
美術展（洋画・日本画・水彩、版画等）		10月16日(水)～10月20日(日)	C　市民ギャラリー
演劇祭		10月19日(土)	A　小ホール
バレエパフォーマンス		10月20日(日)	A　大ホール
沼津寄席		10月20日(日)	B　視聴覚ホール
郷土ふれあい太鼓		10月27日(日)	A　大ホール
邦楽祭		10月27日(日)	A　小ホール
現代いけばな展		11月１日(金)～11月３日(日)	A　展示室
クライネムジークコンサート		11月２日(土)	A　小ホール
音楽の広場		11月３日(日)	A　大ホール
日本舞踊祭		11月４日（月・休）	A　小ホール
吟詠祭		11月10日(日)	A　大会議室
新舞踊祭		11月10日(日)	A　小ホール
ぬまづ文芸	入賞者発表	10月10日(木)	郵送
	発刊	11月17日(日)	
閉会式・表彰式		11月17日(日)	C　コンベンションホールB

2．ぬまづ茶会

昭和58年度に市制60周年の記念事業として沼津産やぶきた茶が昭和天皇への献上茶になったことを契機に開催して以来、沼津御用邸記念公園での野点の雰囲気を味わっていただき、茶道文化の普及と本市の都市イメージの向上を目指して、毎年５月に開催している。

3．山 口 源 賞

本市ゆかりの版画家、山口源の業績を顕彰するとともに、版画を通して市民の芸術文化の向上を図るために、昭和58年度に沼津市芸術文化振興基金を活用して山口源賞を制定した。大賞と新人賞があり、令和６年度は10月に新人賞を授与する。版画の普及を図るため、受賞者を講師に迎え、版画ワークショップを開催している。また、山口源没後50年に向け、有識者による記念事業検討懇話会において事業構築の検討を進めている。

4．まちかど活用文化事業

まちかどの公共空間などを活用して、市民が気軽に文化芸術に触れられる機会の提供とにぎわいの創出を目的とした事業を開催する。

令和６年度は、市民文化センター周辺の公共空間を活用したイベントを開催する。

5．沼津市制100周年記念事業一覧

No.	事業名称	概要	開催日	開催場所
1	ぬまづ茶会	御用邸記念公園で「市制100周年記念第41回ぬまづ茶会」の開催	R５．５．14	御用邸記念公園
2	沼津ゆかりの作家たち	芹沢光治良、井上靖、大岡信や現代作家をテーマとした企画展、講演会や文学散歩の開催及び記念書籍の制作・発行	R５．５．20～ R６．５．31	芹沢光治良記念館ほか
3	沼津対局（将棋タイトル戦）	将棋タイトル戦「棋聖戦」５番勝負の第３局を沼津対局として御用邸記念公園で開催する。併せて「こども・シニア将棋大会」「大盤解説会」を開催	R５．７．３	御用邸記念公園
4	写真にみる沼津のあゆみ	市制100周年記念特別展「写真にみる沼津のあゆみ」の開催	R５．７．１～９．24	明治史料館
5	沼津市芸術祭	市制100周年を祝うとともに、沼津市芸術祭50回を記念して、展示部門、ステージ部門、文芸部門からなる沼津市芸術祭を開催	R５．10．１～11．19	市民文化センターほか
6	市民が祝う沼津第九演奏会	市民公募の合唱団と地域の交響楽団による市民が祝う沼津第九演奏会の開催	R５．12．３	市民文化センター

文　化　財

１．文化財の概念及び保護の必要性

「文化財」の指し示す内容は多岐に渡り、広義には人類がその活動の過程において生み出した「文化的所産」のすべてをいう。形として残されたものはもちろん、形では示すことができない技術・芸能・風俗習慣も含まれている。また人が働き掛けた結果、維持されている自然環境も文化財として捉える傾向にあり、ユネスコの「文化遺産（Cultural Heritage）」とほぼ同じ内容をさす。

狭い意味では、日本の文化財保護法第２条及び地方公共団体の制定する文化財保護条例に規定されている「文化財」がその対象となる。文化財保護法で文化財と規定されているものには、**①有形文化財・②無形文化財・③民俗文化財・④記念物・⑤文化的景観・⑥伝統的建造物群**があり、これらはさらに細分される。また、**⑦文化財の保存技術や⑧埋蔵文化財**も保護する対象となっている。

文化財はその時代に生きた人々の創造的・文化的活動の象徴であり、そこには我々がこれからの時代を展望する上で学ぶべき情報が凝縮されている。したがって現代に生きる私たちは、これらの文化財を保護し、永く後世に伝えていく義務を負っていると考えなければならない。近年では文化財保護活動の一環として、あるいはこれと切り離すことができない活動として、「普及と活用」が求められている。

２．沼津市の文化財保護

近年における著しい地域開発の進展は、本市においても例外ではなく、貴重な文化遺産を次々と消滅させてきている。とりわけ遺跡の名で呼ばれる埋蔵文化財の破壊は著しいものがあり、開発と遺跡保護との問題がたびたび論議されている。このため、開発を行おうとする事業者等に対し、破壊防止と保護を目的として必要に応じて埋蔵文化財確認調査の実施を指導している。

その他の文化財についても、文化財の現況を調査し、よりきめの細かな保護策を講じ、また必要に応じて記録保存や整備に努めている。

さらに、文化財の愛護思想の周知啓発を図るため、学校等からの要望による「出前講座」を積極的に受け入れている。

３．文化財保護審議会

文化財の保存及び活用のため必要な措置を講じ、市民の文化的向上に資するとともに、我が国文化の進歩に貢献するために、沼津市教育委員会の諮問機関として沼津市文化財保護審議会を設置している。これは、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議するとともに、これらに関する専門的及び技術的事項に関し、必要と認める事項を教育委員会に建議するという役割をもっている。委員は10人以内で構成され、その任期は２年となっている。

令和５年度活動実績

第１回文化財保護審議会

案　件……１．現地視察

• 石川観音堂

２．審議事項

• 沼津市文化財保存活用地域計画の検討について

３．報告事項

• 海瀬家住宅主屋の国登録有形文化財への登録と特別公開について
• 加藤学園暁秀初等学校本館の国登録有形文化財への申請について
• 西浦河内の天王祭における獅子神楽の調査について
• 赤野観音堂の扁額について

第２回文化財保護審議会

案　件……１．審議事項

• 沼津市文化財保存活用地域計画の検討について

第３回文化財保護審議会

案　件……１．審議事項

• 沼津市文化財保存活用地域計画の検討について

４．文化財活用推進事業

平成31年４月施行の文化財保護法の改正により、文化財は、これまでの調査・保存だけでなく、その成果を市民に発信するなど積極的な活用が求められている。本市では、統合により廃校となった旧静浦西小学校を、文化財の管理や調査のための機能のほか、展示室や体験室、講座室を備えた文化財センターに改修して、片浜地区にあった旧施設から機能を拡充し平成31年２月に移転した。この新たな文化財センターを拠点として、埋蔵文化財を含む市内の文化財の活用や情報発信に取り組んでいる。

令和５年度実施実績

• 子ども向け文化財体験イベントの実施
• まちあるきマップ作成（大平地区）
• 個人でまわる文化財めぐりの実施（解説動画にリンクするQRコードを文化財に設置）
• 現地解説、体験学習等出張授業の実施（今沢中、原中、大平中）
• 文化財保存活用地域計画の検討
• 地域関係団体との共催イベントの実施（内浦湾クルージングと長浜城ウォーキング、高尾山穂美神社祭典（根古屋）における文化財ブース出店）
• 文化財センター通信の発行（年２回）
• 展示室の公開、展示室パンフレットの配布
• N－GIGAへのデジタルコンテンツの提供

令和６年度事業計画

- 高尾山古墳国史跡指定記念イベント（シンポジウム、展示、連続講座等）の開催
- 文化財保存活用地域計画の策定
- 子ども向け文化財体験イベントの実施
- 古代食をテーマとした文化財講演会の実施
- まちあるきマップ作成（第一地区、第二・千本地区）
- 個人でまわる文化財めぐりの実施（解説動画にリンクするQRコードを文化財に設置）
- 現地解説、体験学習等出張授業の実施
- 地域関係団体との共催イベントの実施
- 文化財センター通信の発行（年２回）
- 展示室の公開、展示室パンフレットの配布
- N－GIGAへのデジタルコンテンツの提供

5．埋蔵文化財

⑴　開発行為の調整・指導

埋蔵文化財包蔵地内の開発及び埋蔵文化財分布調査指導依頼のあった開発行為について、遺跡の確認調査を行い、その結果に基づいて指導・調整を行う。

令和５年度実施実績

公共事業（文化財保護法第94条）……　７件

民間事業（文化財保護法第93条）……157件

⑵　遺跡の分布調査・発掘調査

民間開発事業及び公共事業に伴う埋蔵文化財の記録保存のための発掘調査

令和５年度実施実績

- 岡宮北土地区画整理事業
- 道路新設改良事業（中原遺跡）
- 静岡東部拠点土地区画整理事業
- 埋蔵文化財発掘調査補助事業

令和６年度事業計画

- 道路新設改良事業（古田遺跡）
- 静岡東部拠点土地区画整理事業
- 埋蔵文化財発掘調査補助事業

⑶　発掘調査成果の整理・報告書の刊行

令和５年度実施実績

- 中原遺跡埋蔵文化財発掘調査受託事業
- 鉄道施設移転事業（中原遺跡）
- 片浜西沢田線道路改良事業
- 香陵公園周辺整備事業
- 静岡東部拠点土地区画整理事業

- 埋蔵文化財発掘調査補助事業
- 埋蔵文化財発掘調査整理事業

令和６年度事業計画

- 中原遺跡埋蔵文化財発掘調査受託事業
- 鉄道施設移転事業（中原遺跡）
- 片浜西沢田線道路改良事業
- 埋蔵文化財発掘調査補助事業
- 埋蔵文化財発掘調査整理事業
- 岡宮北土地区画整理事業

⑷　普及啓発活動

令和６年度事業計画

- 文化財調査報告書の頒布
- 体験学習の受け入れ
- 資料の貸し出し
- 出前講座

６．文化財管理

文化財の保護・管理

令和５年度実施実績

- 史跡等の保全管理

  休場遺跡、興国寺城跡、江浦横穴群、長浜城跡、長塚古墳、大瀬崎のビャクシン樹林、松城家住宅、帯笑園、井田松江古墳群、高尾山古墳の雑草木の除去、大瀬崎ビャクシン樹林の病害虫防除、史跡の環境整備
- 史跡等の保存整備

  興国寺城跡保存整備事業（整備調査委員会の開催、整備基本計画作成、発掘調査ほか）

  高尾山古墳保存整備事業（保存活用計画策定準備、整備委員会の開催ほか）

  大瀬崎のビャクシン樹林保存活用事業（管理道路実施設計、維持管理ほか）

令和６年度実施計画

- 史跡等の保全管理

  休場遺跡、興国寺城跡、江浦横穴群、長浜城跡、長塚古墳、大瀬崎のビャクシン樹林、松城家住宅、帯笑園、井田松江古墳群、高尾山古墳の雑草木の除去、大瀬崎のビャクシン樹林の病害虫防除、史跡の環境整備
- 史跡等の保存整備

  興国寺城跡保存整備事業（整備調査委員会の開催、発掘調査、整備基本計画作成ほか）

  高尾山古墳保存整備事業（整備委員会の開催、保存活用計画・整備基本計画策定準備、国史跡指定記念イベント等開催ほか）

  大瀬崎ビャクシン樹林保存活用事業（管理道路工事、看板実施設計、維持管理ほか）

７．重要文化財　松城家住宅

松城家住宅は、江戸時代から廻船業を営み財を成した松城家の居宅として明治６年に棟上げされた。建築様式は擬洋風建築と呼ばれ、幕末から明治初期のわずかな期間にのみ建築された貴重なものであり、日本に現存する擬洋風建築の中でも最初期のものである。また、主屋内部には左官の名工といわれた入江長八やその一派が手掛けたとされる漆喰鏝絵が随所に配されている。

松城家住宅は、平成18年に重要文化財に指定されたのち、平成28年から令和４年まで保存修理工事を行い、明治初期の佇まいに復原され、令和４年11月３日から一般公開を開始した。

⑴　施設の概要

名　　称	重要文化財松城家住宅（平成18年７月５日　重要文化財指定）
所 在 地	沼津市戸田72
電　　話	0558－94－3115（指定管理者　戸田観光協会）
一般公開	令和４年11月３日
施設内容	主屋・ミセ・文庫蔵・東土蔵・北土蔵・門柱及び外塀・庭門及び塀
開館時間	午前９時～午後４時30分（入館は午後４時まで）
観 覧 料	大人（高校生以上）300円　小人（小・中学生）100円　市内の小・中学生は無料 団体（20人以上）　大人（高校生以上）200円　小人（小・中学生）50円
休 館 日	水曜日（水曜日が休日の場合は翌日）　年末年始（12月31日・１月１日）
貸　　館	全館又は土蔵（展示物の展示のみ）

⑵　運営

指定管理者の指定　令和４年11月１日から戸田観光協会を指定管理者に指定している。

令和５年度事業実績

事業名	期日	内容	備考
イベント等	４月１日～ ８月30日	昭和の松城家写真展	入館者　931人
	８月21日	静岡県民の日企画展 紙芝居　戸田読み聞かせ倶楽部たちばな	入館者　48人
	11月３日	開館１周年記念企画展 へだ号見聞　講師　山口展徳氏 松城家ゆかりの品展示会 開館１周年記念来館証発行	入館者　79人
	12月３日～ ２月29日	重要文化財宿泊支援高付加価値化事業 松城家住宅観覧と宿泊をセットにした観光商品の販売	入館者　155人
	１月26日	重要文化財防火デー（防災訓練）	入館者　24人
	２月23日	富士山の日企画展 紙芝居　戸田読み聞かせ倶楽部たちばな 絵物語　平戸のお地蔵さん	入館者　70人

令和６年度事業計画

事　業　名	期　　日	内　　容
イベント等	４月～	販売事業 　御朱印調来館証 　オリジナル缶バッチ 　戸田塩ジェラート
	４月14日	観覧割引券発行事業 　戸田深海魚まつり参加者に割引券配布
	８月21日	静岡県民の日企画展
	１月26日	重要文化財防火デー（防災訓練）
	２月23日	富士山の日企画展

令和５年度入館者数

総入館者数	有　料　者	無　料　者	開　館　日	一日平均入館者数
2,543人	2,036人	507人	317日	8.0人

８．帯笑園（登録記念物）

帯笑園は、原の素封家植松家が江戸時代後期から昭和初期まで代々伝えてきた東海道随一とうたわれた名園である。一般的な庭園とは異なり、珍しい植物のコレクションを陳列し、当時には珍しい温室を備えるなど、植物園のような性格をもつものであった。

帯笑園は、平成24年に登録記念物（名勝地関係）として国登録され、その後園地整備等を進め、平成31年４月29日から一般公開を開始した。

⑴　施設の概要

名　　称　　帯笑園（平成24年９月19日　登録記念物登録）
所 在 地　　沼津市原字御殿場194番１　外２筆
電　　話　　935－5010（沼津市文化財センター）
一般公開　　平成31年４月29日
面　　積　　2,211.70㎡（登録面積　1,584.38㎡）
施設内容　　庭園・臨春亭・西蔵・居間蔵等
開園時間　　午前９時～午後４時（土曜日・日曜日・祝日のみ）
観 覧 料　　無料
休 園 日　　平日　年末年始（12月29日～１月３日）

⑵　運営

来園者に対する案内及び庭園等の日常的な管理について、令和元年度から毎年度、帯笑園保存会への業務委託により実施している。なお帯笑園保存会の自主事業として、令和５年度はサクラソウ鑑賞会・エビネ展、春の山野草展、ウチョウラン展・陶芸展、アサガオ展、薩摩琵琶演奏会、秋の七草・山野草・キク花展、ナデシコの育て方教室、サクラソウ育て方教室、クリスマスローズ展など四季折々のイベントを実施し、令和６年度も同様のイベントを予定している。

令和５年度入園者数

入園者数	開　園　日	一日平均入園者数
3,009人	117日	25.7人

沼津市の文化財

○国　指　定

種　別	名　　称	指定年月日	所　　在
工　芸　品 （　国　宝　）	太刀　銘一	昭　27.11.22	佐野美術館
工　芸　品 （重要文化財）	短刀銘備中國住守次作延文二年八月日	昭　27. 7.19	大　　岡
建　造　物 （重要文化財）	松城家住宅７棟	平　18. 7. 5	戸　　田
絵　　画 （重要文化財）	紙本著色山王霊験記	昭　25. 8.29 （旧指定 昭2.4.15）	東京国立博物館
工　芸　品 （重要文化財）	太刀　銘眞長　附絲巻太刀拵	昭　29. 3.20	佐野美術館
〃	沈金獅子牡丹文長覆輪太刀拵	〃	〃
〃	金銅聖観音像懸仏	昭　39. 5.26	千本常盤町
典　　籍 （重要文化財）	宝物集巻第一　附原表紙	平　6. 6.28	岡　　宮
史　　跡	休場遺跡	昭　54. 1.24	宮本字元野ほか
〃	長浜城跡	昭　63. 5.13 追加 平14.12.19	内浦長浜ほか
〃	興国寺城跡	平　7. 3.17 追加 平12. 3. 7 追加 平19. 7.26 追加 平24. 9.19	根古屋字古城ほか
天然記念物	大瀬崎のビャクシン樹林	昭　7. 7.25	西浦江梨
重要有形 民俗文化財	沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具	平　22. 3.11	歴史民俗資料館
名　　勝	旧沼津御用邸苑地	平　28.10. 3	下香貫

○国　登　録

種　別	名　　称	指定年月日	所　　在
建　造　物 （有形文化財）	光長寺御宝蔵	平　12. 2.15	岡　　宮
〃	大中寺恩香殿・通玄橋	平　12. 4.28	中　沢　田
〃	安田屋旅館松棟・月棟	〃	内浦三津
〃	沼津倶楽部北棟・南棟・長屋門	平　27. 3.26	千本郷林
〃	松蔭寺開山堂・山門	平　28. 8. 1	原　東　町
〃	小栗家住宅主屋	令　2. 4. 3	上香貫字槙島町
〃	海瀬家住宅主屋	令　5. 8. 7	西浦河内
〃	加藤学園暁秀初等学校本館	令　6. 3. 6	岡宮ほか
名勝地関係 （記念物）	帯笑園	平　24. 9.19	原　西　町

○県　指　定

種　別	名　　称	指定年月日	所　　在
絵　　画	白隠自画像	昭　43. 7. 2	原　東　町
工　　芸	槍　名物蜻蛉切	昭　30. 2.25	佐野美術館
〃	太刀　銘景則	昭　30. 4.19	〃
〃	太刀　銘備州長船住近景	〃	〃
〃	太刀　銘了戒	〃	〃
〃	刀　銘津田越前守助廣	〃	〃
〃	短刀　銘信國　倶利迦羅透彫	昭　32. 5.13	〃
〃	梵　　鐘	昭　31.10.17	本　郷　町
典　　籍	科註妙法蓮華経	昭　30. 4.19	原　東　町
古　文　書	法門聴聞集 附連々聴聞集 　日弁消息 　日意筆法門聴聞集表題並びに奥書	平　6. 3.25	岡　　宮
考古資料	玉砥石	昭　31. 5.24	平　　町
〃	蔵骨器	昭　31.10.17	本　郷　町
〃	子持勾玉　附臼玉他滑石製模造品	昭　33. 9. 2	歴史民俗資料館
〃	植出北Ⅱ遺跡出土ガラス勾玉鎔笵　４点	令　2.12. 8	志　　下
歴史資料	繍字法華経　附１幅	平　8.11.18	岡　　宮
有形民俗	大瀬神社奉納漁船模型	昭　56.10.23	西浦江梨
〃	浮島沼周辺の農耕生産用具	平　2. 3.20	歴史民俗資料館
無形民俗	戸田の漁師踊・漁師唄	昭　54.11.19	戸　　田
〃	江浦の水祝儀	平　11. 3.15	江　　浦
史　　跡	白隠禅師墓	昭　29. 1.30	原　東　町
〃	江浦横穴群	昭　52. 3.18	江　　浦
〃	洋式帆船建造地及びプチャーチン宿所 附関係遺品一括	昭　42.10.11 追加・名称変更 昭　56.10.23	戸　　田
〃	井田松江古墳群	平　7. 3.20	井　　田
〃	長塚古墳	平　11.11.16	東　沢　田
天然記念物	岡宮浅間神社のクス	昭　44. 5.30	岡　　宮
〃	御浜岬のイヌマキ群生地	昭　55.11.28	戸　　田
〃	鮎壺の滝	平　8. 3.12	大岡ほか
〃	河内の大スギ	平　14. 3.22	西浦河内

○市　指　定

種　別	名　　称	指定年月日	所　　在
建　造　物	禅長寺頼政堂	平　12. 3.31	西　浦　河　内
〃	赤野観音堂	〃	柳　　沢
〃	大川家長屋門	平　20. 1.17	内　浦　長　浜
絵　　画	涅槃図	平　21. 3.30	下　河　原　町
彫　　刻	木造十一面観世音菩薩立像	昭　47.12.14	柳　　沢
〃	木造阿弥陀如来三尊立像	〃	下　小　路　町
〃	木造盧舎那仏坐像	〃	市　　道　　町
〃	木造地蔵菩薩坐像	昭　50. 5. 8	大　　岡
〃	木造伝月光菩薩立像	〃	歴史民俗資料館
〃	木造観世音菩薩立像	〃	大　　平
〃	木造阿弥陀如来立像	〃	西　浦　河　内
〃	木造金剛力士像　阿形・吽形	〃	岡　　宮
〃	木造釈迦如来坐像	〃	下　河　原　町
〃	木造観世音菩薩立像	昭　55. 5.15	大　　平
〃	木造白隠禅師坐像	平　29. 3.28	原　　東　　町
工　　芸	千手観音像懸仏	平　15. 1.31	西　浦　河　内
〃	大日如来像懸仏	〃	〃
〃	諸口神社の鰐口	平　18. 3.28	戸　　田
書　　跡	京極為兼卿書状	昭　60. 2.21	平　　町
古　文　書	今川氏親生母伊勢氏寺領寄進状	昭　47.12.14	下　小　路　町
〃	今川氏親生母伊勢氏寄進寺領書立	〃	〃
〃	今川氏親棟別役免除朱印状	〃	〃
〃	獅子浜植松家戦国文書	平　23. 2. 8	明　治　史　料　館
考　古　資　料	休場遺跡出土細石器	昭　58.12.15	志　　下
〃	軒通遺跡出土壺形土器	〃	〃
〃	三角縁神獣鏡	平　20. 1.17	中　　沢　　田
歴　史　資　料	輿地航海図	昭　59. 4.19	明　治　史　料　館
〃	大平村絵図	平　2. 3.29	大　　平
〃	三枚橋絵図	〃	歴史民俗資料館
〃	沼津宿絵図	〃	〃
〃	本町絵図	〃	〃
〃	上香貫絵図	〃	〃
〃	井田の不動明王像	平　18. 3.28	井　　田
〃	ディアナ号の錨	〃	戸　　田
有形民俗文化財	沼津沿岸の漁撈に関する奉納絵馬	令　4. 9. 8	歴史民俗資料館ほか
史　　跡	神明塚古墳	昭　45. 2.19	松　　長
〃	子ノ神古墳	〃	西　　沢　　田
〃	日吉廃寺塔址及び礎石	〃	大　　岡
〃	霊山寺変形宝篋印塔	〃	本　　郷　　町
〃	霊山寺五輪塔	〃	〃
〃	伝阿野全成・時元墓	昭　58. 6.15	井　　出
〃	日露交渉地跡大行寺	平　18. 3.28	戸　　田
天然記念物	久連神社社叢	昭　52.12.22	西　浦　久　連
〃	赤野観音堂のカヤ	〃	柳　　沢
〃	河内の稲荷スギ	平　15. 1.31	西　浦　河　内
〃	部田神社のコブ付大クス	平　18. 3.28	戸　　田

○沼津市文化財センター頒布図書一覧

集	発行年	頒　布　図　書　名	頒布価格
13	1978	藤井原遺跡発掘調査報告書Ⅰ　遺構編	3,000円
15	1979	大瀬崎ビャクシン樹林環境調査報告書	1,000円
18	1980	長井崎遺跡発掘調査報告書	2,000円
30	1983	尾上イラウネ遺跡発見の線刻礫調査報告書	1,500円
33	1985	寺林南遺跡発掘調査報告書	1,500円
35	1985	埋蔵文化財発掘調査報告書	2,000円
36	1985	平沼吹上遺跡発掘調査報告書	3,000円
37	1986	豆生田遺跡詳細分布調査報告書	1,000円
40	1986	江浦の水祝儀	3,000円
41	1987	広合遺跡発掘調査報告書	5,000円
44	1989	豆生田遺跡発掘調査報告書	3,000円
46	1989	雄鹿塚遺跡発掘調査報告書	2,500円
47･48	1989・1990	清水柳北遺跡発掘調査報告書その１　その２	14,000円
49	1990	広合遺跡（ｂ・ｃ・ｄ区）・広合南遺跡発掘調査報告書	5,000円
50	1990	大谷津遺跡発掘調査報告書	4,000円
51	1990	雌鹿塚遺跡発掘調査報告書	7,000円
52	1991	広合遺跡（ｅ区）・二ツ洞遺跡（ａ区）発掘調査報告書	6,500円
53	1992	尾上イラウネ遺跡発掘調査報告書Ⅱ	10,000円
54	1993	二ッ洞遺跡（ｂ・ｃ区）発掘調査報告書	3,000円
55	1994	大谷津遺跡・井出丸山古墳発掘調査報告書	3,000円
56	1995	土手上遺跡（ｂ・ｃ区）発掘調査報告書	4,000円
57	1995	下道遺跡発掘調査報告書	2,000円
58	1995	埋蔵文化財発掘調査報告書	2,500円
59	1996	西洞遺跡（ａ区）・葛原沢遺跡発掘調査報告書	3,000円
60	1996	三枚橋城址外堀跡発掘調査報告書	2,000円
61	1996	柏葉尾遺跡発掘調査報告書	2,000円
62	1996	下石田原田遺跡発掘調査概報	500円
63	1997	土手上遺跡（ｄ・ｅ区－１）発掘調査報告書	3,500円
64	1998	土手上遺跡（ｄ・ｅ区－２）発掘調査報告書	2,500円
65	1998	拓南東遺跡発掘調査報告書	2,000円
66	1998	鳥沢遺跡発掘調査報告書	1,500円
67	1998	御幸町遺跡発掘調査報告書　－遺物編（土器）－	2,000円
68	1999	長塚古墳・清水遺跡発掘調査報告書	1,000円
69	1999	西洞遺跡（ｂ区－１）発掘調査報告書	2,600円
70	1999	埋蔵文化財発掘調査報告書	2,600円
71	2000	西洞遺跡（ｂ区－２）発掘調査報告書	1,500円
72	2000	東畑毛遺跡（第４次）発掘調査報告書	1,500円
73	2000	尾崎遺跡発掘調査報告書	1,000円
74	2000	下石田原田遺跡発掘調査報告書	2,800円

集	発行年	頒　布　図　書　名	頒布価格
75	2000	鳥谷アラク遺跡発掘調査報告書	600円
76	2001	北神馬土手遺跡・尾上Ⅱ橋遺跡発掘調査報告書	2,800円
78	2002	西洞遺跡（ｃ・ｄ区）発掘調査報告書	1,000円
79	2002	千本遺跡発掘調査報告書	1,000円
80	2002	稲荷林遺跡発掘調査報告書	500円
81	2002	尾上イラウネ北遺跡（第２次）発掘調査報告書	500円
82	2003	市道0230号線関連遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書	1,500円
83	2004	三芳町遺跡発掘調査報告書	500円
84	2004	八兵衛洞遺跡発掘調査報告書	1,000円
85	2004	上ノ段遺跡発掘調査報告書(1)	1,000円
86	2004	埋蔵文化財発掘調査報告書４	500円
87	2005	埋蔵文化財発掘調査報告書５	1,000円
88	2005	史跡長浜城跡発掘調査概報	200円
89	2006	石川古墳群　第二東名№34地点　第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　沼津市－１　第一分冊・第二分冊	1,800円
90	2007	尾上第１遺跡　第二東名№３地点　第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　沼津市－２	850円
91	2007	西ノ久保遺跡発掘調査報告書	350円
92	2007	八兵衛屋敷遺跡発掘調査報告書	350円
93	2007	尾上第２遺跡発掘調査報告書	400円
94	2008	尾壱遺跡　第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　沼津市－３	1,300円
95	2009	稲荷林遺跡（第２次）発掘調査報告書	900円
96	2009	清水柳北遺跡（第３次）発掘調査報告書	350円
97	2009	中見代第Ⅰ遺跡発掘調査報告書(2)　第二東名№６地点　第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　沼津市－４	1,500円
98	2010	尾壱遺跡（第２次）・清水柳北遺跡（第２次）発掘調査報告書	1,000円
99	2010	八兵衛洞遺跡（第３次）　第二東名№９・10・11・12地点　第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　沼津市－５	1,200円
100	2011	井出丸山遺跡発掘調査報告書	600円
101	2011	拓南遺跡発掘調査報告書	300円
102	2011	二ッ洞南遺跡・植出北Ⅱ遺跡　第二東名№４・５地点　第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書　沼津市－６	2,000円
103	2011	鳥沢遺跡第２次発掘調査報告書	400円
104	2011	高尾山古墳発掘調査報告書	残部なし
114	2016	国史跡長浜城跡整備事業報告書	残部なし
	1982	沼津の文化財	600円
	1994	沼津の文化財　補遺	400円
	2002	沼津の文化財　補遺(Ⅱ)	200円
	1987	興国寺城文献資料集	500円
	2017	スルガ最初の王ここに眠る　高尾山古墳	残部なし
	2020	もっと知りたいぬまづのこと　ぬまづの史跡ガイドブック	160円

※2017年以降はPDFにて無償公開

9．地域史保存活用事業

沼津市史や戸田村史の編さん事業をとおして収集された沼津の歴史を明らかにする貴重な歴史資料を市民共有の財産として後世に伝え、さらに、市民の郷土に対する理解を深めるとともに、歴史的価値のある文書等の散逸を防ぎ、記録・保存し、資料の活用を推進する。

○刊行物

（有　償）

	発行年	図　　書　　名	頒布価格
沼津市史	1993	沼津市史　史料編　近世１	¥6,000
	1996	沼津市史　史料編　古代・中世	¥7,000
	1997	沼津市史　史料編　近代１	¥7,000
	1999	沼津市史　史料編　漁村	¥6,000
	1999	沼津市史　資料編　自然環境	¥7,000
	2000	沼津市史　史料編　近世２	¥6,000
	2001	沼津市史　史料編　近代２	¥5,000
	2002	沼津市史　資料編　民俗	¥5,000
	2002	沼津市史　資料編　考古	¥4,000
	2003	沼津市史　史料編　近世３	¥5,000
	2004	沼津市史　史料編　現代	¥5,000
	2004	沼津市史　別　編　絵図集	残部なし
	2005	沼津市史　通史編　原始・古代・中世	¥3,000
	2006	沼津市史　通史編　近世	¥3,000
	2007	沼津市史　通史編　近代	¥3,000
	2007	沼津市史　通史別編　漁村	¥2,500
	2009	沼津市史　通史編　現代	¥3,000
	2009	沼津市史　通史別編　民俗	¥2,500
戸田村史	2014	戸田村史　民俗編	残部なし
	2016	戸田村史　通史編	¥3,000
沼津市史研究	1992	沼津市史研究１	残部なし
	1993	沼津市史研究２	¥1,000
	1994	沼津市史研究３	¥1,000
	1995	沼津市史研究４	¥1,000
	1996	沼津市史研究５	¥1,000
	1996	沼津市史研究６	¥1,000
	1998	沼津市史研究７	¥1,000
	1999	沼津市史研究８	¥1,000
	2000	沼津市史研究９	¥1,000
	2001	沼津市史研究10	¥800
	2002	沼津市史研究11	¥800
	2003	沼津市史研究12	¥800
	2004	沼津市史研究13	¥800
	2005	沼津市史研究14	¥800
	2006	沼津市史研究15	¥800
	2007	沼津市史研究16	¥800
	2008	沼津市史研究17	¥800
	2009	沼津市史研究18	¥800
	2011	沼津市史研究19	¥800

	発行年	図　　書　　名	頒布価格
沼津市史叢書　一	1993	静岡県漁場図解説書	¥1,500
二	1994	戦中絵日記	¥2,000
三	1995	原宿植松家　日記・見聞雑記	¥2,000
四	1996	旧村地誌　金岡村誌・鷹根村誌・鷹根村沿革誌	¥2,000
五	1998	原宿植松家　日記・見聞雑記二	¥2,000
六	1998	破れ扇・伊勢参宮画日記	¥2,000
七	2000	大平村古記録	¥1,500
八	2001	沼津史料　付　沼津宿案内記中巻	¥1,000
九	2003	旧村地誌二　浮島村誌・郷土の研究	¥1,000
十	2004	沼津漁村記録	¥1,000
十一	2009	江藤千萬樹考古学論集	¥1,500
沼津市史編さん調査報告書　一	1991	江藤・増山家古文書目録	残部なし
二	1992	桃里の民俗（民俗報告書一）	残部なし
三	1993	愛鷹の石仏・石神（石仏・石神報告書一）	残部なし
四	1993	木負・河内の民俗（民俗報告書二）	残部なし
五	1993	大平の石仏・石神（石仏・石神報告書二）	残部なし
六	1994	岡宮の民俗（民俗報告書三）	¥1,500
七	1995	原の石仏・石神（石仏・石神報告書三）	¥1,500
八	1995	柳沢の民俗（民俗報告書四）	¥1,500
九	1996	塩満の民俗（民俗報告書五）	¥1,000
十	1998	木瀬川の民俗（民俗報告書六）	¥1,500
十一	1998	香貫・我入道の石仏・石神（石仏・石神報告書四）	¥1,500
十二	1998	三枚橋の民俗（民俗報告書七）	¥1,500
十三	1999	松長の民俗（民俗報告書八）	¥1,500
十四	2002	上香貫霊山寺の近世墓	¥1,000
十五	2005	神明塚古墳（第二次）発掘調査報告書	¥1,000
十六	2006	統計資料集	¥1,000

（無　償）

「沼津市史だより」第１～25号

歴史民俗資料館

1．施設の概要

名　　称　　沼津市歴史民俗資料館
所 在 地　　沼津市下香貫島郷2802－1
　　沼津御用邸記念公園内
電　　話　　932－6266
ＦＡＸ　　934－2436
建築面積　　535.6㎡
　　（ボイラー室棟　13.9㎡）
延床面積　　890.8㎡　１階　386.4㎡
　　２階　504.4㎡
構　　造　　鉄筋コンクリート造２階建（ボイラー室棟ブロック造）
開　　館　　昭和49年12月８日
施設内容　　１階　展示室（105.2㎡）　荷解作業室（68.4㎡）　ホール（62.9㎡）
　　収蔵庫（44.5㎡）　事務室（31.3㎡）　機械室（38.7㎡）　その他（35.4㎡）
　　２階　展示室（185.0㎡）　収蔵庫　（100.0㎡）　ホール（67.6㎡）
　　特別収蔵庫（37.4㎡）　展示ケース（33.5㎡）　会議室（22.9㎡）
　　機械室（11.2㎡）　暗室（7.8㎡）　その他（39.0㎡）
休 館 日　　毎週月曜日（祝日は開館)、毎月最終の平日、国民の祝日の翌日（土日は除く)、
　　年末年始
開館時間　　午前９時～午後４時
観 覧 料　　無　料

※昭和59年４月１日沼津市博物館条例の制定により、館名を「沼津市歴史民俗資料陳列館」から「沼津市歴史民俗資料館」と改称した。

2．資料館の目的

資料館は、社会教育施設として資料の展示や保護保存、啓蒙普及活動などを通じて市民の生涯教育を助けること、また、調査研究活動を通じて、その資料を市民に提供し、地域社会のよりよい発展と文化の振興に寄与することを目的としている。

3．事 業 活 動

⑴　資料館の事業

①　失われつつある市内の歴史資料や民俗資料などの保護、収集保管。
　（令和６年５月現在　民俗資料19,804点、古文書資料30,623点）
②　展示活動、講座、研究会などの啓蒙普及活動。
③　資料に関する専門的な調査研究による情報交換や出版活動、展示活動などの資料公開。
④　令和５年10月に移転整備の基本方針となる移転整備基本構想を策定。
⑤　令和５年度に第１回沼津市歴史民俗資料館移転整備基本計画策定委員会を開催。

⑵　令和５年度事業実績

事　業　名	期　日	内　　容	備　　考
企　画　展	７月１日～ ９月24日	「絵葉書で見る100年まえの沼津」	ポスター、チラシ、図録
歴　民　講　座	１月20日	「武田氏の河東二郡支配と 興国寺城代曾禰昌世」	講師体調不良のため中止
体　験　教　室	７月22･25･29日 ８月11･26･27日	「昔の道具を使ってみよう」	小学生対象
刊　行　物	年間	資料館だより（年４回発行） 資料集（沼津の絵葉書Ⅰ） 博物館紀要（明治史料館共同発行）	238－241号（無料）各1,800部 34号（有償）　600部 48号（有償）　600部

⑶　令和６年度事業計画

事　業　名	期　日	内　　容	備　　考
企　画　展	11月30日～ ３月30日	開館50周年記念特別展 「れきみんのおたから　指定文化財から秘蔵資料まで大公開！」	ポスター、チラシ、図録
歴　民　講　座	10月19日	「大御所家康と駿東」	市立図書館視聴覚ホール
	未　定	(仮題)「武田氏の河東二郡支配と 興国寺城代曾禰昌世」	市立図書館視聴覚ホール
体　験　教　室	夏休み期間の 土・日・祝日	「昔の道具を使ってみよう」	小学生対象
刊　行　物	年間	資料館だより（年４回発行） 資料集 博物館紀要（明治史料館共同発行）	242－245（無料）　各1,500部 35号（有償）　500部 49号（有償）　600部

４．歴史民俗資料館協議会

資料館の円滑な運営を図るため昭和49年に設置。現在は学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者等10人以内で構成され、任期は２年。

５．利 用 状 況（令和５年度）

月	入　館　者　数	開館日数	月	入　館　者　数	開館日数
4	1,565　人	25 日	10	2,234　人	26 日
5	2,058	25	11	1,922	24
6	2,159	25	12	1,067	23
7	1,733	25	1	1,197	23
8	2,094	26	2	1,821	24
9	1,812	25	3	1,761	25

令和５年度　　入館者数　21,423人　　開館日数　296日　　一日平均入館者数　72.4人

明 治 史 料 館

当館は、昭和59年10月１日に開館した博物館である。館名は、常設展示テーマの「江原素六」と「沼津兵学校」が、当市の明治維新や明治時代を象徴するものであるところに由来する。

また、当館敷地が江原素六の邸宅跡であることから、「江原素六記念館」という名も掲げている。

1．施 設 の 概 要

名　　称　　沼津市明治史料館

所 在 地　　沼津市西熊堂372－1　電話　923－3335　FAX　925－3018

竣　　工　　昭和59年３月17日

総事業費　　699,000千円

構　　造　　鉄筋コンクリート４階建（一部５階建）

規　　模　　敷地面積　1,793㎡　建築面積　657㎡　延床面積　1,946㎡

開　　館　　昭和59年10月１日

施設内容

図　書　室（１階）	郷土資料、県内市町村史、全国博物館刊行物、調べ学習用図書等を配架し、利用者の学習を支援するレファレンスルーム　開架式　87㎡
収　蔵　庫（１階）	資料を保存するスペース　61㎡
くん蒸室（１階）	資料の殺菌・殺虫を行う　21㎡
第２収蔵庫（２階）	資料を保存するスペース　136㎡
講　座　室（２階）	館主催の講演会・講座などに使用するほか、外部の社会教育団体などに対して貸し出している　170㎡
展　示　室（３階）	常設展示室　南側は沼津の通史、北側は江原素六のコーナー　527㎡
展　示　室（４階）	沼津兵学校のコーナー　121㎡
そ　の　他	事務室（１階）43㎡、作業室１（１階）22㎡、作業室２（１階）20㎡、ロビー（１階）109㎡、会議室（２階）24㎡
休　館　日	毎週月曜日（祝日は開館）、毎月最終の平日、国民の祝日の翌日（土・日を除く）、年末年始（12／29～１／３）
開館時間	午前９時～午後４時30分
観　覧　料	大人200円　小人（小・中学生）100円　市内の小・中学生は無料　団体（20人以上）は２割引

2．事 業 活 動

⑴　常設展示

３階展示室南側では、沼津の戦国期から近現代に至る通史の展示を行っている。３階展示室北側では、明治の政治家・教育者・キリスト者として活躍した沼津移住の旧幕臣江原素六（1842～1922）について展示している。主な展示資料は、江原素六の肖像画・写真・日記・辞令・遺品・墨蹟などがある。当館建設時に解体された江原邸の一部も復元・移築されている。

４階展示室では、明治元年（1868）に静岡藩の陸軍士官学校として設立された沼津兵学校と、その教授・生徒の人材について展示している。主な展示資料は、兵学校の規則書・教科書などや、西周・赤松則良・杉亨二・田口卯吉・島田三郎ら関係者の肖像である。

⑵　令和５年度事業実績

事　業　名	期　日	内　　容	備　　考
企　画　展	４月15日～ ５月14日	江原素六学習作品展 ～子どもたちの見た江原素六～	観覧者351人
	７月１日～ ９月24日	市制100周年記念特別展 「写真にみる沼津のあゆみ」	ポスター、チラシ、観覧者1,405人、ミュージアムグッズ（ポストカード・クリアファイル）
	12月９日～ ２月25日	「地域の歴史シリーズ４　おおひら」	ポスター、チラシ、ギャラリートーク観覧者651人
館　外　展　示	９月１日～ ９月28日	第20回明治史料館館蔵資料展 「沼津まちなか古写真展」	会場　ぬましんストリートギャラリー
体　験　学　習	５月14日	「そろくの日」　房楊枝づくり体験、スタンプラリー、紙芝居「江原素六物語」	参加者　135人
	７月22日～ ８月24日	子ども向け歴史学習企画 「謎解き！沼津歴史探偵 ～100年前の沼津へタイムスリップ～」	参加者　117人
	８月３日	「高校生のための一日学芸員体験講座」	受講者　10人
	８月10日・11日	「平和を考える戦争史跡めぐり」	参加者　延べ23人
刊　行　物	年間	沼津市明治史料館通信（年４回発行） 沼津市博物館紀要（歴史民俗資料館共同発行）	153－156号（無料）各2,000部 48号（有償）　650部

企画展に関連した歴史講座や古文書解読入門講座等を実施している。

期　　日	内　　容	備　　考
８月22日～９月２日	博物館実習生受入れ 学芸員資格取得に関わる博物館実習生の受入れ	実習生　２人
９月２日・９日・16日・23日・10月14日	古文書解読入門講座 古文書に初めて触れる初心者を対象に開催する	受講者　延べ26人
９月９日	歴史講演会　講師 松沢裕作（慶応義塾大学 経済学部教授） 演題「村と町と市と　町村合併にみる近代沼津のあゆみ」	参加者　63人
毎月第３土曜日 （４月・９月除く）	古文書等整理実践講座 近世・近現代の館蔵資料を中心に、整理・保存の方法を学ぶ	受講者　延べ44人
毎月第２土曜日	明治史料館ギャラリートーク2023 職員が展示資料を参加者と対話しながら解説する	参加者　延べ89人

期　　日	内　　容	備　　考
通年	学校・団体見学受け入れ	参加者　延べ1,028人
10月４日・11月２日	講師派遣	
毎月第２土曜日	戦争体験を記録する会 戦争の記憶を後世に残すために、市民の戦争体験を記録する	参加者　延べ19人

⑶　史料の収集・保存・整理

展示や教育普及といった事業の基礎となる館の重要な任務として、史料の調査・研究・収集・整理・保存という仕事がある。当館では、その対象範囲を、江原素六・沼津兵学校に限定することなく、広く沼津市の歴史資料一般としている（特に、民俗学分野の資料を主な対象とする歴史民俗資料館に対し、当館は近世・近現代の文書資料や古書籍など歴史学分野の資料を主な対象とする）。収蔵・保管する史料は、分類・整理の上、一般の閲覧に供する（令和６年４月現在、博物館資料 約13万点、図書資料 約３万冊）。

３．令和６年度事業活動

⑴　令和６年度事業計画

事　業　名	期　日	内　　容	備　　考
企　画　展	６月29日～ ９月１日	富士・沼津・三島三市博物館連絡協議会巡回展　「石器とくらし－愛鷹・箱根西麓の旧石器文化とその周辺－」	ポスター、チラシ、パンフレット
	12月７日～ ２月24日	「地域の歴史シリーズ５　大岡（おおおか）」	ポスター、チラシ
館　外　展　示	９月５日～ ９月26日	第21回明治史料館館蔵資料展	会場　ぬましんストリートギャラリー
体　験　学　習	７月24日～ ８月28日	子ども向け歴史学習企画 「謎解き！沼津歴史探偵」	
	７月28日	「平和を考える戦争史跡めぐり」	市内在住・在学の小学校4･5･6年生とその保護者対象
	８月１日	「学芸員体験講座」	市内在住・在学の中高生対象
刊　行　物	年間	沼津市明治史料館通信（年4回発行） 沼津市博物館紀要（歴史民俗資料館共同発行）	157－160号（無料）各2,000部 49号（有償）

企画展に関連した歴史講座や古文書解読入門講座等を予定している。

期　　日	内　　容	備　　考
８月20日～９月４日	博物館実習生受入れ 学芸員資格取得に関わる博物館実習生の受入れ	定員５人
10月・11月	古文書解読入門講座 古文書に初めて触れる初心者を対象に開催する	講師　大庭　晃氏 定員10人
毎月第２土曜日	明治史料館ギャラリートーク2024 職員が展示資料を参加者と対話しながら解説する	

⑵　**史料の収集・保存・整理**

沼津兵学校関係資料及び沼津の歴史資料一般について収集・保存・整理を進める。

4．明治史料館協議会

館の円滑な運営を図るために設置し、学校教育の関係者、社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者、公募による市民から10名をもって組織され、任期は２年となっている。

5．利 用 状 況（令和５年度）

月	入　館　者　数	開館日数	月	入　館　者　数	開館日数
4	217　人	25 日	10	1,360　人	17 日
5	468	25	11	234	11
6	178	13	12	246	16
7	632	25	1	357	23
8	938	27	2	450	22
9	411	21	3	345	24

令和５年度　　入館者数　5,836人　　開館日数　249日　　一日平均入館者数　23.4人

戸田造船郷土資料博物館

1．施設の概要

名　　称	沼津市戸田造船郷土資料博物館
所 在 地	沼津市戸田2710－1
電話／FAX	0558－94－2384
建築面積	247.9㎡
延床面積	518㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造３階建
開　　館	昭和44年７月１日
施設内容	１階　機械室　ピロティ ２階　玄関ホール・研修室・事務室・展示室 （駿河湾深海生物館を併設／延べ床面積213.98㎡） ３階　ロビー・展示室
休 館 日	毎週水曜日・国民の祝日の翌日（土日は除く）・年末年始
開館時間	午前９時～午後４時30分
観 覧 料	大人200円　小人（小・中学生）100円　市内の小・中学生は無料 団体（20人以上）は２割引

2．博物館設立の経緯と目的

1854年、安政の東海大地震による津波で破損したロシア軍艦「ディアナ号」は、修理のため下田から戸田港に向かう途中、嵐に遭い現在の沼津市原付近の沖合で沈没してしまう。帰国する船を失ったプチャーチン提督をはじめとするロシア人乗組員たちは、沼津水野藩・韮山代官などの援助のもとに戸田の船大工と協力して日本初の本格的洋式帆船「ヘダ号」を建造した。

昭和42年にヘダ号の建造地とプチャーチンの遺品が静岡県の史跡の指定を受けたことを機に、旧戸田村の各所に残された造船に関わる遺品を収蔵・展示するための施設として建設し、昭和44年７月１日に「戸田村立造船郷土資料博物館」として開館した。昭和62年４月には「駿河湾深海生物館」が併設開館している。

さらに平成17年４月１日、沼津市と旧戸田村の合併に伴い沼津市に移管され、「沼津市戸田造船郷土資料博物館」と改称した。

3．事業活動

⑴　令和５年度事業実績

①　ヘダ号の建造資料及びディアナ号・プチャーチン関連の遺品等の常設展示

②　企画展

ア　大名びな展	４月１日～６月４日
イ　戸田の学校教育展	６月５日～10月31日
ウ　戸田の神社とまつり展	11月２日～令和６年１月30日
エ　戸田から見た富士山の四季写真展	令和６年２月１日～２月29日

⑵　令和６年度事業計画

①　ヘダ号の建造資料及びディアナ号・プチャーチン関連の遺品等の常設展示

②　企画展

ア　大名びな展　　４月１日～５月31日

イ　プチャーチン来航170周年展　　６月１日～令和７年１月31日

ウ　戸田から見た富士山写真展　　令和７年２月１日～２月28日

⑶　展示収蔵品

ヘダ号造船に関する資料（設計図・大工道具・ヘダ号模型ほか）

ディアナ号及びプチャーチン関連の遺品（錨・食器・ディアナ号模型ほか）

ロシア及び旧ソビエト連邦からの寄贈品

井田松江古墳・井田丸塚古墳出土遺物

戸田周辺の漁撈民俗資料（コザラシ網・網針・釣針・蛸壺・櫓・錨ほか）

収蔵品（485点）のうちディアナ号模型、ヘダ号設計図、大工道具、ヘダ号模型の４点は、わが国近代造船の礎となった洋式船建造技術を伝えるものと認められ、平成19年11月に経済産業省から「近代化産業遺産」として認定された。

４．博物館協議会

学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者等から選任された委員６人で構成されている。館の円滑な運営のため、展示・収集・普及活動などに助言や提言を行う。任期は２年。

５．利 用 状 況（令和５年度）

月	入　館　者　数	開館日数	月	入　館　者　数	開館日数
4	552　人	26 日	10	568　人	26 日
5	891	27	11	542	25
6	321	26	12	456	24
7	650	26	1	674	25
8	870	27	2	718	24
9	561	25	3	872	27

令和５年度　　入館者数　7,675人　　開館日数　308日　　一日平均入館者数　24.9人

芹沢光治良記念館

1．施設の概要

名　　称　　沼津市芹沢光治良記念館
所 在 地　　沼津市我入道蔓陀ケ原517－1
電話／FAX　　932－0255
竣　　工　　昭和45年５月30日
総事業費　　20,000千円
構　　造　　鉄筋コンクリート２階建
規　　模　　敷地面積　256㎡
　　建築面積　146.8㎡
　　延床面積　346.9㎡
開　　館　　平成21年10月１日
施設内容　　１階　展示室（主に芹沢光治良関連の企画展示）事務室
　　２階　展示室（市民ギャラリーとして沼津の文化に関係した展示）収蔵庫
休 館 日　　毎週月曜日・国民の祝日の翌日（土日は除く）・年末年始
開館時間　　午前９時～午後４時30分（入館は午後４時まで）
観 覧 料　　大人100円　小人（小・中学生）50円　市内の小・中学生は無料
　　団体（20人以上）は２割引

2．記念館設立の経緯と目的

昭和45年５月30日に芹沢光治良の心友、岡野喜一郎氏（当時のスルガ銀行会長）が財団を設立し、「芹沢文学館」として建設され、運営されてきたが、平成21年４月１日に旧財団法人芹沢・井上文学館から沼津市に寄贈され、同年10月１日に「沼津市芹沢光治良記念館」として開館した。

沼津市我入道で生まれ育った文人であり、沼津市名誉市民でもある芹沢光治良の業績と人物を周知することを目的としている。

また、２階展示室を市民公募によるギャラリーとして開放し、沼津市の文化に関する展示を行うことで、広い意味での文化を市民に提供することも目的としている。

3．令和５年度事業実績

⑴　企画展

①　１階展示室

芹沢光治良に関する展示

ア　企画展 光治良の欧州体験　第２回（12月15日～５月31日）

イ　企画展 市制100周年記念 沼津ゆかりの文学者たち　第１回（６月15日～11月30日）

ウ　企画展 市制100周年記念 沼津ゆかりの文学者たち　第２回（12月15日～５月31日）

②　２階市民ギャラリー

ア　芹沢光治良を偲ぶ会（朗読・ピアノ演奏会）（５月４日）

イ　「気になるもの。」菊地治彦写真展（10月７日～10月29日）

ウ　魏双斌×都築透　日中アーティスト交流展（11月４日～11月26日）

エ　芹沢光治良作品を聴く会（12月17日）

⑵　資料整理・保存

芹沢光治良関連資料のデータベース化と適正保存を進めるために、財団より寄贈された資料目録の点検、補填、資料等の整理及び保存のための準備を行った。（資料総数 3,607点）

⑶　各種広報活動

当館周知のためのポスター及びチラシ等を作成し、市内小中学校等の教育機関、各自治会及び主要文化施設に配布した。また各イベント会場へ出向き、同様に配布した。

⑷　教育普及

通常事業に加え、市制100周年記念事業「沼津ゆかりの作家顕彰事業」において実施したものも含む。

事業名	期日	内容	場所	備考
出前講座	３月９日	（特別講座）「沼津ゆかりの文学者たち」（第２回）について	１階展示室	沼津芹沢光治良文学愛好会依頼　参加者計18人
文学散歩	５月20日	「沼津ゆかりの文学散歩」	沼津市内	２コースに分け実施 参加者計24人
	10月21日	「沼津ゆかりの文学バスツアー」	沼津市・長泉町 伊豆市	バスツアー 参加者計33人
展示説明会	５月４日	芹沢光治良生誕日記念　企画展「光治良の欧州体験」（第２回）展示説明会	１階展示室	同日中に全２回実施 参加者計21人
	７月１日	市制施行記念　企画展「沼津ゆかりの文学者たち」（第１回）展示説明会	１階展示室	同日中に全２回実施 参加者計３人
	８月20日	県民の日記念　企画展「沼津ゆかりの文学者たち」（第１回）展示説明会	１階展示室	同日中に全３回実施 参加者計12人
	２月23日	富士山の日記念　企画展「沼津ゆかりの文学者たち」（第２回）展示説明会	１階展示室	同日中に全３回実施 参加者計14人
出張展示	８月２日～ ８月30日	ミニ出張展示「沼津ゆかりの文学者たち」	市役所１階	館内企画展のダイジェスト展示
	９月５日～ ９月18日	ミニ出張展示「沼津ゆかりの文学者たち」	ららぽーと沼津	各文学者計15人をパネル各１枚で紹介展示
	１月５日～ １月21日	出張展示「沼津ゆかりの文学者たち」	図書館４階	館内第１回企画展の内容を展示
	２月２日～ ２月18日	ミニ出張展示「沼津ゆかりの文学者たち」	戸田図書館２階	各文学者計15人をパネル各１枚で紹介展示
講演会	７月22日	沼津ゆかりの文学講演会	市立図書館 視聴覚ホール	講師：鈴木英治氏・ 秋山香乃氏 参加者計85人
刊行物	３月31日	市制100周年記念誌　『読む×見る×わかる　沼津の文学』		市内中学校等へ無償配布、館内で有償頒布 発行部数300部

4．令和６年度事業計画

事業名	期日	内容	場所	備考
企画展示	６月15日～12月１日	企画展「『人間の運命』の舞台を旅する」（第１回）	１階展示室	展示説明会８月21日 定員30人
	12月21日～６月１日	企画展「『人間の運命』の舞台を旅する」（第２回）	１階展示室	展示説明会２月23日 定員30人
講演会	11月未定	第12回芹沢光治良文学講演会（仮称）	図書館４階 視聴覚室	定員180人
文学散歩	10月未定	「沼津ゆかりの文学散歩」（仮称）	沼津市内	定員10人程度
出張展示	時期未定	ミニ出張展示「『人間の運命』の舞台を旅する」（仮称）	場所未定	館内企画展のダイジェスト展示
刊行物	３月未定	企画展図録（製本版）（仮称）		

5．芹沢光治良記念館懇話会

館の円滑な運営を図るため、委員５人による懇話会を２回開催し、運営方法及び事業計画などについて参考意見を聴取した。任期は２年となっている。

6．利用状況（令和５年度）

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	250　人	26 日	10	818　人	26 日
5	439	26	11	311	25
6	120	14	12	167	12
7	405	26	1	180	24
8	435	27	2	399	25
9	310	26	3	435	26

令和５年度　入館者数　4,269人　開館日数　283日　一日平均入館者数　15.1人

若山牧水記念館

http://web.thn.jp/bokusui/

沼津市若山牧水記念館は、歌人若山牧水の顕彰と本市ゆかりの文学者及びその背景となる沼津の文学風土を広く紹介することによって、市民の文化活動を振興し、創造性を育む文化都市づくりを目指すために建設された。

この記念館は、建設費の約半分に、市民はじめ牧水の関係者、そして、全国の牧水ファンからの寄附金が充てられ、昭和62年11月１日に開館した。

１．施設の概要

名　　称	沼津市若山牧水記念館
所 在 地	沼津市千本郷林1907番地の11
電　　話	962－0424
竣　　工	昭和62年２月28日
総事業費	122,000千円
構　　造	鉄筋コンクリート造・一部木造、平屋建
規　　模	敷地面積　2,378.04㎡
	建設面積　　470.86㎡
	延床面積　　400.58㎡
開　　館	昭和62年11月１日
施設内容	展 示 室　117㎡
	ラウンジ　113㎡
	沼津の文学風土を紹介するとともに、ラウンジの一角には喫茶コーナーを設け、来館する人たちの休憩や団らんの場として提供している。
収 蔵 庫	23㎡
	展示品以外の牧水に関する様々な資料や牧水研究家にとって貴重な資料を所蔵保管する。
会 議 室	（貸室）和室２室、20畳　牧水を中心とした研究会や小規模な集会などに使用できる。
開館時間	午前９時～午後４時30分
観 覧 料	大人　200円　小人（小・中学生）100円　市内の小・中学生は無料
	団体（20人以上）は２割引

2．運　　営

⑴　指定管理者の指定

平成18年４月１日から公益社団法人沼津牧水会を指定管理者に指定している。

⑵　令和５年度事業実績

事　業　名	期　日	内　　容	備　　考
講座・講演等	４月～２月	「初心者のための短歌講座」	参加者　延126人 講師　永久保英敏
	４月～２月	「牧水記念館短歌会」	参加者　延73人 講師　永久保英敏
	４月～３月	「書道講座」	参加者　延92人 講師　成田　真洞
	５月～７月	「中学生短歌コンクール」 応募短歌19校 1,438首　入選短歌50首	表彰式　10月15日 牧水祭・碑前祭にて
	９月27日	「牧水が詠んだ鳥について聞こう」	参加者　17人 講師　本多　功
	10月１日	「短歌大会」応募短歌103首	参加者　63人 講師　奥田　亡羊
	11月18日	沼津市制100周年記念講演会「牧水 鳥の歌」	参加者　48人 講師　伊藤　一彦
	３月３日	「雛の歌会」応募短歌85首	参加者　53人 講師　阿木津　英
企　画　展	９月～10月	「若山牧水　鳥の歌」	入場者　347人
	３月５日～ ３月24日	令和５年度「書道講座」受講者作品展示	入場者　189人
刊　行　物	年　間	「若山牧水記念館」館報の発行 第71号９月１日　第72号３月５日	
	７月１日	「牧水 鳥」	

⑶　令和６年度事業計画

事　業　名	期　日	内　　容	備　　考
講座・講演等	４月～２月	「初心者のための短歌講座」	講師　永久保英敏
	４月～２月	「牧水記念館短歌会」	講師　永久保英敏
	４月～３月	「書道講座」	講師　成田　真洞
	５月～７月	「中学生短歌コンクール」	表彰式　10月20日 牧水祭・碑前祭にて
	10月６日	「短歌大会」	講師　内藤　明
	３月２日	「雛の歌会」	講師　沖　ななも
企　画　展	３月４日～ ３月23日	令和６年度「書道講座」受講者作品展示	
刊　行　物		「若山牧水記念館」館報（年２回）	

⑷　令和５年度入館者数

総入館者数	有　料　者	無　料　者	開　館　日	一日平均入館者数
3,988人	1,766人	2,222人	309日	12.90人

庄 司 美 術 館
（モン ミュゼ沼津）

https://monmusee.jp

沼津市庄司美術館は、平成12年に元沼津市長・故庄司辰雄氏のご遺族から庄司氏が収集した美術品ともども市に寄贈されたものである。市では、庄司氏の遺志を元に、市民に多くの美術品を鑑賞する機会を持ってもらうため、平成12年11月３日、沼津市庄司美術館（愛称モン ミュゼ沼津）として開館した。

令和４年12月１日から特定非営利活動法人レザミ・デ・ザールを指定管理者として指定している。

１．施 設 の 概 要

名　　称	沼津市庄司美術館
愛　　称	モン ミュゼ沼津
所 在 地	沼津市本字下一丁田900－1
電　　話	952－8711
竣　　工	平成３年２月12日
建 築 主	庄司辰雄（元沼津市長）
寄附採納日	平成12年６月27日
構　　造	鉄筋コンクリート造　亜鉛葺　３階建 地下１階付
規　　模	敷地面積　594.73㎡ 延床面積　546.30㎡
開 館 日	平成12年11月３日
施設内容	１Ｆ　受付、展示室 ２Ｆ　展示室、書架 ３Ｆ　館長室、事務室、収蔵庫
収蔵作品	建物とともに寄附された美術作品　300点余 沼津市が所蔵する美術作品　570点余
開館時間	午前10時～午後５時（入館は午後４時30分まで）
観 覧 料	大人　200円　小人（小・中学生）100円　市内の小・中学生は無料 団体（20人以上）は２割引

2．運　　営

⑴　美術館運営委員会

美術館の適正な運営をするために、美術館運営委員会を設置している。

沼津市庄司美術館運営委員会

委員の数　10名以内

任　　期　2年

⑵　令和５年度企画展実績

期　　日	1　階　展　示　室	2　階　展　示　室
3月4日㈯～ 4月9日㈰	坂部隆芳作品展	所蔵作品展（山口源・前田千寸）
4月15日㈯～ 5月20日㈯	十時孝好作品展	
6月10日㈯～ 7月9日㈰	田邉和正作品展	
7月15日㈯～ 8月27日㈰	あしざわまさひと作品展	
9月2日㈯～ 9月30日㈯	渡辺美津代作品展	
10月7日㈯～ 11月17日㈮	鈴木紀代子作品展	
11月25日㈯～ 12月23日㈯	本田照男作品展	
1月4日㈭～ 1月28日㈰	寄贈作品展	
2月3日㈯～ 2月12日（月・祝）	山口源新人賞受賞作品展（前期）	
2月16日㈮～ 2月25日㈰	山口源新人賞受賞作品展（中期）	
2月29日㈭～ 3月9日㈯	山口源新人賞受賞作品展（後期）	
3月16日㈯～ 4月20日㈯	結城泰介作品展	

⑶　令和６年度企画展計画

- 山口育三展（4月27日～5月26日）
- 遠藤和子展（6月22日～7月21日）
- 水越亘將展（7月27日～9月1日）
- 杉本亜希子展（9月7日～10月5日）
- 草井裕子・上田風子・上地市剛展（10月12日～12月21日）
- 秋ゆかり展（1月4日～2月15日）
- 山口源賞展（2月22日～3月16日）

⑷　令和５年度入館者数

総入館者数	有　料　者	無　料　者	開　館　日	一日平均入館者数
4,699人	1,745人	2,954人	252日	18.6人

健　全　育　成

次代を担う青少年が、心身ともに健やかにたくましく成長することは、市民すべての願いである。

本市では、この願いをこめて、昭和55年に「青少年健全育成都市宣言」を行い、青少年の健全育成活動はそれまでの行政主導型から市内各地区の青少年を健やかに育てる会を中心とした地域主導型に移行した。そして、“地域の子どもは地域で育てる”を基本理念に、青少年育成推進員を中心として、団体や機関等が密接に連携し合い、あらゆる機会と場を活用した地域ぐるみの実践活動を展開している。

沼津市わたしの主張大会

また、昭和62年には、沼津市青少年問題協議会が、青少年が明るく健全に育つまちづくりを進めるため、「明るい子どもが育つまち」を統一目標に、青少年対策の基本方針を打ち出すなど、官民一体となって青少年の健全育成と非行防止に努めている。

⑴　青少年問題協議会

市長を会長として、青少年問題にかかわる学識経験者、関係機関・団体の代表者25人以内により本協議会を構成し、青少年非行の防止、健全育成の総合的施策の樹立と実践活動の方策等について研究、協議や助言を得るとともに、関係機関・団体の連携を深めている。

特に、より効果的な青少年健全育成を進めるため、将来を展望した全市民的取組とともに、直接の担い手である行政・学校・地域・家庭・職域において、その取り組むべき基本方向について検討を重ねた結果、昭和62年５月13日に「沼津市青少年対策の基本方針」を策定し、あらゆる機会と場を通してこの方針の浸透を図っている。

沼津市青少年問題協議会委員

任　　期　　２年

委員の構成　　学識経験者、関係行政機関の職員、その他市長が規則で定める者

⑵　青少年を健やかに育てる会

昭和55年12月10日の青少年健全育成都市宣言を契機として、自治会連合会の積極的な姿勢のもとに、市内全域16地区に「青少年を健やかに育てる会」が設置された。この会は全市民的活動を目指すもので、自治会をはじめ青少年育成推進員・少年補導委員・小中学校・PTA等あらゆる関係機関・団体で構成される地域の自主的実践活動の推進母体である。また、現在は18地区の会長により青少年育成市民会議的組織として、青少年を健やかに育てる会連絡協議会が設けられている。

各地区の青少年を健やかに育てる会では、全市統一目標の「地域の子どもは地域で育てる」運動を進める一方、それぞれの会が、地域の特性を活かしながら懇談会・講演会・地域の行事等を

開催して、地域ぐるみで非行防止や健全育成に向けた実践活動を積極的に展開している。

昭和57年度からは、地域連帯感の醸成、住民意識の高揚、社会環境の浄化等、一層の実効性を高めるための活動専門部５部（広報啓蒙部・健全育成部・家庭教育部・環境浄化部・補導相談部）を設けていたが、平成４年度に見直しを行い、現在は育成部・補導部の２部となっている。

令和６年度地域実践活動目標

※統一目標

「地域の子どもは地域で育てる」

※重点実践事項

○青少年を健やかに育てる会の充実

○家庭の教育力の回復に努める

○学校と地域との連携・協働の推進

○環境浄化活動の推進

令和６年度　沼津市青少年を健やかに育てる会連絡協議会

	地区名
	第一地区
	第二地区
	第三地区
	第四地区
◎	第五地区
	門池地区
	金岡地区
	大岡地区
	愛鷹地区

	地区名
	片浜地区
	今沢地区
○	大平地区
	静浦地区
	内浦地区
	西浦地区
	原地区
	浮島地区
	戸田地区

◎会長　○副会長

中学校区を基本とする市内18の地区で組織する

⑶　青少年育成推進員制度

青少年の健全育成を国民運動として推進するため、昭和41年６月「青少年育成国民会議」が設置され、昭和44年、本市においても市民ぐるみの運動として推進するために「青少年育成推進員制度」を創設した。

各地区の「青少年を健やかに育てる会」からの推薦を受け、教育委員会が委嘱している青少年育成推進員は「青少年を健やかに育てる会」の中核的な推進役としての活動とともに、各地区間の連携強化を図るため、それぞれの地区代表者をもって青少年育成推進員連絡会を組織している。

※主な活動

○地域での「あいさつ運動」「明るい家庭づくり」「青少年の地域参加」のための親子レクリエーション、スポーツ活動等、青少年健全育成活動を進めるうえで、その中核的役割を担う。

○少年補導委員をはじめ、地域の保護司、民生委員・児童委員、青少年育成関係者及び子ども会等、青少年育成団体との連携、協調を図る。

⑷　二十歳の集い・二十歳の議会

本市の成人式は、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられた令和４年の民法改正後も式典の対象年齢を20歳としたことから、令和２年の式典より名称を「二十歳の集い」に変更した。中学校区ごとの地域分散方式による地域手づくりの式典を平成元年から続けており、地域連帯感の醸成や地域青少年育成活動の基盤づくりに大きな役割を果たしている。

また、二十歳の集い開催後、責任ある大人としての自覚と市政への関心を喚起することを目的に、20歳になった若者たちの代表による模擬議会を開催している。

令和６年は第26回目の開催であり、19人の若者が出席した。

⑸　わたしの主張大会

市内の中学生が家庭・学校・地域活動・友人・将来のこと、あるいは、自分の思い、考えたことや感銘を受けたことなどをまとめ発表する大会であり、発表を通して社会の一員としての自覚を高めるとともに、青少年の健全育成に対して市民が理解や関心を深めることをねらいとしている。

第42回となる令和５年度は、市内各中学校で校内審査を経た代表19人が出場し、そのうち３人が県大会に選出され、最優秀賞、優秀賞を受賞した。第43回となる令和６年度は、各校代表19人が６月に市民文化センターで発表を行った。

⑹　高校生しゃべり場inぬまづ

高校生が日頃感じていることや意見を自由に発言する場を提供することで、高校生の社会参加のきっかけを作るとともに、生徒自身の社会に対する意識の高揚を図り青少年の健全育成を促すことを目的としている。

令和５年度は、市内の各高校の代表12人が参加し、ららぽーと沼津で「市制100周年 これからの100 年に向けて～未来につなぐ『うみりょく』会議 いま、高校生にできること～」をテーマにディスカッションした。

⑺　青年育成

近年の社会環境の変化とともに、青年団体活動等は低調であるが、この活性化を促すことに努めている。

①　沼津市青年教養講座

青年が個人の教養や技術を身につけるとともに、地域での社会貢献の意識を高めることを目的として、18～39歳の市民又は通学・通勤者を対象に教養講座や交流活動を実施している。

令和５年度は、全18回（うち交流会２回）の講座を開催し、延べ167名が参加した。

②　二市青年教育交流協議会

昭和54年度に沼津・三島・熱海・伊東の４市で、四市青年教育推進協議会を設置し、青年交流会を通じて、各市の青年リーダーの養成を目指して活動を展開してきた。現在は沼津・三島の２市で、二市青年教育交流協議会として、情報交換を行っている。

⑻　少年育成

現在、少年の生活に占める学校の比重はますます大きくなっているが、健全な少年の育成のた

めには、家庭・学校・地域社会の連携・協調が何よりも期待される。

今日、地域社会の連帯感が薄れ、地域の教育力は低下の傾向にあるが、一方ではコミュニティづくりや祭事・季節行事等による新しい地域社会の醸成が各地に広がってきている。

また、少年は、団体活動に参加することによって、年齢を異にする者との交わりを深め、知己を得ることなどによって人格を形成していくことから、このような少年のための地域づくりと併せて、団体の育成を図っている。

① 子ども会

本市の子ども会は、自治会毎に37子ども会、888人の小学生児童が参加し、近隣地域社会を活動の場としてその個性を確立し、社会性を身につけることを目標に子ども会活動を進めている。活動内容は多種多様であるが、地域社会の特性を活かして世話人の指導助言により活動している。昭和34年２月、市内各地域の有識者、PTA補導部の指導者等により、子ども会を育成する目的をもって沼津市子ども会世話人連合会（沼子連）が発足した。

昭和38年８月、各子ども会を指導するため、青少年有志により沼津市子ども会リーダースクラブ（N･L･C）が結成され、沼子連と表裏一体の形で地域の子供たちの良き指導者として活動を続けてきた。

昭和50年４月、沼子連は、沼津市子ども会育成連絡協議会と名称を変更し、組織の強化、地域活動の活発化、指導者・リーダーの養成などを主目標として活動を展開している。なお、N･L･Cは令和４年度末に団体としての活動を終了し、以後は個別に市の青少年リーダーとして活動している。

主な事業として、６月に砂の造形大会、12 月に球技大会、また沼子連を中心に沼津市PTA連絡協議会、沼津市スポーツ少年団など市内の青少年健全育成団体で「沼津市青少年育成団体連絡協議会」を組織し、10月に「子どもの遊び王国in沼津」を開催している。

子ども会リーダー養成事業としては、小学校高学年児童を対象に年４回程度のクラブキッズや研修活動を実施している。

② ボーイスカウト

ボーイスカウト運動は、健全な青少年の育成を目的とした青少年の社会教育運動で、創始以来世界各国で活発な活動が続けられており、本市においては、昭和28年に発足以来、堅実な実践を展開している。

この運動は、少年の育成に最も大切な年代である小学校・中学校・高校等の青少年を一貫して正しく導き、良い品性を身につけさせ、身体を強くし、種々の技能を習得させ、喜んで社会に奉仕できる国際愛をもった立派な社会人に育てることを目的としており、現在、沼津支部では３個団、95人の団員が活動している。

③ ガールスカウト

ガールスカウト運動は、少女たちのもっている豊かな可能性を育み、健全な品性と優れた知性や技能を習得させ、社会に役立つ公民を育てることを目的とした社会教育運動である。

この運動は1909年にイギリスで創始され、本市においては、昭和34年に発足以来、有志女性指導者の奉仕によってすすめられており、現在沼津地区では２個団、41人の団員が活動している。

④ 海洋少年団

少年が海に親しみながら海洋思想・知識と海上生活に必要な技術を習得することを目的とし

ており、本市においては、昭和53年に発足以来、四季を通じて活動を展開している。特に、カッター洋上訓練は心身の育成向上に大きな役割を果たしている。

⑼　こいのぼりフェスティバル

こいのぼりフェスティバルは、昭和60年に初めて開催されてから、令和６年で40回目を迎えた。青年及び青少年のボランティア等により構成される「こいのぼりフェスティバル実行委員会」が主体となり、令和６年度は狩野川緑地を会場に４月28日から５月５日までの期間、こいのぼり約120匹を掲揚した。また、５月４日・５日は、ボランティアや社会教育団体等によるクラフトコーナーなどの親子がふれあう催しや売店などが賑わいをみせ、開催期間には延べ約25,100人が来場した。

⑽　青少年体験学習

幅広い分野での体験の機会を設け、参加者の自ら学び考える力や様々な物、事への興味・関心・意欲の向上を図ることを目的に、学校や家庭では出来ない経験の場を創設する各種体験活動を実施している。

（令和５年度実績）

• ゆめとびら体験塾	対象：小学校４年～６年生	２回	63人
• イングリッシュアドベンチャー	対象：小学校５年～６年生	１回	25 人

青少年教育センター

時代の推移とともに、青少年を取り巻く環境は複雑化・多様化してきており、その結果、情緒の安定を欠いたり、対人関係がうまくとれなかったりするなど、変化する環境に適応できない子供たちが増えてきている。

青少年教育センターは、青少年の非行・被害の防止や、不登校・発達などに悩む子供や保護者の相談に対応し、青少年の健全な育成を促すため、家庭をはじめとして地域・学校・警察他関係機関との連携・協力の下に、補導並びに教育相談活動などの事業を行っている。

当センターは、「青少年教育センター」と「保健センター」からなる複合施設として計画され、昭和61年４月１日に開館した。

１．施設の概要

名　称　　沼津市青少年教育センター
所在地　　沼津市八幡町97番地
電　話　　951－3440
建設費　　957,255千円（うち、青少年教育センター部分607,840千円）
構　造　　鉄筋コンクリート４階建一部２階
規　模　　敷地面積　2,748.48㎡
　　建築面積　1,257.28㎡
　　延床面積　3,601.52㎡（うち青少年教育センター部分2,232.32㎡）
竣　工　　昭和61年３月31日

２．活動方針

⑴　補導活動の充実

一般化・広域化する青少年非行に対処するため、中央補導及び地区補導活動の充実を図るとともに、刑法犯少年の大半を占める万引きを防止するため、家庭、地域、学校、商業店舗との連携を深め、青少年自身への意識啓発を強化する。

⑵　環境浄化活動の推進

全市一斉の「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」により、有害環境の実態を把握し、地域ぐるみの有害環境浄化活動を推進する。

⑶　非行・被害防止啓発事業の充実

国や県の啓発活動に併せた街頭キャンペーン、各種広報活動を通じて、非行・被害防止並びに薬物乱用防止への意識啓発を図る。

⑷　教育相談事業の充実

面接相談及び電話相談の内容をより充実させ、青少年や保護者などに、より適切な相談を実施して援助を進める。

⑸　不登校児童・生徒に対する集団活動の充実

体験活動「はばたき」や相談指導学級での集団活動を通して心理面の回復を促進し、社会的自立と学校復帰を支援する。

3．補　　導

青少年の非行化を防止するため、市内18地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦を受けて委嘱した少年補導委員223人と当センター職員により、中央補導及び地区補導を計画的かつ継続的に実施している。また、青少年の健全育成を推進するため、地域と協力し合って有害環境の浄化に努めている。

⑴　少年補導委員の委嘱状況（令和５年度）

少年補導委員の委嘱者数

推薦団体名		人数	推薦団体名		人数
青少年を健やかに育てる会	第一地区	17	青少年を健やかに育てる会	愛鷹地区	7
	第二地区	20		大平地区	4
	第三地区	15		門池地区	19
	第四地区	23		静浦地区	6
	第五地区	20		内浦地区	5
	片浜地区	11		西浦地区	2
	今沢地区	14		原地区	17
	金岡地区	17		浮島地区	6
	大岡地区	16		戸田地区	4
			計		223人

⑵　街頭補導

①　中央補導

繁華街を中心に、公園、空き地、ゲームセンター、商店を重点的に補導活動を行っている。近年では、挨拶を交わしたり、被害に遭わないよう注意を促したりするなど、青少年に温かい声かけを行う「愛の声かけ」を中心とした活動を実施していくことで、青少年の社会的規範の向上と不良行為の未然防止を図っている。地区補導委員代表者及び警察署等と緊密な連携を保ちつつ、計画的に街頭補導を実施している。

令和５年度中央補導実施状況

月	回数			補導の重点目標
	午後	夜間	計	
4	0	0	0	怠学青少年の補導、不良交友・交通ルール・マナーの補導
5	2	0	2	怠学青少年の補導、喫煙の補導
6	5	2	7	怠学青少年の補導、不良交友・万引き防止の補導
7	2	2	4	夏休み特別補導、薬物乱用防止
8	3	2	5	夏休み特別補導
9	6	2	8	怠学青少年の補導、不良交友の補導
10	5	3	8	遊技場における金銭乱費防止、不良交友・不健全娯楽の補導
11	7	2	9	怠学青少年の補導、不良交友の補導
12	4	3	7	遊技場における金銭乱費防止、不良交友・万引き防止の補導
1	5	2	7	遊技場における金銭乱費防止、不良交友・喫煙の補導
2	7	2	9	怠学青少年の補導、喫煙の補導
3	4	4	8	怠学青少年の補導、不良交友・不健全娯楽の補導
計	50	24	74	

② 地区補導

市内全域の補導強化を図るため、各地区の「青少年を健やかに育てる会」の少年補導委員が中心となり、きめ細かい補導活動を推進している。

③ 特別補導

「沼津夏まつり」「高尾山祭典」での補導を実施している。令和５年度は、「高尾山祭典」が行われなかったため補導活動も中止となった。

⑶ 環境浄化活動

有害図書の販売場所、カラオケ店、ゲームセンター、公園、空き地等、青少年の集まりやすい場所について巡視活動を行い、浄化に努めている。また、12月実施の「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」により、青少年に有害となる環境の実態を掌握し、業者へ注意喚起している。

⑷ 広報活動

非行・被害防止及び健全育成を図るために、市広報紙等を活用して啓発を行っている。例年７月に「青少年の非行・被害防止強調月間」、11月に「子供・若者育成支援推進強調月間」に合わせて街頭キャンペーンを実施している。また、「青少年教育センターたより」を年４回発行し、市民意識の高揚を図っている。

⑸ 他機関との連携

課題をもつ青少年の動向を素早くとらえ、適切な指導と対応を進めるため、東部児童相談所、保護観察所、沼津警察署生活安全課、沼津地区少年サポートセンター、市福祉事務所こども未来創造課こども家庭センター、市教育委員会学校教育課及び青少年教育センターにより定例会を毎月開催し、情報交換や対応の検討などを行っている。

⑹　令和５年度街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区補導）

（単位：人）

区分 ＼ 学識別		小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	合計
行為種別	飲酒							0
	喫煙							0
	薬物乱用							0
	夜間はいかい		6	18	2			26
	不良交友							0
	怠学・怠業							0
	ゲームセンター入場	21	98	420			2	541
	パチンコ店入場							0
	カラオケ店入場			4				4
	自転車の暴走行為			1				1
	自転車の二人乗り			2				2
	自転車の無灯火	1	5	19	6	5		36
	危険な遊び		3					3
	その他		2	3		1	1	7
計		22	114	467	8	6	3	620
事後対応	家庭・学校・職場へ連絡							0
	他機関へ連絡							0
計		0	0	0	0	0	0	0

愛の声かけ運動	562	315	653	50	14		1,594

※愛の声かけ運動　　不良行為に対する注意・助言には相当しない、温かい声かけ

4．教 育 相 談

社会の仕組みがますます複雑化する今日、家庭や地域社会での教育的機能が薄れ、学校教育の果たすべき役割は重く、一層重要なものになってきている。

このような中で、これまでの学校教育を単に充実するだけでは社会の様々な要請に対応できなくなってきており、学校教育の枠を越えた新しい施策が必要となっている。

教育相談は、こうした新しい時代の要請に応えるため整備拡充されたもので、学校教育と家庭教育、また、地域社会の教育活動との連携を深めながら相談活動の充実を図り、様々な課題を抱えた子供たちの健全な育成に努めている。

⑴ 相談業務

青少年の健やかな心身の発達を援助するため、青少年や保護者に対する教育相談を実施している。また、必要に応じて教員からの相談にも対応している。平成30年度から専門家３人（臨床心理士２人、言語聴覚士１人）を配置している。

相談内容は、非行、不登校、発達・子育て、進路・適性及び対人関係などがある。

① 面接相談

カウンセリングや、遊戯療法などの心理療法を通して、相談者自らが進むべき方向を見い出していくことを援助している。

また、必要に応じて家庭・学校・諸関係機関などと連携し、問題の早期解決を図っている。

② 電話相談

「やまびこ電話」の愛称で呼ばれる電話相談は、電話を通して訴えられる青少年に関する様々な問題や悩みについて、電話相談員が共に考えながら解決のための援助を行っている。

⑵ 体験活動「はばたき」

不登校傾向を示す小・中学生を対象に、小集団での体験活動を通じて情緒の安定を図り、自立心や社会性を育成している。

⑶ 相談指導学級

心理的な要因等により不登校の状態にあり、当センターでの面接相談を受けている小・中学生を対象に、小集団での活動を通して、自己決定力や自己肯定感を高め、人との円滑な関わり方を学ぶ支援をしている。

⑷ 面接相談

令和５年度に教育相談でかかわった件数は152件（前年173件）で、このうち新規相談は92件（前年95件）であった。

令和５年度面接相談

相談分類別・対象者別内訳

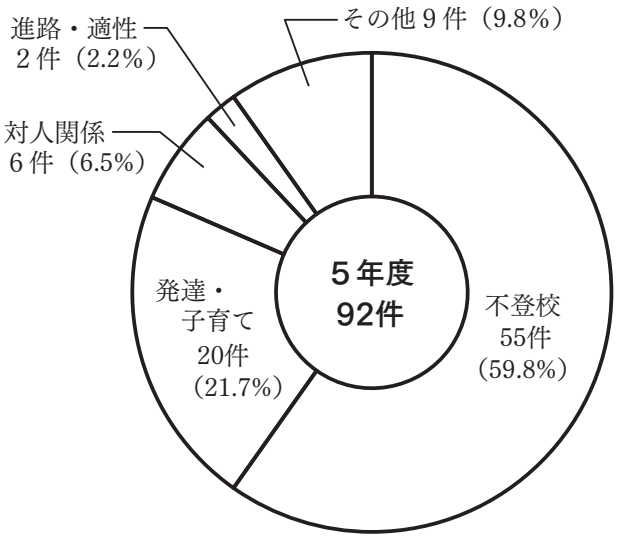
（単位：件）

対象者＼内容	非　行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合　計
幼　児							0
新規							0
小学生		39	22		2	6	69
新規		21	16		1	6	44
中学生		55	11	2	5	4	77
新規		33	3	2	4	3	45
高校生		3	1		2		6
新規		1	1		1		3
その他							0
新規							0
本　年	0	97	34	2	9	10	152
新規	0	55	20	2	6	9	92
前　年	0	102	53	3	8	7	173
新規	0	52	33	1	6	3	95

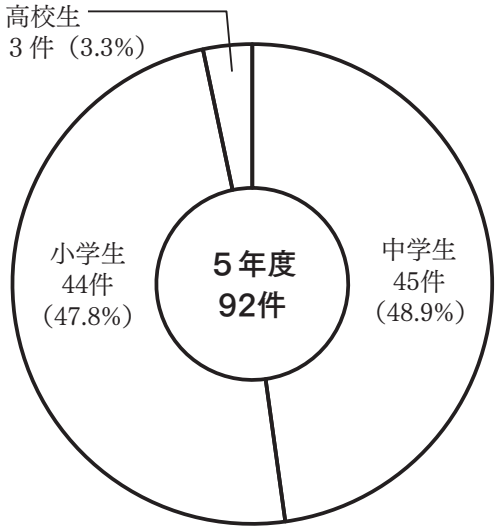
※対象者のその他……大学（短大）・専門学校生・有職少年・無職少年など
※上段は相談件数
※下段は新規相談で上段の内数

〔新規相談受理状況〕

相談内容別



相談対象者別



⑸　講座「そよかぜ」

令和５年度の『子どもの成長を支える講座「そよかぜ」』において、青少年教育センターに配置された専門家（臨床心理士、言語聴覚士）が講演した。講座では、参加者に対し各専門家の知見から子育てに役立つ情報を提供している。

⑹　電話相談（愛称　やまびこ電話）

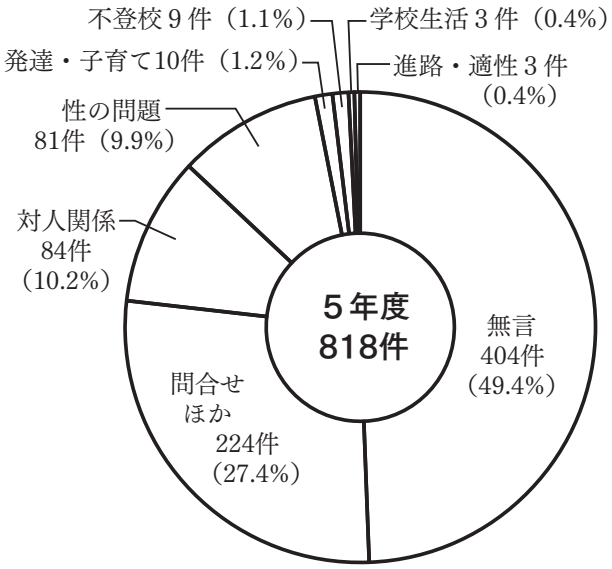
令和５年度　相談内容別相談対象者・相談者別内訳

（単位：件）

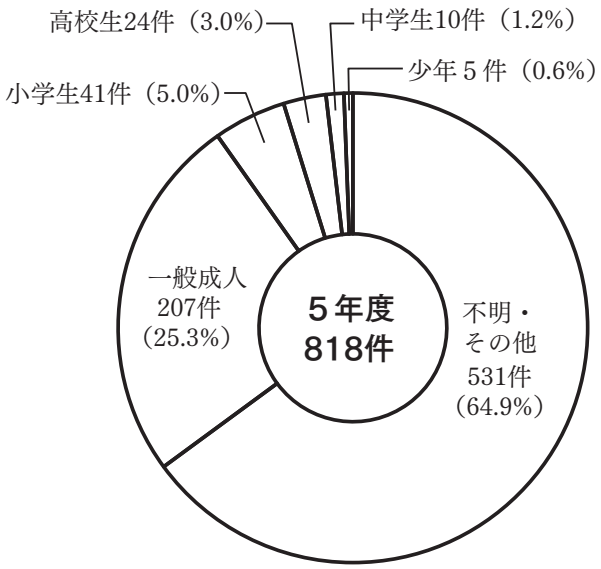
内容＼対象者		乳幼児	小学生	中学生	高校生	少　年	一般成人（含保護者）	不　明その他	計
非　行	相談対象者別								0
	相談者別								0
不登校	相談対象者別		5	2	2				9
	相談者別						9		9
発達子育て	相談対象者別		4		1	1	4		10
	相談者別		1				9		10
性の問題	相談対象者別		18	5	15	3	16	24	81
	相談者別		18	5	15	3	13	27	81
進路適性	相談対象者別			1			2		3
	相談者別						3		3
対人関係	相談対象者別		1	1	3	1	66	12	84
	相談者別				2	2	71	9	84
学校生活	相談対象者別		2		1				3
	相談者別						3		3
問合せほか	相談対象者別		11	1	2		119	91	224
	相談者別		11	1	2		142	68	224
無　言	相談対象者別							404	404
	相談者別							404	404
計	相談対象者別	0	41	10	24	5	207	531	818
	相談者別	0	30	6	19	5	250	508	818
［参考］令和４年度計	相談対象者別	0	13	12	5	7	256	445	738
	相談者別	0	8	2	6	7	270	445	738

※上段は相談対象者別分類数［電話内容が誰のことについてかの分類］
（例：小学生の息子のことで、母親からの相談→小学生にカウント）
※下段は相談者別分類数［電話を掛けてきた人についての分類］
（例：小学生の息子のことで、母親からの相談→保護者にカウント）
※少年は20歳未満の大学（短大）生・専門学校生・有職少年・無職少年

相談内容別



相談対象者別



⑺　教育相談研修

現在の社会環境を反映して、子供たちの困り感やその表れは複雑で多様なものとなっている。学校では、そうした子供たちの心を受容しつつ、成長を支援する教育相談的なかかわりが重要視されている。このような状況を踏まえ、不登校の小・中学生の実態とその対応について学ぶ、不登校担当教員研修や相談指導学級における教育相談教員研修を行っている。

また、相談担当者の資質の向上を図るために以下の研修を実施している。

①　内部研修

面接相談担当者は、「ケース会議」の中で事例検討を中心とした研修を行っている。

電話相談員は、定例研修会で相談者に対する援助方法について学んでいる。

②　スーパーバイザー

相談担当者への専門的な助言及び技術指導のため、専門的な知識をもつ大学教授や医師等をスーパーバイザーとして委嘱している。

⑻　調査・研究事業

「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」をはじめとした教育相談及び非行等課題解決のための調査・研究を行っている。

⑼　広報・啓発

教育相談事業のPRに努めるとともに、家庭及び地域社会の教育的機能の育成を図っている。

自然体験施設

沼津市ゆめとびら舟山

昭和54年４月、戸田小学校舟山分校の廃校に伴い、農林漁業体験実習館として利用開始。

その後、昭和55年から旧校舎を宿泊棟等として整備し、集団宿泊生活や塩づくり体験など様々な野外活動を通し規律意識や協同の精神を育み、青少年の健全育成を図っている。

１．施設の概要

名　　称	沼津市ゆめとびら舟山			
電　　話	0558－94－3871			
所 在 地	沼津市戸田2558－1			
敷地面積	21,805㎡			
延床面積	1,337㎡			
施設内容	宿 泊 棟	鉄骨２階建	635㎡	和室10帖－12室
	食 堂 棟	鉄骨２階建	368㎡	
	多目的ホール	鉄骨平屋建	310㎡	研修等
	塩　　舎	木造平屋建	24㎡	塩づくり体験
	ふれあい広場（グラウンド）		6,600㎡	（ナイター照明施設完備）

ふ れ あ い 広 場

塩　　舎

宿泊定員	100人
費　　用	宿泊使用料　　中学生以下及び引率者1,670円　一般2,200円
活動内容	小・中学校の教育活動
	学校や少年団体などの指導者の研修活動

2．位置と環境

ゆめとびら舟山は、沼津市南部戸田地区に位置し、駿河湾を眼下に臨むのどかな山村の地にある。

施設面ではナイター照明付きのグラウンドや、バーベキューができるキャンプファイヤー場、ピアノ完備の多目的ホールを完備しており、市内外の小・中学校、スポーツ少年団など多くの団体に利用されている。

また、塩づくり体験やかに面づくり体験など戸田の特性を生かした体験をすることができる。

3．沼津市ゆめとびら舟山運営審議会

施設の適正・円滑な運営を図るために設置。

委 員 数	10人以内
任　　期	２年
委員構成	教育関係団体の代表、利用団体の代表、地元団体の代表等

4．沿革

昭和54年３月	戸田小学校舟山分校が戸田小学校への統合に伴い廃校
昭和54年度	辺地総合開発対策の検討の中で、分校跡の再利用策として、青少年屋外研修施設として整備
昭和55年３月	日本テレビ、静岡第一テレビからのスクスクスクール開設の打診を受け、戸田村議会で舟山スクスクスクール設置を決定
昭和55年６月	「舟山みどりの学級設置条例」制定
昭和55年７月	青少年野外研修施設「食堂棟」完成 第１回スクスクスクール開設（以降平成５年まで14年間続く）
昭和57年６月	ふれあい広場施設完成
昭和57年９月	「農村漁業体験実習館」の建設について協議
昭和58年度～	農林水産省新農業改善構造事業（国庫補助事業）の一環として、「農村漁業体験実習館」施設（宿泊棟・作業棟・陶芸舎・自然遊歩道等の整備）の建設
昭和58年10月	「宿泊棟（鉄骨造一部鉄筋コンクリート造２階建635㎡）」建設着手
昭和59年３月	「宿泊棟」「陶芸舎（現塩舎）」「自然遊歩道（現在閉鎖中）」「かやぶき小屋」完成
昭和59年７月	「作業棟（鉄骨造平屋建310㎡）」完成 舟山みどりの学級閉鎖
昭和60年３月	ふれあい広場（グラウンド）夜間照明施設完成
平成元年度	宿泊、施設使用料及び給食負担料金の改正（現行料金）
平成９年度	「舟山ふるさと村　舟山みどりの学級」の新呼称募集
平成９年12月	新呼称、「ゆめとびら舟山」に決定
平成10年度	「ゆめとびら舟山」に名称変更 塩釜を設置、陶芸舎を塩舎として利用開始
平成16年度	沼津市・戸田村合併協議会、幹事会にて「ゆめとびら舟山」の新市への現状引継ぎが決まる
平成17年度	沼津市・戸田村の合併により、「沼津市ゆめとびら舟山」として運営開始
平成20～21年度	「食堂棟」の耐震補強工事を行う

5．令和５年度利用状況

⑴　月別延べ利用者数

４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
15	310	178	265	0	120	127	126	0	0	0	0	1,141

⑵　地区別利用者数

市　　内		市　　外		県　　外		計	
団 体 数	延べ人数	団 体 数	延べ人数	団 体 数	延べ人数	団 体 数	延べ人数
21	760	4	234	2	147	27	1,141

⑶　利用団体内訳

スポーツ団体	小学校	中学校	行政	その他	計
6	0	3	5	13	27

⑷　利用区分

宿泊	日帰り	利用団体数計
13	14	27

⑸　宿泊数と延べ人数

１泊	延べ人数	２泊	延べ人数	３泊	延べ人数	４泊	延べ人数
360(11)	720	70(1)	208	31(1)	114	0(0)	0

（　）内は団体数

⑹　利用目的

	自然体験	スポーツ	塩づくり	その他	計
宿泊団体	2	6	0	5	13
日帰団体	0	0	14	0	14

市民文化センター

http:// numazu-kousya.jp/culture/index.html

市民文化センターは芸術文化の鑑賞・交流の場として、また、市民の学習活動の場として活用されている。

平成18年４月１日から（公財）沼津市振興公社を指定管理者に指定し、民間的経営ノウハウを活かし、弾力的かつ効率的な運営を図り、利用者の立場に立った利用しやすい施設となるように努めている。

１．施設の概要

名　　称	沼津市民文化センター
所 在 地	沼津市御幸町15番１号
電　　話	932－6111
竣　　工	昭和57年２月27日
総事業費	4,824,317千円
構　　造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下１階、地上３階、一部４階建
規　　模	敷地面積　9,070㎡
	建築面積　7,765㎡
	延床面積　13,600㎡
開　　館	昭和57年７月１日

１　階

●大ホール　収容定員　1,516席　　装　置　オーケストラピット

固　　定	1,406席	エプロンステージ
可　　動	110席	可動プロセニアム
車いす用	６席分	音響反射板
親 子 室	14人分	花道所作台・ピアノ
		映写装置他

○客席ワンスロープ　舞台プロセニアム型式

○音楽的催しを重点に音響設計したホールで、オペラ・バレエ・演劇・講演・集会・映画など多目的に利用できる。

●小ホール　収容定員　526席　　装　置　可動プロセニアム

固　　定	526席	音響反射板
車いす用	４席分	花道所作台・ピアノ
親 子 室	14人分	

○演劇的催しを重点に設計したホールで、音楽・講演・舞踊・集会などに利用できる。

●楽　　屋

（大ホール）

第１楽屋	収容人員	12人（洋室）
第２楽屋	〃	12人（洋室）
第３楽屋	〃	12人（洋室）
第４楽屋	〃	20人（和室）
第５楽屋	〃	４人（和室）
第６楽屋	〃	４人（洋室）

（小ホール）

第７楽屋	収容人員	20人（和室）
第８楽屋	〃	４人（洋室）
第９楽屋	〃	４人（洋室）
第10楽屋	〃	12人（洋室）

●展　示　室　　225㎡　パネル配置で最大壁面150㎡

２　階

●大会議室　　206㎡　机・いすセット　ピアノ設置　　収容人員 102人

○セミ・コンサート、研修会、展示などに利用できる。

●第１会議室（洋室）	収容人員	30人
●第２会議室（洋室）	〃	20人
●第３会議室（洋室）	〃	30人
●第４会議室（洋室）	〃	30人
●第５会議室（洋室・工作台があり、実習などに利用できる）	〃	42人
●第６会議室（和室・15畳２間続き）	〃	30畳
●第７会議室（和室・11畳の広間と４畳台目の茶室）	〃	20畳
●特別会議室（洋室）	〃	６人
●第１練習室　150㎡　机・いすセット	〃	78人
●第２練習室　156㎡　机・いすセット	〃	81人
●第３練習室（視聴覚設備付）	〃	54人

○オーディオ装置一式

○映写装置　16㎜・８㎜・スライド＋カセットレコーダー

○テレビ、ビデオ装置一式

○OHP（オーバーヘッドプロジェクター）一式等

○いずれも会議用にも利用できる。

地　階

●第１リハーサル室　音楽関係用　　ピアノ設置　92㎡

●第２リハーサル室　演劇・舞踊用　バレエ用横木・鏡設置　97㎡

２．運　　営

⑴　運営審議会委員

文化センターの適正かつ円滑な運営を図るために設置している。

委員の数　　７人

任　　期　　２年

⑵　自主文化事業（指定管理者令和５年度実施）

公演日	会場	催物名	演目・公演内容	入場者数（人）
4月23日㈰ 5月13日㈯ 10月9日（月・祝） 21日㈯	大ホール	大ホールでスタインウェイピアノを弾こう！	まるでリサイタルのような環境の中でコンサートピアノ「スタインウェイD-274」を弾く企画。	春　49 秋　52 延べ101
5月14日㈰	大ホール	角松敏生 TOSHIKI KADOMATSU Performance2023 THE DANCE OF LIFE Ⅱ	時代や世代を超えて指示されるシンガーのフルバンドライブツアー。	700
5月27日㈯	大ホール	「孤独のグルメ」原作者・久住昌之の「ふらっとグルメ沼津」	グルメマンガ・テレビ番組で大人気の「孤独のグルメ」原作者・久住昌之が番組エピソードや沼津で訪れたお店の美味しい情報を講演。	774
6月5日㈪	大ホール	劇団四季こころの劇場	劇団四季ミュージカル 市内小学6年生を無料招待。	1,192
7月22日㈯	大ホール	沼津市制100周年記念事業 きらり沼津。磯村勇斗と ～新しい100年へ～	沼津市出身の俳優、磯村勇斗さんを迎え、沼津演劇研究所らと一緒に演じる演劇と若者と未来を語る座談会を開催。	1,400
8月6日㈰	大ホール	大ホール　舞台探検隊	普段は目にすることのない舞台機構や音響設備、照明機材の見学体験ツアー。	39
8月6日㈰	小ホール	外山啓介 ピアノ・リサイタル ～君に捧ぐ～	ショパン、シューマン、リスト、ベートーヴェン・・・作曲家が誰かへの特別な「想い」を込めた作品集を外山啓介が心を込めて“あなたに捧ぐ”コンサート。	208
8月15日㈫～ 24日㈭ （休館日除く）	展示室	きらり、沼津。磯村勇斗とアフター企画展 「夢」の舞台への軌跡と新たな「夢」のはじまり	「きらり、沼津」公演が終了し、夢のひとつを実現した磯村勇斗さんから新たにいただいたメッセジや公演アーカイブ動画や写真パネル、舞台の再現や2部のきらりトークの写真など展示。	277
8月25日㈮	大ホール	キーウ・クラシック・バレエ ～白鳥の湖　全2幕～	世界中を魅了したウクライナのバレエ団が重なる困難を乗り越え来日。年齢問わず愛され続けるバレエ界永遠の名作「白鳥の湖」全2幕の公演。	716
9月3日㈰	大ホール	第10回沼津ジャズフェスティバル	コンボやビッグバンドなど様々なジャズ仲間が沼津に集います。色々なスタイルのジャズを楽しめる祭典。	696
9月18日（月・祝）	大ホール	ゴスペラーズ坂ツアー2023 “HERE & NOW	早稲田大学のアカペラサークルから結成。5人の息の合ったハーモニーでソウルフルなグルーヴを織り成すゴスペラーズ。静岡県内　唯一の沼津公演。	1,300
9月22日㈮～ 10月1日㈰	展示室	静岡県立美術館　移動美術展	静岡県立美術館が沼津にやってきます県美が所蔵する作品を多数展示。	1,942

公演日	会場	催物名	演目・公演内容	入場者数（人）
9月30日(土)	小ホール	紀平凱成ピアノコンサート	感性あふれる異才ピアニスト。発達障害、感覚過敏を抱えながらも、美しいメロディーや縦横無尽な即効演奏など、沢山の感動を届けてくれる音楽家。	236
10月7日(土)	大ホール	芝居 「沼の中の淑女たち」	舞台・テレビで活躍する女優陣が繰り広げる面白、可笑しい群像劇。舞台初経験の方にも生のお芝居の楽しさを味わっていただける公演。	761
11月3日 （金・祝）	小ホール	グランプリコンサート2023 弦楽四重奏　優勝団体	世界中から集まる若手音楽家が参加し行われる「大阪国際室内楽コンクール」の弦楽四重奏部門の優勝団大が演奏。	160
11月11日(土)	大ホール	はらぺこあおむしショー	世界中の子どもたちに大人気の絵本「はらぺこあおむし」。ニューヨークでも話題を呼んだ、カラフルで愛らしいパペットショー。	880
11月18日(土)	大ホール	第14回ブラスの祭典in沼津 ～侍BRASS～	ジャンルを超えてトッププレイヤーが高度なテクニックで奏でるスーパー・アンサンブル。前日、中高校生向けにプロ奏者から直接指導していただくクリニック開催。	660
11月23日 （木・祝）	大ホール	川崎鷹也 弾き語りTOUR 2023 「ぬくもり～旅の途中～」	ストリーミング累計3億回再生を突破した「魔法の絨毯」で知られるシンガーソングライター川崎鷹也による弾き語りツアー。ギター一本で行うコンサートとしては、県内初開催。	1,415
11月25日(土)	大ホール	フォレスタ コンサートin沼津 ～人生にありがとう～	「BS日本・こころの歌」で活躍する音大卒メンバーのみで編成された実力派コーラスグループのフォレスタ。童謡・唱歌さらに明治から昭和までの思い出の名曲を熱唱。	656
12月16日(土)	大ホール	第5回ぬまづガラコンサート ～ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団～	数々の音楽巨匠を生み出してきたウクライナから、不撓不屈の魂を音楽に乗せて贈る最高峰のクラシックコンサート。地元ゆかりの音楽家も共演。	648
毎月1回 （奇数月）	第3練習室	クラシック・レコードコンサート	毎回　テーマ毎に講師の説明を交えて、大型スピーカでクラシック音楽を鑑賞	184

3．利 用 状 況（令和５年度）

⑴　大・小ホール月別利用状況

区　分	大　ホ　ー　ル							小　ホ　ー　ル						
	可　能		使　　用					可　能		使　　用				
	日数	回数	日数	率（%）	件数	回数	率（%）	日数	回数	日数	率（%）	件数	回数	率（%）
５年４月	29	87	13	44.8	16	36	41.4	29	87	11	37.9	15	29	33.3
５月	27	81	12	44.4	12	23	28.4	25	75	15	60.0	18	34	45.3
６月	29	87	14	48.3	16	34	39.1	29	87	13	44.8	15	31	35.6
７月	26	78	18	69.2	22	45	57.7	26	78	18	69.2	19	39	50.0
８月	29	87	20	69.0	20	47	54.0	29	87	17	58.6	19	44	50.6
９月	25	75	19	76.0	22	46	61.3	25	75	16	64.0	19	35	46.7
10月	30	90	21	70.0	23	50	55.6	28	84	19	67.9	20	44	52.4
11月	25	75	22	88.0	22	55	73.3	25	75	18	72.0	23	43	57.3
12月	24	72	15	62.5	16	39	54.2	25	75	21	84.0	28	52	69.3
６年１月	22	66	8	36.4	8	21	31.8	21	63	15	71.4	17	30	47.6
２月	20	60	11	55.0	11	28	46.7	14	42	7	50.0	8	15	35.7
３月	26	78	9	34.6	9	22	28.2	27	81	14	51.9	15	26	32.1
合　　計	312	936	182	58.3	197	446	47.6	303	909	184	60.7	216	422	46.4

⑵　大・小ホール、会議室等月別利用状況

（単位：人）

	大ホール	小ホール	会議室 練習室 （12室）	リハーサル室 （２室）	展示室	合　計
５年４月	6,633	2,225	1,813	505	0	11,176
５月	6,510	3,095	3,035	253	650	13,588
６月	6,080	2,265	2,306	1,034	84	11,769
７月	3,613	3,463	1,798	393	200	9,467
８月	5,713	1,687	1,566	419	323	9,708
９月	9,684	2,139	2,272	493	1,687	16,275
10月	8,658	2,614	3,829	921	1,622	17,644
11月	9,873	3,829	2,639	688	450	17,479
12月	7,852	4,560	1,644	891	585	15,532
６年１月	3,170	3,133	1,518	505	919	9,245
２月	2,617	744	1,276	304	15	4,956
３月	2,447	1,587	1,208	534	0	5,776
合　　計	72,850	31,341	24,919	6,940	6,535	142,585

⑶　ホール催物別利用状況

催物区分	大ホール		小ホール		合計			
	件数	人数	件数	人数	件数	率(%)	人数	率(%)
ポピュラーコンサート（歌謡ショー他）	11	11,398	5	572	16	3.9	11,970	11.5
クラシックコンサート（オーケストラ・ピアノ）	3	1,655	7	1,147	10	2.4	2,802	2.7
アマチュアコンサート（ピアノ・ブラバン他）	98	27,872	112	12,905	210	50.8	40,777	39.1
邦楽（詩吟・民謡他）	5	1,449	7	1,339	12	2.9	2,788	2.7
舞踊（日舞・バレエ他）	18	5,739	18	4,143	36	8.7	9,882	9.5
映画	0	0	0	0	0	0	0	0
演劇（新劇・児童劇）	24	10,459	4	302	28	6.8	10,761	10.3
芸能（能・狂言・寄席他）	3	2,625	3	399	6	1.5	3,024	2.9
集会（式典・講演会他）	35	11,653	60	10,534	95	23.0	22,187	21.3
合計	197	72,850	216	31,341	413	100.0	104,191	100.0

図　書　館

沼津市立図書館は、多様化する市民の新しい知的要求に応え、生涯学習の拠点となりうる施設として、また、建設後30年を経過し、蔵書収容能力も限界となっていた駿河図書館に替わる施設として計画され、市制70周年に当たる平成５年７月１日に開館した。図書部門はもとより、DVDやCD等の視聴覚部門の充実を図るとともに、４階には講座室、視聴覚ホール及び展示ホールを備えている。さらに地域情報の発信のため「名誉市民コーナー」、「生涯学習コーナー」、「国際交流コーナー」のほか平成26年３月からは「ぬまづの文化遺産コーナー」を開設している。

また、地域に密着した身近な図書館活動の充実を図るため、自動車文庫による巡回を行うほか、各地区センター図書室とのネットワークを構築し、図書館サービスの向上に努めている。

平成17年度からは、沼津市と戸田村との合併に伴い、戸田村立図書館を沼津市立戸田図書館と改称し、沼津市立図書館との一体的な運営を図っている。

令和３年１月29日に、子育て世代やビジネスパーソン、高齢者、障がいのある方など来館が困難な方に電子書籍サービスを提供する「ぬまづ電子図書館」を開館した。

１．沼津市立図書館沿革

⑴　沼津文庫時代

明治21年７月　沼津尋常小学校附属「沼津文庫」が設立。沼津兵学校で使用された図書、寄贈図書等を収める。

⑵　沼津市立図書室時代（千本浜入口）

昭和27年５月　沼津市立図書室が沼津文庫の名称で、沼津千本浜入口に設けられる。

⑶　沼津市立駿河図書館時代

昭和37年３月　駿河銀行会長岡野喜太郎氏の寄付により、市内市場町に建設着工
10月　沼津市立駿河図書館の名称で開館
昭和39年６月　「沼津文庫」蔵書が沼津市立第一小学校より移管される。(約1,500冊)
昭和42年11月　県立沼津東高校の移転に伴い、その図書館を児童図書館として転用開館する。
昭和43年７月　巡回文庫１号車を購入、市内各地域への図書貸出しを開始
昭和45年４月　沼津市立図書館協議会を設置
昭和49年12月　巡回文庫２号車を購入、１号車とともに市内を巡回、貸出しを実施
昭和51年５月　地域婦人による家庭文庫が始まる。
昭和53年７月　イシバシプラザ４階に駿河図書館駅北分室が開設される。

昭和54年７月　沼津市民文化センター建設に伴い児童図書館閉鎖
10月　児童図書館は、駿河図書館児童室として２階へ移設
昭和57年４月　身体に障害のある方で来館が困難な方へ図書資料の郵送貸出しを開始
（新図書館への移行期）
昭和61年６月　第二次沼津市総合計画第一期基本計画に新図書館建設事業が位置づけられる。
61～62年度　庁内関係部課長により構成される「図書館問題調査委員会」により調査・研究
昭和62年４月　第13回市民意識調査に「図書館について」の項目をあげ、調査
昭和63年10月　市議会の発議により「新図書館建設特別委員会」を設置
平成元年５月　「沼津市新図書館建設基本構想」を策定
新図書館建設地を旧市立病院跡地（三枚橋町９番地の１）に決定
８月　「沼津市新図書館指名設計競技」を実施。11月審査会を実施
平成２年３月　基本設計・実施設計完了
３月　新図書館建設事業を３か年継続費として設定・議決
５月　「新図書館建設室」設置
10月　工事着手
平成４年４月　駅北分室は杉崎町424番地の１へ移転
10月　新図書館建築主体工事完成
平成５年３月　新図書館建設工事完成
６月　沼津市立駿河図書館閉館

⑷　新図書館時代

平成５年７月　新図書館開館
平成５年11月　巡回文庫１号車２回目の更新
平成６年７月　駅北分室閉館
平成７年１月　市立図書館入館者100万人達成
平成８年８月　市立図書館入館者200万人達成
平成10年５月　市立図書館入館者300万人達成
平成12年10月　巡回文庫２号車２回目の更新
平成13年８月　市立図書館入館者500万人達成
平成15年４月　小学校９校への自動車文庫巡回開始
６月　「沼津文庫」を明治史料館へ所蔵移管
平成17年２月　市立図書館入館者700万人達成
４月　合併により戸田村立図書館が沼津市立戸田図書館となる。
平成22年９月　市立図書館入館者1,000万人達成
平成29年７月　巡回文庫１号車を廃止
平成30年４月　「子供の読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受ける。
令和３年１月　「ぬまづ電子図書館」開館

2．沼津市立図書館

所 在 地　沼津市三枚橋町９番１号

電　　話　952－1234

竣　　工　平成５年３月

総事業費　5,500,850,015円

構　　造　鉄骨鉄筋コンクリート造：地下１階、地上４階建（一部５階建）

規　　模　敷地面積　3,700.01㎡

建築面積　2,599.18㎡

延床面積　11,440.35㎡

開　　館　平成５年７月１日

施設概要

地下１階　2,705.24㎡

駐車場　収容台数62台（身障者用スペース２台を含む）

その他　電気室、設備機械室他

１　　階　2,371.32㎡

エントランスホール、一般図書室、児童図書室、おはなしのへや、国際交流コーナー、生涯学習コーナー、ラウンジコーナー、対面朗読室、事務作業室、守衛室、倉庫

２　　階　2,430.03㎡

参考調査図書室、郷土資料室、名誉市民・郷土ゆかりの人物著作コーナー、ラウンジコーナー、研究室（３室)、インターネット閲覧コーナー

３　　階　2,320.14㎡

音と映像（AV）ホール、オープンブース（12か所)、ボックスブース（４室)、グループ室（３室)、ラウンジコーナー、ぬまづの文化遺産コーナー、学習室、アイボランティアルーム、資料作業室、事務室、電算室

４　　階　1,491.41㎡

視聴覚ホール（200席)、展示ホール（展示ケース３か所)、講座室（４室計240席)、ランチルーム他

５　　階　122.21㎡

（塔屋）　設備機械室他

開館時間　火曜日～金曜日　午前９時30分～午後７時

土・日・祝日　午前９時30分～午後５時

※４階については、講座室・展示ホール等の使用がある場合午後９時まで

休 館 日　⑴　毎週月曜日（祝日、振替休日の場合は開館）

⑵　年末年始（12月29日から１月３日まで）

⑶　館内整理日（４・８・１・３月を除く毎月第１水曜日、ただし祝日に当たる場合は翌週の水曜日、１月については４日、４月については第２水曜日とする）

⑷　特別整理期間（毎年２回、１回につき10日以内で教育委員会が定める期間）

貸　　出	図書資料	10冊まで	14日以内
	視聴覚資料	CD、DVD、ビデオ等	
		３点まで	14日以内
	電子出版物	CD－ROM等	
		３点まで	14日以内
	電子書籍	「ぬまづ電子図書館」 令和３年１月29日開館	
		５点まで	14日以内

３．沼津市立戸田図書館

所在地　沼津市戸田845番地の２
電　　話　0558－94－4420
竣　　工　平成３年３月
構　　造　鉄筋コンクリート造：地上２階建
規　　模　延床面積　614.47㎡
開　　館　平成３年４月６日
施設概要　１階　一般・児童図書室、書庫、事務室
　　２階　視聴覚室、書庫
開館時間　午前９時～午後５時
休館日　⑴　毎週月曜日
　　⑵　国民の祝日
　　⑶　年末年始（12月29日から１月３日まで）
　　⑷　館内整理日（４・８・１・３月を除く毎月第１水曜日、ただし１月については４日、４月については第２水曜日とする）
　　⑸　特別整理期間（毎年２回、１回につき10日以内で教育委員会が定める期間）

４．沼津市立図書館協議会

図書館の円滑な運営を図るため昭和45年に設置。現在は学校教育の関係者、社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者、公募による市民10人以内で構成され、任期は２年。

5．蔵　書　数

(1)　図書資料

令和６年３月末現在（単位：冊）

区分		総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	洋書	点字	絵本	紙芝居	計
市立図書館	一般書	22,214	16,105	49,454	67,529	23,595	25,734	14,457	36,352	6,725	112,366	3,555	1,168			379,254
	電子出版物	138	9	43	419	85	104	90	40	12	11					951
	児童書	951	604	3,248	4,228	6,370	2,501	1,823	3,155	828	19,199			23,769	1,737	68,413
	小計	23,303	16,718	52,745	72,176	30,050	28,339	16,370	39,547	7,565	131,576	3,555	1,168	23,769	1,737	448,618
戸田図書館	一般書	974	747	3,610	3,290	1,656	2,462	585	1,767	326	9,685					25,102
	電子出版物						2	2								4
	児童書	134	58	353	448	984	481	306	406	109	3,133			5,008	638	12,058
	小計	1,108	805	3,963	3,738	2,640	2,945	893	2,173	435	12,818	0	0	5,008	638	37,164
自動車文庫	一般書	26	72	135	125	229	307	58	159	18	2,569					3,698
	児童書	9	6	9	19	30	7	8	28	8	492			695	40	1,351
	小計	35	78	144	144	259	314	66	187	26	3,061	0	0	695	40	5,049
地区センター図書室	一般書	489	901	2,681	2,457	2,269	5,551	1,107	2,108	445	12,972	33				31,013
	児童書	195	109	1,171	1,185	3,025	915	537	991	250	9,058			21,346	257	39,039
	小計	684	1,010	3,852	3,642	5,294	6,466	1,644	3,099	695	22,030	33	0	21,346	257	70,052
全体	一般書	23,703	17,825	55,880	73,401	27,749	34,054	16,207	40,386	7,514	137,592	3,588	1,168	0	0	439,067
	電子出版物	138	9	43	419	85	106	92	40	12	11	0	0	0	0	955
	児童書	1,289	777	4,781	5,880	10,409	3,904	2,674	4,580	1,195	31,882	0	0	50,818	2,672	120,861
	合計	25,130	18,611	60,704	79,700	38,243	38,064	18,973	45,006	8,721	169,485	3,588	1,168	50,818	2,672	560,883

※電子出版物とは、CD－ROM及びDVD－ROM

(2)　電子書籍資料

令和６年３月末現在（単位：点）

区分	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	洋書	点字	絵本	紙芝居	計
一般書	240	329	517	1,151	444	589	236	976	232	8,015					12,729
児童書	11	23	48	25	89	13	7	49	16	222			474		977
小計	251	352	565	1,176	533	602	243	1,025	248	8,237	0	0	474	0	13,706

(3)　視聴覚資料

令和６年３月末現在（単位：点）

	ビデオ	ＤＶＤ	ＬＤ	ＣＤ	カセット	16ミリフィルム	計
市立図書館	10,948	6,051	1,063	22,255	1,753	20	42,090
戸田図書館	361	402		471	1		1,235
合計	11,309	6,453	1,063	22,726	1,754	20	43,325

(4)　新聞・雑誌

令和６年３月末現在（単位：点）

	市立図書館				戸田図書館		
	購入	寄贈	計	うち外国語	購入	寄贈	計
新聞	14	7	21	1	4	3	7
雑誌	163	151	314	3	10	20	30

6．利 用 状 況

⑴　図書館入館者数

（令和５年度）（　　）は戸田図書館

月	入館者数（月間）	開館日数	１日平均入館者数	月	入館者数（月間）	開館日数	１日平均入館者数	月	入館者数（月間）	開館日数	１日平均入館者数
	人	日	人		人	日	人		人	日	人
4	21,739 (414)	25 (24)	870 (17)	8	24,554 (483)	27 (23)	909 (21)	12	18,697 (410)	23 (23)	813 (18)
5	20,173 (415)	25 (22)	807 (19)	9	16,587 (462)	21 (25)	790 (18)	1	19,903 (379)	24 (23)	829 (16)
6	19,826 (506)	25 (25)	793 (20)	10	16,117 (562)	26 (25)	620 (22)	2	20,807 (429)	25 (22)	832 (20)
7	22,689 (529)	26 (25)	873 (21)	11	17,343 (404)	25 (23)	694 (18)	3	19,562 (502)	24 (25)	815 (20)
								計	237,997 (5,495)	296 (285)	804 (19)

⑵　利用者カード登録者数

登録者数（人）
187,595

（令和６年３月末現在）

⑶　貸出者数

（令和５年度）（単位：人）

	一　般	児　童	計
市　立　図　書　館	187,388	31,569	218,957
戸　田　図　書　館	2,049	224	2,273
自　動　車　文　庫	2,847	279	3,126
地区センター図書室	13,913	2,121	16,034
計	206,197	34,193	240,390

⑷　部門別貸出図書数

（令和５年度）（単位：冊）

区　分		0 総記	1 哲学	2 歴史・地理	3 社会科学	4 自然科学	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	雑誌・洋書・絵本等	計
市立図書館	一般書	5,446	15,380	29,985	27,250	21,796	37,668	9,065	26,569	3,272	154,858	29,034	360,323
	児童書	1,833	1,867	8,965	4,590	14,842	6,552	3,186	8,042	1,776	63,366	125,790	240,809
	小計	7,279	17,247	38,950	31,840	36,638	44,220	12,251	34,611	5,048	218,224	154,824	601,132
戸田図書館	一般書	67	78	131	107	142	229	49	122	35	3,148	370	4,478
	児童書	21	15	30	7	103	20	11	26	10	243	352	838
	小計	88	93	161	114	245	249	60	148	45	3,391	722	5,316
自動車文庫	一般書	55	278	349	252	579	809	189	435	52	8,403	100	11,501
	児童書	19	23	27	46	86	19	16	67	26	538	809	1,676
	小計	74	301	376	298	665	828	205	502	78	8,941	909	13,177
地区センター図書室	一般書	343	1,172	1,283	1,782	1,511	2,863	477	1,164	232	13,311	243	24,381
	児童書	101	81	653	232	935	379	154	494	107	3,199	15,550	21,885
	小計	444	1,253	1,936	2,014	2,446	3,242	631	1,658	339	16,510	15,793	46,266
全体	一般書	5,911	16,908	31,748	29,391	24,028	41,569	9,780	28,290	3,591	179,720	29,747	400,683
	児童書	1,974	1,986	9,675	4,875	15,966	6,970	3,367	8,629	1,919	67,346	142,501	265,208
	合計	7,885	18,894	41,423	34,266	39,994	48,539	13,147	36,919	5,510	247,066	172,248	665,891

⑸　部門別貸出電子書籍数

（令和５年度）（単位：点）

区　分	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	絵本等	計
一　般　書	304	409	568	489	886	1,552	265	691	210	2,872		8,246
児　童　書	64	299	1,440	281	1,576	118	46	1,416	69	3,653	4,597	13,559
小　　計	368	708	2,008	770	2,462	1,670	311	2,107	279	6,525	4,597	21,805

⑹　視聴覚資料貸出点数（館内ブース利用も含む）

（令和５年度）（単位：点）

	ビデオ	ＤＶＤ	ＬＤ	ＣＤ	カセット	16ミリフィルム	計
市立図書館	1,124	33,746	67	32,430	154		67,521
戸田図書館		262		121			383
合　　計	1,124	34,008	67	32,551	154	0	67,904

⑺　レファレンスサービス

レファレンスサービス（資料案内・相談）は、貸出業務とならんで最も大切な図書館業務の一つである。

市民からの相談は多様化しており、電話による相談にも応ずるなど、市民が気軽にレファレンスサービスを活用出来るよう努めている。

また、当館の資料で不十分な場合は、県立中央図書館及び国立国会図書館等に照会して利用者へのサービスを図っている。

（令和５年度）（単位：件）

区　分	窓　口	電　話	文　書	Ｅメール	計
市立図書館	6,343	137		9	6,489
戸田図書館	249	20			269
合　計	6,592	157	0	9	6,758

⑻　相互貸借

各図書館の間で相互に図書館資料の貸借を行い、利用者の要求に応えている。

資料の貸借は、県立中央図書館の協力車に依頼、郵便、宅配便の方法から選択して行っている。

（令和５年度）

		貸出			借受				
		県内図書館	県外図書館	計	県立中央図書館	県内図書館	国会図書館	県外図書館	計
市立図書館	件数	599	19	618	41	898	3	48	990
	冊数	940	26	966	173	1,434	3	92	1,702
戸田図書館	件数	0	0	0	5	34	0	0	39
	冊数	0	0	0	8	44	0	0	52
合計	件数	599	19	618	46	932	3	48	1,029
	冊数	940	26	966	181	1,478	3	92	1,754

⑼　相互利用（平成８年８月から実施）

沼津市立図書館が県東部地域の各図書館へ呼びかけ、図書館間の相互利用協定を締結したもので、各市町の利用者が直接協定先の図書館から貸出しを受けられる制度である。

令和６年３月31日現在、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、御殿場市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、南伊豆町、松崎町、函南町、清水町、長泉町、小山町の10市６町と協定を結び、沼津市立図書館の相互利用者カード登録者数は21,143人である。

⑽　自動車文庫

自動車文庫は、昭和43年７月に活動を始め、45か所のステーション及び小学校２校を巡回して、地域に密着した身近な図書館活動を行うとともに、図書館利用層の拡大に努めている。

ア　自動車文庫地区別利用者数　（令和５年度）（単位：人）

旧市内	大岡	門池	金岡	片浜	大平	愛鷹	静浦	内浦	西浦	原	浮島	小学校	計
437	363	142	754	54	132	481	29	51	120	287	30	246	3,126

イ　自動車文庫地区別貸出冊数　（令和５年度）（単位：冊）

旧市内	大岡	門池	金岡	片浜	大平	愛鷹	静浦	内浦	西浦	原	浮島	小学校	計
1,854	1,817	625	3,239	246	516	2,278	169	123	434	1,303	86	487	13,177

⑾　おはなしの会

①　小学校低学年までの幼児・児童を対象に、毎週土曜日及び毎月第３日曜日にボランティアの協力を得て、紙芝居や絵本の読み聞かせ等の会を開催している。

②　０～３歳児を対象に、毎週木曜日に図書館職員による「ちいさなおはなし会」を開催している。

③　毎月第２日曜日に男性による読み聞かせ「読みメン・お父さんのおはなし会」を開催している。

⑿　障がい者に対するサービス

市内に住んでいる身体障害者手帳または療育手帳を持っている方で、来館が困難な方を対象に、郵送または宅配による図書等の貸出しを行っている。

①　郵送貸出

昭和57年度から行っているが、平成８年７月から貸出資料に録音図書を加え、一層の充実を図っている。　郵送件数 10件　貸出冊数 29タイトル（令和５年度）

②　宅配サービス

障がい者の自宅へ直接貸出資料を届けるサービスを平成８年７月より実施し、障がい者に対するサービス拡充を図っている。　宅配件数 104件　貸出冊数 532タイトル（令和５年度）

⒀　団体貸出

地域への図書活動の一つとして団体貸出しを推進している。

令和５年度貸出冊数　14,410冊（市立図書館 14,362冊　戸田図書館 48冊）

令和５年度利用団体

西浦保育所、大岡保育所、愛鷹保育園、すぎのこCクラブ、おひさまクラブ、にじいろクラブ、くれよんクラブ、こすもすクラブ、どんぐりAクラブ、どんぐりBクラブ、たんぽぽAクラブ、たんぽぽCクラブ、おれんじAクラブ、おれんじBクラブ、つくしんぼクラブ、あみ～ごクラブ、つばめクラブ、まつぼっくりクラブ、こじかクラブ、うらっこクラブ、きらり沼津校、きらり金岡校、ちょうどえ～、ミルキーウェイ、沼津聴覚特別支援学校、ブロッサムジュニア沼津教室、戸田森林組合、めんだこクラブ、読み聞かせくらぶ「たちばな」

7．自 主 事 業

⑴　令和５年度講座・講演開催実績

図書館活動の一環として、図書館資料の提供と関連をもたせ、資料の活用を促進し、市民の読書活動推進の一助となるよう講座等を開催した。

①　子どもの本を知る講座

月　日	内　　容	講師（敬称略）
６月18日㈰	「かがく絵本を楽しもう」 ～ あそびだってかがくだよ ～	静岡県子ども読書アドバイザー 藤岡　祐子

参加者数　26人　　会場　第１・２講座室　　開催時間　13：30～15：00

②　夏休み子ども講座

月　日	内　　容	講師（敬称略）
７月28日㈮	「私たちのくらしと地図」	国土地理院中部地方測量部職員 永田　勝裕

参加者数　41人　　会場　第１・２講座室　　開催時間　13：30～15：00

③　読書週間講演会

月　日	内　　容	講師（敬称略）
11月５日㈰	「300万部のベストセラー作家が語る江戸のあれこれ」	時代小説家　　鈴木　英治

参加者数　122人　　会場　視聴覚ホール　　開催時間　13：30～15：00

④　読みメン講座

月　日	内　　容	講師（敬称略）
２月４日㈰	「エンタメＭＣ高橋裕一郎の 喋りの基礎から学ぶ、心に響く、読み聞かせ講座」	フリーランスＭＣ　　高橋裕一郎

参加者数　24人　　会場　第１・２講座室　　開催時間　10：00～12：00

⑵　令和５年度展示事業実績

４階の展示ホールを会場として実施した。

①　市制施行100周年記念企画展

期　　間　　４月13日㈭～８月３日㈭

テ ー マ　　「本でたどる沼津の100年」

内　　容　　本市が誕生した大正から現代までの出来事について、蔵書とともに、当時の地図や写真、スポーツシーンやまちのイメージ図などを、時代を追って展示した。併せて、図書館開館30周年を記念して、図書館の前身である沼津文庫や図書館サービスの変遷などを紹介した。

期　　間　　７月１日㈯～２月29日㈭
テ ー マ　「沼津の学校と教科書のあゆみ展」
内　　容　市制100周年を記念して、市内の学校の沿革や校歌、校区内の名所等を紹介するとともに、明治・大正・昭和の復刻版教科書や現在の教科書等を展示した。

② 秋の企画展
期　　間　　９月12日㈫～10月15日㈰
テ ー マ　「０から100まで」
内　　容　市制100周年に因み、０から100までの数字をテーマにした絵本や児童書を展示した。「ぬまづ子どもの本を学ぶ会」との共催。

③ 読書週間企画展
期　　間　　10月19日㈭～11月21日㈬
テ ー マ　「時代小説と江戸の町」
内　　容　江戸時代を舞台とした小説や、江戸のくらし、文化、街並み等に関する展示のほか、講演会講師である鈴木英治氏の多彩な作品を展示した。

④ 富士山の日企画展
期　　間　　２月16日㈮～３月17日㈰
テ ー マ　「すげぇーら！ われらの富士山」写真展
内　　容　２月23日の「富士山の日」に因み、写真愛好家の協力により、富士山の四季折々を捉えた写真を展示した。「お気楽写真会の仲間達」との共催。

⑶ 令和５年度その他事業実績

① 子ども読書活動推進関連事業

- イベント

日　　時　　５月14日㈰　13：30～15：00
演　　題　「絵本作家　いわいとしおさんとつくろう！ 100かいだてのいえ」
講　　師　絵本作家　いわいとしお
会　　場　展示ホール・第１・２講座室
参加者数　76人

- 夏休みわくわく図書館

日　　時　　８月３日㈭　９：30～14：30
内　　容　人形劇や読み聞かせ、新聞紙工作やクイズラリー等、本に関連した様々な催し物を実施した。「ぬまづ子どもの本を学ぶ会」との共催。
会　　場　展示ホール・視聴覚ホール・講座室
参加者数　263人

② 図書館ブックリサイクルフェア

日　　時　　４月27日㈭・28日㈮　９：30～16：00　　４月29日㈯　９：30～15：00

内　　容　　図書館開館30周年を記念して、図書館で役目を終えた本を、無償でお譲りするリサイクルフェアを開催した。

会　　場　　展示ホール・第１・２講座室

持帰り冊数　　6,077冊

③ ふれあいフェスティバル

日　　時　　10月14日㈯　12：30～16：30

内　　容　　ボランティアの協力により、大道芸パフォーマンスやおはなし会のほか、図書館職員おすすめ図書の紹介や、工作遊び等を行った。

会　　場　　展示ホール・視聴覚ホール・講座室

参加人数　　216人

④ 上　映　会

視聴覚資料の有効利用を図る観点から、夏休み及び春休みに上映会を実施した。

「夏の上映会」

月　日	タ　イ　ト　ル
８月８日㈫	「新・恐竜大進撃」
８月９日㈬	「おまえうまそうだな」
８月10日㈭	「トゥイーティーのフライング・アドベンチャー」
８月11日（金・祝）	「アルプスの少女ハイジ」

参加者数　延べ243人　　会場　視聴覚ホール　　開催時間　10：30～

「春の上映会」

月　日	タ　イ　ト　ル
３月22日㈮	「ふしぎ駄菓子屋銭天堂　１巻　型ぬき人形グミ他」
３月23日㈯	「すみっコぐらし　～青い月夜のまほうのコ～」

参加者数　延べ164人　　会場　視聴覚ホール　　開催時間　10：00～

戸田図書館「夏の上映会」

月　日	タ　イ　ト　ル
８月16日㈬	「しまじろうのわお！　しまじろうアニメ おやこのポカポカ傑作選」

参加者数　10人　　会場　視聴覚室　　開催時間　10：00～

⑤　夏休み図書館子ども探検隊

図書館の仕組みや本の調べ方等を学び、図書館についての知識を深め、より身近に感じてもらうことを目的として、小学校５・６年生を対象に図書館の仕事を体験する「子ども探検隊」を実施した。「子ども探検隊」に参加したことのある現６年生には、本の選書や接客などより深く図書館の業務を体験することができる「プレミアム探検隊」を実施した。

○市立図書館

実 施 日　　７月25・26・27・28日、８月１・２・３・４日（８日間）

時　　間　　９：00～12：30

参加者数　　延べ45人（うちプレミアム探検隊13人）

○戸田図書館

実 施 日　　７月26・27・28日、８月３・４日（５日間）

時　　間　　９：00～12：00（８月３日）　13：00～16：00（全日程）

参加者数　　延べ10人

⑥　ビブリオバトル

• ビブリオバトル小中学生大会in沼津2023

学校と連携を図り子どもの読書活動を推進するとともに、「話す」「聞く」「対話」といった要素を通じて国語力やコミュニケーション力を高めることを目的に、小学校５・６年生及び中学生を対象に書評合戦を実施した。予選を動画視聴による小中学生の投票で行い、決勝大会を開催した。発表の様子を後日YouTubeで動画配信した。

日　　時　　12月10日㈰　10：00～12：00（小学生の部）
　　13：30～15：30（中学生の部）

場　　所　　視聴覚ホール

参加者数　　予　　選〈小学生の部〉39人　〈中学生の部〉29人
　　投票参加者〈小学生の部〉81人　〈中学生の部〉47人
　　発　表　者〈小学生の部〉８人　〈中学生の部〉６人
　　観　戦　者〈小学生の部〉77人　〈中学生の部〉41人

YouTube動画配信　１月23日㈫～　視聴回数　小学生の部 483回、中学生の部 288回

• 大人のビブリオバトル

本をツールとした読書活動の推進とコミュニケーションの場の提供、地域の活性化などを目的として、高校生以上を対象に開催した。

日　　時　　３月８日㈮　18：30～20：00

場　　所　　視聴覚ホール

参加者数　　発　表　者　５人
　　観　戦　者　24人

⑦　その他

図書館活動啓発の一環として「OPEN NUMAZU 2023」に参加し、仲見世商店街での絵本の読み聞かせやリサイクル本の提供を行った。

令和６年度　自主事業計画

事　業　名	月　日	事　業　要　旨
子どもの読書週間イベント	４月27日㈯	「こどもの読書週間」に合わせて、本が好きと言える子どもを育成することを目的として、子どもの読書に関するイベントを開催する。令和６年度は「紙芝居」がテーマ。
文芸講座	６月７日㈮ 14日㈮ 21日㈮	文芸に関する興味や知識を深める機会を提供するために文芸講座を開催する。令和６年度は「源氏物語」がテーマ。
子どもの本を知る講座	７月７日㈰	子ども達が読書に親しむ機会や環境を広げるため、静岡県子ども読書アドバイザーを講師として招き、読み聞かせについて学ぶ講座を開催する。令和６年度は「昔話」がテーマ。
夏休み子ども講座	８月２日㈮	夏休みの学習機会を提供するため、小学生向けの講座を開催する。令和６年度は新しくなる「紙幣」がテーマ。
読書週間講演会	10月27日㈰	「読書週間」に合わせて、本に関する著名人の講演会を実施することで、読書活動の推進及び図書館利用の啓発を図る。
ビブリオバトル小中学生大会in沼津2024	12月８日㈰	学校と連携し、小中学生を対象に、子どもの読書活動を推進するため、書評合戦を実施する。
読み聞かせボランティア入門講座	２月15日㈯	絵本の読み聞かせを通して、子どもとふれあう時間を楽しんでいただくため、読み聞かせボランティアに関心がある方を対象とした講座を開催する。

8．図書館情報ネットワーク事業

- 平成８年度：県立中央図書館とのパソコン通信によるネットワーク化により相互の蔵書検索が可能となる。
- 平成９年度：沼津市立図書館ホームページを開設
  家庭から蔵書検索、利用案内、行事案内、新着図書案内が閲覧可能となる。
- 平成10年度：地区センター等への図書館業務端末の設置開始
  原地区センター、静浦東小学校に設置
- 平成11年度：西浦地区センター、浮島小学校に業務端末設置
- 平成12年度：浮島地区センターに業務端末設置
- 平成13年度：学校図書室電算化にともない業務端末を静浦東小から大平地区センターへ、浮島小から愛鷹公民館（現愛鷹地区センター）へ移設
- 平成15年度：沼津市立図書館ホームページ上から貸出予約受付開始
  大岡地区センターに業務端末設置
- 平成16年度：金岡地区センターに業務端末設置
  県立中央図書館の横断検索システムに加入することにより県内加入館の蔵書検索が可能となる。
- 平成17年度：第四地区センターに業務端末設置
  図書館ホームページ上にキッズページ（子供用ホームページ）を追加
- 平成18年度：静浦地区センターに業務端末設置
  図書館ホームページを刷新
- 平成20年度：携帯電話向けモバイル版ホームページを開設
  第五地区センターに業務端末設置
- 平成22年度：片浜地区センターに業務端末設置
- 平成23年度：第三地区センターに業務端末設置
  地区センター等図書室に巡回指導員を配置
- 平成25年度：門池地区センターに業務端末設置
- 平成26年度：今沢地区センター、内浦地区センターに業務端末設置
- 平成30年度：第二地区センターに業務端末設置
- 令和元年度：TSUNAGARU Project 運用開始
- 令和２年度：ぬまづ電子図書館ホームページを開設

社会体育

スポーツを活かしたまちづくりを推進するため、令和３年４月より、スポーツに関する事務の管理及び執行が教育委員会から市長部局（産業振興部ウィズスポーツ課）へ事務移管された。

１．沼津市スポーツ推進審議会

スポーツ基本法に基づき、本市のスポーツ振興に関する重要事項について調査・審議する機関として昭和48年３月に設置された。

平成14年５月　「沼津市スポーツ振興基本計画のあり方」について、次の事項について諮問を受ける。
　１．生涯スポーツの振興方策について
　２．スポーツ施設の整備充実方策について
　３．総合型スポーツクラブの育成方策について
　４．学校、地域社会、スポーツ団体の連携方策について
平成15年９月　「沼津市スポーツ振興基本計画のあり方」について答申する。
平成16年９月　「沼津市スポーツ振興基本計画」を策定
平成22年２月　「沼津市スポーツ施設整備計画」を策定
平成23年10月　「沼津市スポーツ推進審議会」に名称変更
平成24年11月　「沼津市新市民体育館整備基本構想の策定について」諮問を受ける。
平成25年５月　「沼津市新市民体育館整備基本構想の策定について」答申する。
　　５月　「沼津市スポーツ推進基本計画の策定について」諮問を受ける。
　　９月　「沼津市新市民体育館整備基本構想」を策定
平成26年１月　「沼津市スポーツ推進基本計画の策定について」答申する。
　　３月　「沼津市スポーツ推進基本計画」を策定
平成29年８月　「沼津市新市民体育館整備基本計画」を策定
令和６年３月　「沼津市スポーツ推進基本計画」（令和６～15年度）を策定

沼津市スポーツ推進審議会委員

委員の数　15人以内
任　　期　２年
委員の構成　学識経験者、公募による市民、各種団体を代表する者及び関係行政機関の職員

2．事 業 計 画

⑴　令和６年度スポーツ大会等開催事業

令和６年４月１日現在

事　業　の　名　称	実施期間	概　　要
第65回沼津市町別 ソフトボール大会	令和６年４月 ７・14・21日	30歳以上の男性及び高校生以下を除く女性がソフトボールを楽しむ中で体力づくりと健康の増進を図り、試合を通して相互の親睦を深める。（第64回　47チーム）
第58回沼津市町別 バレーボール大会	令和６年 ６月９・16日	18歳以上の女性がバレーボールを楽しむ中で体力づくりと健康の増進を図り、試合を通して相互の親睦を深める。（第57回　【単独の部】８チーム　【合同の部】10チーム）
第69回千本浜 ファミリーマラソン大会	令和６年 11月10日	市民の健康増進と体力づくりを目的に、千本浜防潮堤を利用して、誰でも気軽に参加できるマラソン大会を実施する。（第68回　265人）
第71回沼津市駅伝競走大会	令和７年 １月19日	職場スポーツの普及と青少年の体力増強を図ることを目的に、愛鷹広域公園周回コースで実施する。（第70回　【一般男子の部】２チーム　【高校男子の部】５チーム　【女子の部】２チーム　【中学男子の部】６チーム　【中学女子の部】４チーム　【フレンドリーの部】７チーム　【小学生の部】７チーム）
第78回沼津市スポーツ祭	通　年	各種スポーツの普及と底辺拡大を図るため、スポーツ協会の協力のもと、当市最大のスポーツ大会を実施する。（第77回　陸上競技ほか全32種目実施）

⑵　スポーツ指導者バンク事業

市民のスポーツの振興と健康増進を図るため、自主的にスポーツを通じた健康づくり活動に取り組む団体等に対し、スポーツ指導者を派遣するほか、指導者の資質向上に取り組む。

○スポーツ指導者バンク

- 登録指導者数　　66人（令和６年４月１日現在）

⑶　学校体育施設利用推進事業

地域スポーツの振興を図るため、小中学校他32か所に屋外運動場夜間照明施設を設置するとともに、小中学校の体育施設を地域住民のスポーツの場として開放している。

◎令和６年度夜間照明施設設置状況　※市立高中等部は除く

	小学校	中学校	小中一貫校	その他	計
計	14	13	1	4	32

◎学校体育施設利用状況（令和５年度）

	運　動　場（昼間）		運　動　場（夜間）		体　育　館（昼間）		体　育　館（夜間）	
	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数
小学校	1,444	47,106	1,731	47,800	1,397	36,031	4,461	84,737
中学校	165	4,619	943	14,333	67	1,686	3,773	71,951
小中一貫学校	6	117	0	0	43	1,023	554	8,061
合計	1,615	51,842	2,674	62,133	1,507	38,740	8,788	164,749

※　旧静浦東小学校の運動場、旧静浦西小学校の体育館と運動場は社会体育施設としても供用している。

⑷　スポーツ広場整備事業

地域住民の健康・体力づくりのため、自治会が借り上げた遊休地等をスポーツ広場として承認し、グラウンド砂の補充や整備に対する補助を行う。

⑸　トップアスリート教室開催事業

本市のスポーツ振興の基本理念の一つである「みるスポーツ」を推進するため、本市にゆかりのあるトップアスリートによる教室を開催し、子供達にトップレベルのプレーを間近に見せることで、スポーツをする楽しみにつなげ、競技力の向上や新たな才能の発掘、スポーツ人口の拡大を図る。

⑹　沼津市民屋内温水プール利用料金助成事業

屋内温水プールの廃止に伴い、プールを活用した市民のスポーツをする意識及び機会の維持を目的として、市が指定した屋内温水プールを利用する市民に対し、利用料金の一部を助成する。

⑺　地域体力づくり教室運営事業

身近な施設でたくさんの仲間とふれあいながら健康・体力づくりができるよう、各種教室を地区センター等で開催している。

令和６年度地域体力づくり教室

令和６年４月１日現在

教室名		会場	実施期	曜日・時間	定員	対象・運動レベル	内容
女性体操教室	Aコース	原地区センター	第１期 ４月～８月 第２期 ９月～12月 第３期 １月～３月	毎週火曜日 ９：20～10：35	45人	18歳以上の女性 体力維持・向上（中級）	エアロビクス ストレッチなど
	Bコース			毎週火曜日 10：45～12：00	45人	18歳以上の女性 初心者にも手軽にできる（初級）	
アップ・UP体操教室	水曜日コース			毎週水曜日 13：30～14：45	80人	健康増進（初級～中級）	ストレッチ リズム運動 ロコモ予防運動など
	木曜日コース			毎週木曜日 13：30～14：45	80人	運動不足解消（初級）	
アップ・UP体操教室		大平地区センター		毎週水曜日 13：30～14：45	30人	運動不足解消（初級）	
男性健康づくり教室				毎週金曜日 10：00～11：15	30人	18歳以上の男性 運動不足解消（初級）	筋力トレーニング ストレッチなど
アップ・UP体操教室		静浦地区センター		毎週金曜日 13：30～14：45	40人	運動不足解消（初級）	ストレッチ リズム運動 ロコモ予防運動など
アップ・UP体操教室		浮島地区センター		毎週火曜日 13：30～14：45	40人	運動不足解消（初級）	
アップ・UP体操教室		戸田B&G海洋センター		毎週金曜日 13：30～14：45	50人	運動不足解消（初級）	
アクアウォーキング教室				毎週火曜日 10：00～11：00	30人	18歳以上の人	ウォーキングを中心とした水中活動
土曜水泳教室				毎週土曜日 ９：00～10：00	30人	年長～小学生	水慣れから各種泳法の習得
夏休み短期水泳教室	前期 A			月～金 ９：00～10：00	30人	年長～小学生	短期間での各種泳法の習得
	前期 B			月～金 10：00～11：00	30人		
	後期 A			月～金 ９：00～10：00	30人		
	後期 B			月～金 10：00～11：00	30人		
アップ・UP体操教室		愛鷹地区センター		毎週木曜日 13：30～14：45	40人	運動不足解消（初級）	ストレッチ リズム運動 ロコモ予防運動など
アップ・UP体操教室	水曜日コース	第三地区センター		毎週水曜日 13：30～14：45	45人	運動不足解消（初級）	
	木曜日コース			毎週木曜日 13：30～14：45	45人	健康増進（初級～中級）	
柔・酸・筋教室		片浜地区センター		毎週水曜日 10：00～11：15	30人	体力維持・向上（中級）	３人の指導者がヨガ・エアロビ・筋トレを交代で指導
男性健康づくり教室				毎週木曜日 10：00～11：15	40人	18歳以上の男性 運動不足解消（初級）	筋力トレーニング ストレッチなど
柔・酸・筋教室		第五地区センター		毎週水曜日 10：00～11：15	35人	体力維持・向上（中級）	３人の指導者がヨガ・エアロビ・筋トレを交代で指導
からだととのえ運動教室				毎週木曜日 14：30～15：45	40人	運動不足解消（初級）	ロコモ予防トレーニングなど
からだづくり教室	Aコース			毎週木曜日 ９：20～10：30	40人	体力維持・向上（中級）	筋力トレーニング、ストレッチなど
	Bコース			毎週木曜日 10：40～11：50	40人	体力維持・向上（中級）	
アップ・UP体操教室				毎週木曜日 13：00～14：15	40人	運動不足解消（初級）	ストレッチ、リズム運動、ロコモ予防運動など
たのしいヨガ教室	Aコース			毎週金曜日 18：00～19：00	35人	初心者にも手軽にできる（初級）	ヨガの基本動作など
	Bコース			毎週金曜日 19：30～20：30	35人	初心者にも手軽にできる（初級）	
からだづくり教室		門池地区センター		毎週水曜日 10：00～11：15	40人	体力維持・向上（中級）	筋力トレーニング、ストレッチなど
アップ・UP体操教室	Aコース			毎週金曜日 13：00～14：15	40人	運動不足解消（初級）	ストレッチ リズム運動 ロコモ予防運動など
	Bコース			毎週金曜日 14：30～15：45	40人	健康増進（初級～中級）	

教　室　名		会　場	実 施 期	曜日・時間	定員	対象・運動レベル	内　　容
からだづくり教室		今沢地区センター		毎週火曜日 10：00～11：15	30人	体力維持・向上 （中級）	筋力トレーニング、ストレッチなど
アップ・UP体操教室	水曜日コース			毎週水曜日 13：30～14：45	30人	運動不足解消（初級）	ストレッチ リズム運動 ロコモ予防運動など
	木曜日コース			毎週木曜日 13：30～14：45	30人	健康増進 （初級～中級）	
アップ・UP体操教室		大岡地区センター		毎週木曜日 13：30～14：45	40人	運動不足解消（初級）	
からだづくり教室				毎週木曜日 19：00～20：15	30人	体力維持・向上 （中級）	筋力トレーニング、ストレッチなど
からだととのえ運動教室		内浦地区センター		毎週金曜日 10：00～11：15	40人	運動不足解消（初級）	ロコモ予防トレーニングなど
たのしいヨガ教室	Aコース	第二地区センター		毎週水曜日 18：00～19：00	30人	初心者にも手軽にできる（初級）	ヨガの基本動作など
	Bコース			毎週水曜日 19：30～20：30	30人	初心者にも手軽にできる（初級）	
筋整＆シェイプアップ教室				毎週金曜日 19：00～20：15	25人	体力向上 （中級～上級）	エアロビクス、ボクササイズなど
からだづくり教室		第一地区センター		毎週土曜日 10：00～11：15	25人	体力維持・向上 （中級）	筋力トレーニング、ストレッチなど
柔・酸・筋教室		金岡地区センター		毎週水曜日 10：00～11：15	30人	体力維持・向上 （中級）	３人の指導者がヨガ・エアロビ・筋トレを交代で指導
アップ・UP体操教室				毎週水曜日 13：00～14：15	30人	運動不足解消（初級）	ストレッチ リズム運動 ロコモ予防運動など
からだづくり教室				毎週火曜日 19：00～20：15	30人	体力維持・向上 （中級）	筋力トレーニング、ストレッチなど
脚力改善教室				毎週水曜日 14：30～15：45	30人	健康増進 （初級～中級）	歩行運動やバランストレーニングなど

３．NPO法人沼津市スポーツ協会

平成15年３月27日付でNPO法人格を取得したNPO法人沼津市スポーツ協会は、加盟38団体により組織され、「スポーツの香りのする街・沼津」をスローガンに掲げ、その実現を目指し、種目別ごとに大会を開催するなど競技レベルの向上を図っている。

また、平成17年度から市体育施設の管理を受託し、より利用しやすい施設の環境づくりを目指している。

４．沼津市スポーツ推進委員

スポーツ基本法の規定に基づき、本市では自治会の推薦により委員を委嘱している。スポーツ推進委員は地域スポーツ活動の中心的な役割を担い、住民に対してスポーツの実技指導や各種スポーツ行事の企画をするとともに、市のスポーツ事業に参画し、その推進に当たっている。

委員の数　　70人（令和６年４月１日現在）

任　　期　　２年

委員の要件　　社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者

香陵アリーナ（沼津市総合体育館）

市民体育館、勤労者体育センター、香陵武道場の各機能を集約し、令和５年３月１日に開館した。日常的な健康づくりの場として、様々なスポーツ教室を開催し、「するスポーツ」の充実を図るとともに、プロスポーツの試合を開催し、「みるスポーツ」を市民に提供するほか、「支えるスポーツ」として、人材の育成や確保について支援する。

１．施設の概要

所　在　地　　沼津市御幸町15－1
電　　話　　928－5231
敷地面積　　14,569.4㎡
建築面積　　8,275.3㎡
建築延面積　　16,600.0㎡
構　　造　　鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造　４階建
開　　館　　令和５年３月１日
休　館　日　　年末年始（12月30日～１月２日）及び毎月第４月曜日
開館時間　　午前８時30分～午後９時30分（利用時間　午前９時～午後９時）

◎　１　階　　7,487.7㎡

武道場（1,110.0㎡）　柔道、剣道、なぎなた他　各４面
弓道場（970.2㎡）　　10人立ち
卓球場（307.3㎡）　　８台
多目的室（157.8㎡）　　フェンシング（２ピスト）、ダンス他
事務室、更衣室、シャワー室、トイレ、多目的トイレ、授乳室、キッズスペース

◎　２　階　　6,776.8㎡

スポーツアリーナ（2,257.0㎡）　バスケットボール（３面）、バレーボール（３面）、テニス（３面）、バドミントン（12面）
多目的アリーナ（1,276.8㎡）　　バスケットボール（２面）、バレーボール（２面）、テニス（２面）、バドミントン（６面）
トレーニング室（370.0㎡）
多目的スタジオ（160.0㎡）
防災管理室、大会本部室、放送室、選手控室、トイレ、多目的トイレ

◎　３　階　　2,182.4㎡

スポーツアリーナ観客席（1,022席、うち車いす席10席）、多目的アリーナ観客席（90席、うち車いす席３席）、屋内ランニングコース（１周220m）、トイレ、多目的トイレ

◎　４　階　　153.1㎡

機械室

２．運　　営

令和４年８月１日から沼津NEXT株式会社を指定管理者に指定している。

3．利 用 状 況

施設別利用状況　　（令和５年度）

施　　設　　名	利用者数
スポーツアリーナ	88,896　人
多目的アリーナ	31,750
武道場	32,317
弓道場	10,308
卓球場	15,515
トレーニング室	97,487
多目的スタジオ	11,045
多目的室	3,415
大会本部室	1,689
選手控室１	606
選手控室２	309
ランニングコース	1,657
合　　計	294,994

市 営 野 球 場

沼津駅北部約１㎞に位置し、立地条件に優れている当施設は軟式野球に使用でき、小・中学・一般・企業団体と多方面にわたって使用されている。

所　在　地　　沼津市泉町２番１号

施　　設　　総面積　16,617.2㎡

中堅　118m　　両翼　90m

１　階　　本部席・審判控室・会議室・車椅子席・放送室・管理人室倉庫・ダッグアウト・更衣室・シャワー室

２　階　　長椅子形式の観覧席417席（バックネット裏237席、一塁側90席、三塁側90席）・内外野フェンス（ラバー付きフェンス）・スコアボード

駐車場　　64台分（うち身体障がい者用２台）

設　　置　　昭和24年

大規模改修　　平成12・13年度及び平成29年度

利 用 時 間　　午前８時30分～午後５時

大岡公園内運動場

大岡公園の南側に位置し、サッカー及びソフトボール等に利用されている。平成24・25年度に大規模整備工事を行い、平成26年４月１日より供用開始した。令和５年４月１日より大岡公園区域の拡大に伴い、名称を大岡公園内運動場に変更した。

所　在　地　　沼津市大岡字末広1298番地の１

施　　設　　総面積　13,806.0㎡

照明設備

設　　置　　昭和59年４月23日

大規模改修　　平成24・25年度

利用時間　午前６時～午後９時　（５月～９月）
　　午前７時～午後９時　（10月～４月）
利用種目　ソフトボール（２面）、学童軟式野球（２面）、グラウンドゴルフ（２面）、サッカー（１面）※フットサル、ミニサッカーの場合２面、陸上競技、その他レクリエーション等

西部市民運動場

旧沼津技術専門校のグラウンドを整備し、市民が身近で気軽に使える屋外運動場施設として、ソフトボールやグラウンドゴルフ等に利用されている。

所在地　沼津市東椎路1749番地の１
施設　総面積　4,200.0㎡
　　照明設備
設置　平成24年４月１日
利用時間　午前６時～午後９時（５月～９月）
　　午前７時～午後９時（10月～４月）
利用種目　ソフトボール、グラウンドゴルフ、ゲートボール、サッカー、その他レクリエーション等

中瀬市民運動場

香陵運動場の代替機能として整備し、グラウンドゴルフやキッズサッカーなどに利用されている。

所在地　沼津市上香貫2399番地の５
施設　総面積　3,750.0㎡
設置　平成27年11月１日
利用時間　午前８時30分～午後５時
利用種目　グラウンドゴルフ、キッズサッカー、その他レクリエーション等

戸田テニスコート

戸田Ｂ＆Ｇ海洋センター敷地内に併設され、大人から子供まで多方面にわたって利用されている。

所在地　沼津市戸田3105番地の７
施設　ハードコート２面（夜間照明付）
設置　昭和54年
利用時間　午前７時～午後９時

○屋外施設の年度別利用状況

区分／年度	市営野球場		大岡公園内運動場		戸田テニスコート		西部市民運動場		中瀬市民運動場	
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
5	260	10,419	594	21,814	68	163	455	7,555	335	4,822
4	274	10,857	625	22,657	78	219	506	8,118	421	6,132

戸田Ｂ＆Ｇ海洋センター

本施設は平成４年にＢ＆Ｇ財団により、青少年の健全育成と住民の健康づくりのための施設として、体育館とプールを備えた総合スポーツ施設として設置された。

平成７年に戸田村に無償譲渡され、平成17年４月１日に沼津市との合併により沼津市戸田Ｂ＆Ｇ海洋センターとなる。

平成28年度にプール棟の改修工事を行い、平成29年４月１日にリニューアルオープンした。

１．施設の概要

所　在　地　　沼津市戸田2053番地
電　　話　　0558－94－3501
構　　造　　体育館　鉄筋コンクリート造２階建
　　プール　鉄骨造平屋建
敷地面積　　9,781.4㎡
建築面積　　2,282㎡
建築延面積　　2,703㎡（体育館棟　1,828㎡　　プール棟　875㎡）
開　　館　　平成４年７月24日
休　館　日　　年末年始（12月29日～１月３日）、毎週月曜日

◎　体　育　館

• 利用区分
午前（９時～12時）　午後（13時～17時）　夜間（17時～21時）
• 利用できる種目
バレーボール（２面）、バスケットボール（１面）、バドミントン（２面）

◎　プ　ー　ル

• 利用区分
午前（９時～12時）　午後（13時～17時）　夜間（18時～20時30分）
• 設　　備
一般用　25m×13m・６コース（水深1.1m～1.2m）
幼児用　11m変形（水深0.5m～0.6m）

◎　トレーニングルーム

• 設　　備
柔道場　50畳　　剣道場

◎　そ　の　他

会議室、更衣室等

2．戸田Ｂ＆Ｇ海洋センター運営審議会

戸田Ｂ＆Ｇ海洋センターの適正かつ円滑な運営及び事業計画などについて審議する。

委員の数　10人以内

任　　期　２年

委員の構成　海洋センター利用団体、地区体育部等

3．利 用 状 況

⑴　年度別利用者数

（単位：人）

区分／年度	プール				体育室		合計
	個人利用者		団体利用者		団体利用者		
	男	女	男	女	男	女	
5	825	1,051	334	500	2,511	2,375	7,596
	1,876		834		4,886		
4	965	1,014	411	332	2,748	2,749	8,219
	1,979		743		5,497		

⑵　目的・種目別利用状況（令和５年度）

区分	目的・種目	利用回数（コマ数）	利用者数
個人利用	プール	― 回	1,876 人
団体利用	プール	32	834
	バレーボール	19	490
	バドミントン	102	753
	バスケットボール	90	959
	卓球	90	539
	柔道	104	1,233
	その他（ダンス・カローリング等）	63	912
	小計	500	5,720
合計			7,596

資　　料

市内諸学校一覧（市立幼・小・中・高除く）

令和６年５月１日現在

校　種	学　校　名	所　在　地	学級数	教員数	生徒数	電　話
私立大学	東都大学沼津キャンパス	日の出町1−1	1	22	288	922−6688
国立高専	沼津工業高等専門学校	大岡3600	科25専2	112	1,019・56	921−2700
県立高校	沼津東高等学校	岡宮812	21	67	870	921−0341
	沼津西高等学校	本字千本1910−9	16	75	568	962−0345
	沼津城北高等学校	岡一色875	8	26	283	921−0344
	沼津工業高等学校	下香貫八重129−1	全15定4	64・19	520・30	931−0343
県立特別支援学校	沼津視覚特別支援学校	米山町6−20	12	37	22	921−2099
	沼津聴覚特別支援学校	泉町4−1	14	45	27	921−3398
	沼津特別支援学校	大塚823−1	52	116	219	966−0980
	沼津特別支援学校愛鷹分校	岡一色875	6	21	45	943−5177
私立高校	沼津中央高等学校	杉崎町11−20	19	59	602	921−0346
	加藤学園高等学校	大岡自由ヶ丘1979	44	118	1,390	921−0347
	加藤学園暁秀高等学校	岡宮字中見代1361−1	18	83	431	924−1900
	飛龍高等学校	東熊堂491	47	75	1,153	921−7942
	桐陽高等学校	高島本町8−52	36	83	1,110	921−0096
	誠恵高等学校	沼北町2丁目9−12	21	54	659	921−5088
私立中学校	加藤学園暁秀中学校	岡宮字中見代1361−1	12	57	306	924−1900
私立小学校	加藤学園暁秀初等学校	大岡自由ヶ丘1979	20	41	524	922−0720
私立幼稚園	ルンビニ幼稚園	千本緑町2丁目7	3	9	11	962−1710
	四恩幼稚園	三芳町3−14	3	13	40	963−7538
	沼津学園第二幼稚園	大岡字川窪3227−1	6	20	150	923−8850
	加藤学園幼稚園	大岡自由ヶ丘1979	12	44	221	921−4805
	沼津あすなろ幼稚園	西沢田244−2	4	11	68	922−8507
	双葉幼稚園	下香貫字柿原2843−1	6	10	32	933−1835
	光長寺幼稚園	岡宮字寺内1052−5	7	26	141	921−4213
	沼津梅花幼稚園	本郷町23−9	6	16	107	931−6146
認定こども園	原町幼稚園	原199−1	7	22	73	966−7338
	沼津聖マリア幼稚園	本郷町18−31	4	18	83	932−9911
	象山幼稚園	志下北通り72−1	8	22	133	931−3426
	耕雲寺幼稚園	大岡1092	7	25	107	951−3075
	第二耕雲寺幼稚園	大岡2242−14	4	17	77	923−3911
	あしたか幼稚園	西椎路610−2	6	20	144	966−2500
	認定こども園しょうえい幼稚園	大塚812−2	10	46	118	967−4521
	認定こども園片浜桜	今沢65	7	32	120	966−6349
	認定こども園中央幼稚園	幸町23−3	6	21	87	951−6694
	認定こども園かきつばたこども園	柳沢222	9	36	115	967−4188
	認定こども園こずわ幼稚園	小諏訪242−4	6	29	101	963−0721
	認定こども園春の木幼稚園	東椎路1547−1	7	25	82	923−5445
	認定こども園沼津学園第一幼稚園	寿町16−40	11	34	208	921−8140

学校・施設図

沼高専
加藤学園暁秀高・中
東高
門池中
光長寺幼
学園第二幼
門池小
認定こども園
かきつばたこども園
愛鷹中
愛鷹小
認定こども園
香の木幼
沢田小
新幹線
浮島中
浮島小
戦北高
特別支援愛鷹分校
至三島
原小
原中
特別支援
原町幼
原東小
認定こども園
あしたか幼
明治史料館
金岡小
金岡中
飛龍高
暁秀(小)
加藤学園高・幼
至御殿場
認定こども園
しょうえい幼
今沢中
今沢小
あすなろ幼
誠恵高
市立高
中等部
大岡中
第二耕雲寺幼
認定こども園
片浜桜
認定こども園
学園第一幼
桐陽高
五中
東都大
中央高
至三島
開北小
片浜小
聴覚特別支援
認定こども園
こすわ幼
視覚特別支援
五小
大岡小
千本浜
片浜中
一中
ぬまづ
耕雲寺幼
大岡南小
市立図書館
二中
千本小
四恩幼
西高
庄司美術館
一小
四小
ルンビニ幼
教職員研修センター
市役所
香陵アリーナ
市民文化センター
若山牧水記念館
認定こども園
中央幼
青少年教育センター
二小
四中
沼津梅花幼
三小
聖マリア幼
工高
狩野川
双葉幼
三中
歴史民俗資料館
香貫小
象山幼
芹沢光治良記念館
大平幼
大平小
大平中
▲ 出先機関
□ 幼稚園(公立・私立)
■ 認定こども園
● 小学校
○ 中学校
☆ 特別支援学校
高等学校(県公立)
高等学校(私立)
高等専門学校(国立)
大学(私立)
△ 社会教育施設
位置
北緯 35度06分
東経 138度52分
面積
186.82㎢
駿河湾
静浦小中一貫学校
(静浦小・静浦中)
長井崎小中一貫学校
(長井崎小・長井崎中)
戸田造船郷土資料博物館
重要文化財 松城家住宅
戸田小中一貫学校
(戸田小・戸田中)
戸田こども園
戸田図書館
ゆめとびら舟山

沼　津　の　教　育
令和６年度版

令和６年９月１日　発行

編集・発行　沼津市教育委員会事務局

青少年健全育成都市宣言

近年、青少年の非行が増加するにとどまらずその低年齢化と悪質化が著しいことは、誠に憂慮に堪えない。

次代を担う青少年の健全育成をはかることは私たち市民の重大な責務である。

よって、本市は市民の総力を結集して、青少年が明るく健やかに育つまちづくりに邁進することを決意し、ここに沼津市を「青少年健全育成都市」とすることを宣言する。

昭和55年12月10日

青少年健全育成都市宣言メモ

沼津市では、昭和55年12月10日の沼津市議会本会議で「青少年健全育成都市」としての宣言を提案し、満場一致で決議された。

これは、当時の沼津警察署管内の刑法犯少年の発生率が、昭和49年から毎年県下一ということへの危機感から、市民と行政が協力し合って市民総ぐるみで次代を担う青少年を非行から守ろうと青少年健全育成都市の宣言をしたものである。そして、この都市宣言を契機に、中学校単位での青少年を健やかに育てる会の結成をはじめ、電話・面接相談機能や補導活動の充実を図るための青少年教育センターの設置を図り、以来、青少年の健全育成と非行防止に大きな成果を上げてきている。